

特定個人情報保護評価書(全項目評価書)

評価書番号	評価書名
6	介護保険に関する事務 全項目評価書(案)

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

名古屋市は、介護保険に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

名古屋市長

個人情報保護委員会 承認日【行政機関等のみ】

公表日

[平成30年5月 様式4]

項目一覧

I 基本情報
(別添1) 事務の内容
II 特定個人情報ファイルの概要
(別添2) 特定個人情報ファイル記録項目
III 特定個人情報ファイルの取扱いプロセスにおけるリスク対策
IV その他のリスク対策
V 開示請求、問合せ
VI 評価実施手続
(別添3) 変更箇所

I 基本情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務

①事務の名称	介護保険に関する事務
②事務の内容 ※	介護保険法及び名古屋市介護保険条例に基づき、主に以下の(1)～(4)の事務を行う。 (1)被保険者の資格管理 被保険者の台帳を整備し、転入・年齢到達等による資格の取得および、死亡、転出等による資格の喪失などを管理するとともに、被保険者に対して被保険者証等を交付する。また、他市町村住所地特例者(本市に住所はあるが、介護保険法の規定により、転入前市町村の介護保険被保険者となる者)の情報管理も行う。 なお、以下、介護保険における「被保険者」とは特段の記述がある場合を除き、次のいずれかに該当するものをいう。 ・第1号被保険者(65歳以上の者) ・要介護(要支援)認定の申請を行った、あるいは被保険者証交付申請を行った第2号被保険者(40歳以上64歳以下の者) (2)保険料の賦課・徴収 本市の第1号被保険者の所得等に応じて保険料を賦課し、保険料の徴収等を行う。 (3)要介護(要支援)認定等 本市の被保険者等の申請に基づき、要介護(要支援)認定の調査等を実施し、要介護(要支援)状態区分等を認定する。また、基本チェックリストにより、介護予防・生活支援サービス事業対象者を把握する。 (4)保険給付等 介護サービス等にかかる受給者(介護予防・生活支援サービス事業対象者を含む。以下同じ。)に対して保険給付等を行う。
③対象人数	[30万人以上] <選択肢> 1) 1,000人未満 3) 1万人以上10万人未満 5) 30万人以上 2) 1,000人以上1万人未満 4) 10万人以上30万人未満

2. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務において使用するシステム

システム1

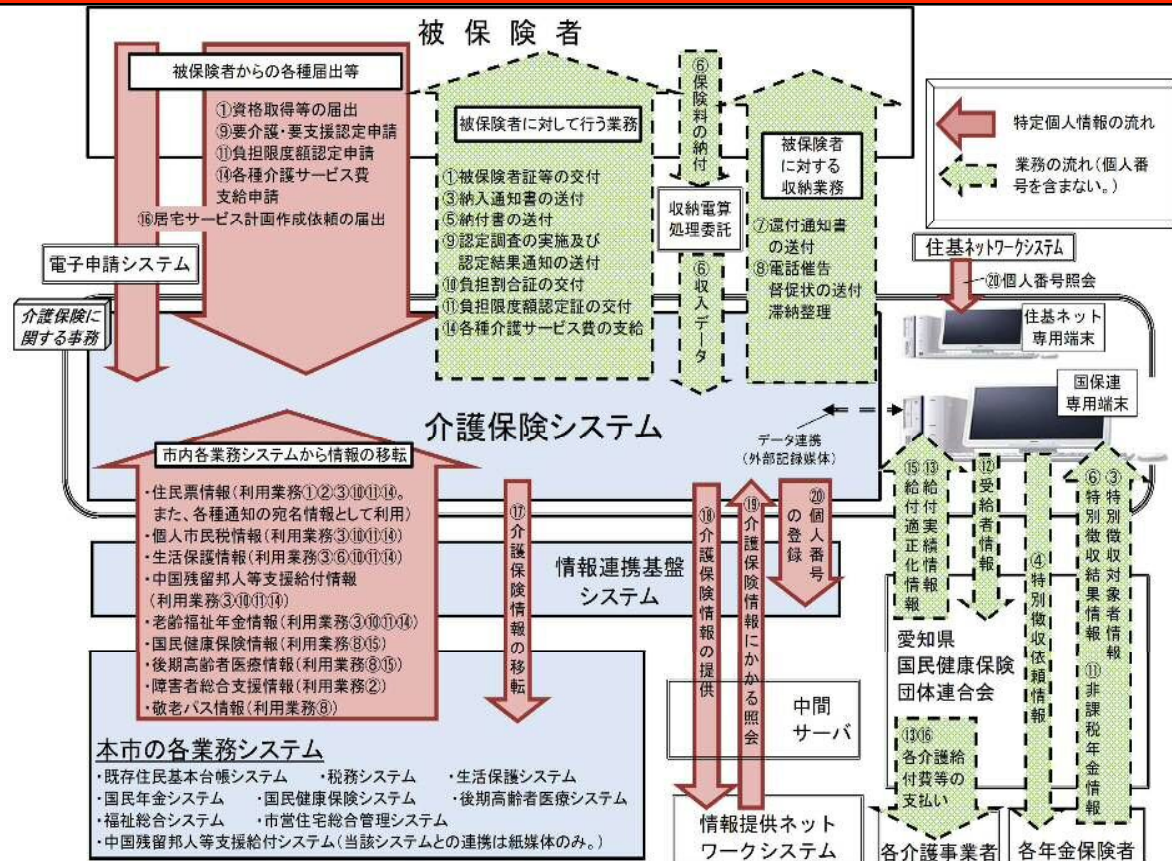
①システムの名称	介護保険システム
②システムの機能	(1)被保険者の資格管理 被保険者資格の取得・喪失、住所地特例及び被保険者証等の交付状況を管理。 (2)保険料の賦課・徴収 第1号被保険者の保険料賦課に関する情報及び保険料の徴収に関する情報を管理。 (3)要介護(要支援)認定等の管理 被保険者等の申請情報及び決定した要介護(要支援)状態区分並びに介護予防・生活支援サービス事業対象者等を管理。 (4)保険給付等 介護サービス等の受給者の給付情報を管理。 (5)関係システムとの連携 後述の情報連携基盤システムに連携する各業務システム等との情報連携機能。
③他のシステムとの接続	[] 情報提供ネットワークシステム [] 住民基本台帳ネットワークシステム [○] 宛名システム等 [] その他 () [○] 庁内連携システム [] 既存住民基本台帳システム [] 税務システム

システム2	
①システムの名称	情報連携基盤システム（庁内連携システム及び宛名システム等）
②システムの機能	(1) 宛名番号付番機能 団体内統合宛名番号が未登録の個人について、新規に団体内統合宛名番号を付番する機能。既存業務システムからの団体内統合宛名番号要求に対し、団体内統合宛名番号を付番し、既存業務システム及び中間サーバーに対し返却する。 (2) 宛名情報等管理機能 宛名情報を団体内統合宛名番号、個人番号と紐付けて保存し、管理する機能。 (3) 中間サーバー連携機能 中間サーバーまたは中間サーバー端末からの要求に基づき、団体内統合宛名番号に紐付く宛名情報等を通知する機能。 (4) 既存システム連携機能 既存業務システムからの要求に基づき、宛名番号、個人番号又は団体内統合宛名番号に紐付く宛名情報を通知する機能。 (5) セキュリティ管理機能 暗号化機能及び情報照会・提供記録等を管理する機能。 (6) 職員認証・権限管理機能 情報連携基盤システムを利用する職員または業務システムの認証と付与された権限に基づいた各種機能や宛名情報へのアクセス制御を行う機能。 (7) システム管理機能 バッチの状況管理、業務統計情報の集計、稼動状態の通知、保管期限切れ情報の削除を行う機能。
③他のシステムとの接続	[] 情報提供ネットワークシステム [] 庁内連携システム [] 住民基本台帳ネットワークシステム [○] 既存住民基本台帳システム [] 宛名システム等 [○] 税務システム [○] その他 （ 中間サーバー、情報連携基盤システムを利用する業務システム ）

システム3	
①システムの名称	中間サーバー
②システムの機能	(1) 符号管理機能 符号管理機能は情報照会、情報提供に用いる個人の識別子である「符号」と、情報保有機関内で個人を特定するために利用する「団体内統合宛名番号」とを紐付け、その情報を保管・管理する機能。 (2) 情報照会機能 情報照会機能は、情報提供ネットワークシステムを介して、特定個人情報(連携対象)の情報照会及び情報提供受領(照会した情報の受領)を行う機能。 (3) 情報提供機能 情報提供機能は、情報提供ネットワークシステムを介して、情報照会要求の受領及び当該特定個人情報(連携対象)の提供を行う機能。 (4) 既存システム接続機能 中間サーバーと既存業務システム、宛名システム及び既存住民基本台帳システムとの間で情報照会内容、情報提供内容、特定個人情報(連携対象)、符号取得のための情報等について連携するための機能。 (5) 情報提供等記録管理機能 特定個人情報(連携対象)の照会、又は提供があった旨の情報提供等記録を生成し、管理する機能。 (6) 情報提供データベース管理機能 特定個人情報(連携対象)を副本として、保持・管理する機能。 (7) データ送受信機能 中間サーバーと情報提供ネットワークシステム(インターフェイスシステム)との間で情報照会、情報提供、符号取得のための情報等について連携するための機能。 (8) セキュリティ管理機能 暗号化／復号機能と、鍵情報及び照会許可照合リスト情報を管理する機能。 (9) 職員認証・権限管理機能 中間サーバーを利用する職員の認証と職員に付与された権限に基づいた各種機能や特定個人情報(連携対象)へのアクセス制御を行う機能。 (10) システム管理機能 バッチの状況管理、業務統計情報の集計、移動状態の通知、保管期限切れ情報の削除を行う機能。
③他のシステムとの接続	☒ 情報提供ネットワークシステム ☐ 市内連携システム ☐ 住民基本台帳ネットワークシステム ☐ 既存住民基本台帳システム ☒ 宛名システム等 ☐ 税務システム ☐ その他 ()
システム4	
①システムの名称	住民基本台帳ネットワークシステム
②システムの機能	地方公共団体情報システム機構への情報照会。 全国サーバに対して住民票コード、個人番号又は4情報の組合せをキーとした本人確認情報照会要求を行い、該当する個人の本人確認情報を受領する。
③他のシステムとの接続	☐ 情報提供ネットワークシステム ☐ 市内連携システム ☐ 住民基本台帳ネットワークシステム ☒ 既存住民基本台帳システム ☐ 宛名システム等 ☐ 税務システム ☐ その他 ()

システム5	
①システムの名称	電子申請システム
②システムの機能	(1)申請機能(市民等向け) ・市民等が、行政手続等を検索して、オンラインで届出・申請できる機能 (2)申請受付・通知機能(職員向け) ・市民等が(1)の機能で申請した申請情報を取得する機能 ・市民等に対して申請に対する通知等を行う機能 (3)申請フォーム作成機能(職員向け) ・(1)で市民等が届出・申請するための申請フォームを作成する機能
③他のシステムとの接続	[] 情報提供ネットワークシステム [] 庁内連携システム [] 住民基本台帳ネットワークシステム [] 既存住民基本台帳システム [] 宛名システム等 [] 税務システム [] その他 ()
3. 特定個人情報ファイル名	
介護保険情報ファイル	
4. 特定個人情報ファイルを取り扱う理由	
①事務実施上の必要性	(1)被保険者の情報の正確な把握のため。 (2)公平かつ公正な保険料の賦課及び徴収のため。 (3)保険給付等の適正な給付のため。
②実現が期待されるメリット	(1)他市町村から要介護(要支援)認定者が転入した場合、転入前市町村での要介護(要支援)認定結果を記載した「受給資格証明書」の提出がなくても、情報提供ネットワークを利用して、転入前の認定情報を迅速に把握することができる。 (2)本市の住所地特例対象者など、本市に住民票のない被保険者については、所得情報を正確に把握し、適正な保険料や利用者負担割合を決定することができる。
5. 個人番号の利用 ※	
法令上の根拠	・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号。以下「番号法」という。)第9条第1項及び別表第1の68の項 ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表第一の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年9月10日／内閣府／総務省／令第5号)第50条 ・番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)
6. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ※	
①実施の有無	[実施する] ＜選択肢＞ 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定
②法令上の根拠	番号法第19条第8号、別表第2及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令(平成26年12月12日／内閣府／総務省／令第7号。以下「別表第2省令」という。) (詳細は別紙1に記載)
7. 評価実施機関における担当部署	
①部署	健康福祉局高齢福祉部介護保険課
②所属長の役職名	介護保険課長
8. 他の評価実施機関	

(別添1) 事務の内容



(備考)

(1) 被保険者の資格管理

① 住民票等の異動情報(転入・転出・転居等)や、被保険者からの届出等を受け、必要に応じて被保険者証等を交付する。また、65歳に到達する者については被保険者証を送付する。

② 住民票等の異動情報や適用除外施設利用情報等を基に被保険者資格の管理を行う。

(2) 保険料の賦課・徴収

③ 住民票情報(世帯情報)、個人住民税情報、老齢福祉年金情報及び生活保護情報等(以下、別添1において、「負担判定情報」という。)を基に保険料額を決定する。また、各年金保険者から愛知県国民健康保険団体連合会(以下、別添1において「国保連」という。)等を経由して送付された特別徴収対象者情報を基に徴収方法(特別徴収または普通徴収)を決定する。これらの決定を踏まえ、被保険者に納入通知書を送付する。

④ ③で特別徴収対象者を決定した情報など、本市から特別徴収に関する依頼情報を国保連等を経由して各年金保険者に送付する。

⑤ 納付書で納付する者については納付書を送付する。

⑥ 指定金融機関等に納付された保険料、生活保護受給者の代理納付により納付された保険料及び特別徴収により各年金保険者から納入のあった保険料については、収入データとして取り込む。

⑦ ⑥の収入データ取込み等の結果、保険料の納め過ぎが発生した場合は、還付通知書を送付する。

⑧ ⑥の収入データ取込み等の結果、保険料が滞納となった者については、電話催告、督促状の送付及び滞納整理を行う。

(3) 要介護(要支援)認定者等の情報管理

⑨ 介護サービスの利用を希望する被保険者からの要介護(要支援)認定申請を受け、要介護(要支援)認定調査を実施し、その認定結果通知書等を送付する。

⑩ 要介護(要支援)認定を受けた者については、負担判定情報を基に、利用者負担割合を決定し、負担割合証を交付する。

⑪ 特定入所者介護(予防)サービス費の支給を希望する被保険者からの負担限度額認定申請を受け、申請書の記載内容、負担判定情報及び各年金保険者から国保連等を経由して送付された非課税年金情報を基に、被保険者の負担限度額区分を決定し、負担限度額認定証を交付する。

(4) 介護保険給付等

⑫ 国保連に要介護(要支援)認定者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者に関する情報(受給者情報)を、国民健康保険及び後期高齢者医療の資格情報も含め提供する。

⑬ ⑫の受給者情報を基に、国保連が介護サービス事業者に介護サービス費用の支払い(保険給付)を行い、その実績情報が本市に提供される。

⑭ 被保険者からの各種介護サービスの費用の償還払いの支給申請を受け、被保険者に償還払いを行う。なお、高額介護サービス費については、負担判定情報を基に支給額を決定する。

⑮ ⑫の受給者情報や介護給付情報などを基に国保連が作成した、介護給付内容に疑義がある情報(医療と介護の給付を同時に受けている可能性がある者など)の提供を受け、給付適正化業務を行う。

⑯ 居宅サービス計画(ケアプラン)の作成を居宅介護支援事業者に依頼する被保険者は、本市に居宅サービス計画作成依頼の届出を行い、本市は国保連を通じて(⑫の受給者情報に含めて提供)、居宅介護サービス計画費を当該事業者を支払う。

(5) 特定個人情報の移転、提供並びに照会

⑰ 本市他業務が利用する介護保険情報を、情報連携基盤システムを介して本市各業務に移転する。

⑱ 情報連携基盤システムを通じて、介護保険情報を中間サーバへ連携して提供する。

⑲ 情報提供ネットワークシステムより、所得情報や要介護(要支援)認定に関する情報等の照会を行う。

⑳ 住基ネット端末を利用して、住民登録外者の個人番号を照会し、当該個人の個人番号を情報連携基盤システムに登録する。

(別紙1) 情報提供ネットワークシステムによる情報連携の法令上の根拠

番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠

項番	情報照会者	事務	情報提供者	特定個人情報	対応する 別表第2省令 の条項
一	厚生労働大臣	健康保険法第五条第二項の規定により厚生労働大臣が行うこととされた健康保険に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	—
二	全国健康保険協会	健康保険法による保険給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第二条
			健康保険法第五十五条又は第二百二十八条に規定する他の法令による給付の支給を行うこととされている者	健康保険法第五十五条又は第二百二十八条に規定する他の法令による給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	
三	健康保険組合	健康保険法による保険給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第三条
			健康保険法第五十五条に規定する他の法令による給付の支給を行うこととされている者	健康保険法第五十五条に規定する他の法令による給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	
四	厚生労働大臣	船員保険法第四条第二項の規定により厚生労働大臣が行うこととされた船員保険に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	—
五	全国健康保険協会	船員保険法による保険給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	船員保険法第三十三条に規定する他の法令による給付の支給を行うこととされている者	船員保険法第三十三条に規定する他の法令による給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第五条
六	全国健康保険協会	船員保険法による保険給付又は平成十九年法律第三十号附則第三十九条の規定によりなお従前の例によるものとされた平成十九年法律第三十号第四条の規定による改正前の船員保険法による保険給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第六条
八	都道府県知事	児童福祉法による養育里親若しくは養子縁組里親の登録、里親の認定又は障害児入所給付費、高額障害児入所給付費若しくは特定入所障害児食費等給付費の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第七条
十一	都道府県知事	児童福祉法による障害児通所給付費、特例障害児通所給付費、高額障害児通所給付費、障害児相談支援給付費若しくは特例障害児相談支援給付費の支給又は障害福祉サービスの提供に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第十条
十七	市町村長	予防接種法による給付(同法第十五条第一項の疾病に係るものに限る。)の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	医療保険者その他の法令による医療に関する給付の支給を行うこととされている者	医療保険各法その他の法令による医療に関する給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第十二条の三
二十二	都道府県知事	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による入院措置に関する事務であって主務省令で定めるもの	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第三十条の二に規定する他の法律による医療に関する給付の支給を行うこととされている者	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第三十条の二に規定する他の法律による医療に関する給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第十五条
二十六	都道府県知事等	生活保護法による保護の決定及び実施又は徴収金の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第十九条
三十	社会福祉協議会	社会福祉法による生計困難者に対して無利子又は低利で資金を融通する事業の実施に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	—

番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠					
項番	情報照会者	事務	情報提供者	特定個人情報	対応する別表第2省令の条項
三十三	日本私立学校振興・共済事業団	私立学校教職員共済法による短期給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第二十二條の二
三十九	国家公務員共済組合	国家公務員共済組合法による短期給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第二十四條の二
四十二	市町村長又は国民健康保険組合	国民健康保険法による保険給付の支給又は保険料の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第二十五條
四十三	市町村長又は国民健康保険組合	国民健康保険法による保険給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	国民健康保険法第五十六條第一項に規定する他の法令による給付の支給を行うこととされている者	国民健康保険法第五十六條第一項に規定する他の法令による給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第二十五條の二
五十六の二	市町村長	災害対策基本法による被災者台帳の作成に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第三十條
五十八	地方公務員共済組合	地方公務員等共済組合法による短期給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第三十一條の二
六十一	市町村長	老人福祉法による福祉の措置に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第三十二條
六十二	市町村長	老人福祉法による費用の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第三十三條
八十	後期高齢者医療広域連合	高齢者の医療の確保に関する法律による後期高齢者医療給付の支給又は保険料の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第四十三條
八十一	後期高齢者医療広域連合	高齢者の医療の確保に関する法律による後期高齢者医療給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	高齢者の医療の確保に関する法律第五十七條第一項に規定する他の法令による給付の支給を行うこととされている者	高齢者の医療の確保に関する法律第五十七條第一項に規定する他の法令による給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第四十三條の二
八十七	都道府県知事等	中国残留邦人等支援給付等の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第四十四條
八十八	厚生労働大臣	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による一般疾病医療費の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律第十八條第一項ただし書に規定する他の法令による医療に関する給付の支給を行うこととされている者	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律第十八條第一項ただし書に規定する他の法令による医療に関する給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	—
九十	都道府県知事又は広島市長若しくは長崎市長	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による介護手当の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	—
九十四	市町村長	介護保険法による保険給付の支給、地域支援事業の実施又は保険料の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第四十七條
九十五	厚生労働大臣又は共済組合等	介護保険法による特別徴収の方法による保険料の徴収又は納入に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険法第三百三十六條第一項(同法第四百十條第三項において準用する場合を含む。)、第三百三十八條第一項又は第四百一十一條第一項の規定により通知することとされている事項に関する情報であって主務省令で定めるもの	—
九十七	都道府県知事又は保健所を設置する市の長	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による費用の負担又は療養費の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第三十九條第一項に規定する他の法律による医療に関する給付の支給を行うこととされている者	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第三十九條第一項に規定する他の法律による医療に関する給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第四十九條

番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠					
項番	情報照会者	事務	情報提供者	特定個人情報	対応する 別表第2省令 の条項
百八	都道府県知事又は市町村長	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による自立支援給付の支給又は地域生活支援事業の実施に関する事務であって主務省令で定めるもの	市町村長	介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの	第五十五条
百九	都道府県知事又は市町村長	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による自立支援給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第七条に規定する他の法令により行われる給付の支給を行うこととされている者	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第七条に規定する他の法令により行われる給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第五十五条の二
百十九	都道府県知事	難病の患者に対する医療等に関する法律による特定医療費の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	難病の患者に対する医療等に関する法律第十二条に規定する他の法令による給付の支給を行うこととされている者	難病の患者に対する医療等に関する法律第十二条に規定する他の法令による給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第五十九条の三

番号法第19条第8号別表第2 情報照会の根拠					
項番	情報照会者	事務	情報提供者	特定個人情報	対応する 別表第2省令 の条項
九十三	市町村長	介護保険法による保険給付の支給又は地域支援事業の実施に関する事務であって主務省令で定めるもの	医療保険者又は後期高齢者医療広域連合 介護保険法第二十条に規定する他の法令による給付の支給を行うこととされている者	医療保険給付関係情報であって主務省令で定めるもの 介護保険法第二十条に規定する他の法令による給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの	第四十六条
九十四	市町村長	介護保険法による保険給付の支給、地域支援事業の実施又は保険料の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの	都道府県知事等 市町村長 厚生労働大臣若しくは日本年金機構又は共済組合等	生活保護関係情報であって主務省令で定めるもの 地方税関係情報、住民票関係情報又は介護保険給付等関係情報であって主務省令で定めるもの 年金給付関係情報であって主務省令で定めるもの	第四十七条

Ⅱ 特定個人情報ファイルの概要

1. 特定個人情報ファイル名

介護保険情報ファイル

2. 基本情報

①ファイルの種類 ※	[システム用ファイル]	<選択肢> 1) システム用ファイル 2) その他の電子ファイル(表計算ファイル等)
②対象となる本人の数	[100万人以上1,000万人未満]	<選択肢> 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
③対象となる本人の範囲 ※	(1)区域内の住民(住基法第5条(住民基本台帳の備付け)に基づき住民基本台帳に記録された住民を指す) ※住民基本台帳に記録されていた者で、転出・死亡等の事由により住民票が消除された者を含む。 (2)区域外の住民で、情報連携基盤システムを利用する個人番号利用事務で対象となる者 (3)区域外の住民で、情報連携基盤システムを利用する個人番号利用事務以外の事務で対象となる者	
その必要性	情報提供ネットワークシステムによる情報照会・提供及び情報連携基盤システムを利用した団体内の情報連携にあたり、団体内で個人を一意に識別する必要があるため。	
④記録される項目	[100項目以上]	<選択肢> 1) 10項目未満 2) 10項目以上50項目未満 3) 50項目以上100項目未満 4) 100項目以上
主な記録項目 ※	・識別情報 [☐] 個人番号 [☐] 個人番号対応符号 [☐] その他識別情報(内部番号) ・連絡先等情報 [☐] 4情報(氏名、性別、生年月日、住所) [☐] 連絡先(電話番号等) [☐] その他住民票関係情報 ・業務関係情報 [☐] 国税関係情報 [☐] 地方税関係情報 [☐] 健康・医療関係情報 [☐] 医療保険関係情報 [☐] 児童福祉・子育て関係情報 [☐] 障害者福祉関係情報 [☐] 生活保護・社会福祉関係情報 [☐] 介護・高齢者福祉関係情報 [☐] 雇用・労働関係情報 [☐] 年金関係情報 [☐] 学校・教育関係情報 [☐] 災害関係情報 [☐] その他 ()	

	その妥当性	(1)個人番号 個人の正確な特定のために保有する。 (2)個人番号対応符号 他市町村等と情報連携を行うために保有する。 (3)その他識別情報(内部番号) 本市において、個人を特定するために独自の識別番号(団体内宛名番号)を保有する。 (4)4情報(氏名、性別、生年月日及び住所) 被保険者証等に記載するとともに、通知書等の送付先情報として使用するために保有する。 (5)連絡先(電話番号等) 本人への連絡などに使用するために保有する。 (6)その他住民票関係情報 適正な保険料賦課及び保険給付を行うために、被保険者の属する世帯の世帯員の情報を保有する。 (7)地方税関係情報 適正な保険料賦課及び保険給付を行うために、被保険者及び同一世帯の世帯員にかかる個人市民税に関する情報を保有する。 (8)医療保険関係情報 ・第2号被保険者資格の確認のために、当該第2号被保険者が加入している医療保険情報を保有する。 ・介護給付適正化業務のために、本市の国民健康保険・後期高齢者医療加入者の情報を保有する。 (9)障害者福祉関係情報 被保険者資格の管理のために、介護保険の適用除外となる施設にかかる被保険者の入所・退所情報を保有する。 (10)生活保護・社会福祉関係情報 ・適正な保険料賦課及び保険給付を行うために、生活保護の被保護者及び中国残留邦人等支援給付を受けている者に関する情報を保有する。 ・生活保護の被保護者にかかる保険料の徴収を行うために、代理納付に関する情報を保有する。 (11)介護・高齢者福祉関係情報 介護保険制度の実施に必要な情報(資格、賦課、徴収、要介護(要支援)認定、保険給付)を保有する。 (12)年金関係情報 適正な保険料賦課及び保険給付を行うために、被保険者にかかる老齢福祉年金に関する情報を保有する。
	全ての記録項目	別添2を参照。
⑤保有開始日		平成28年1月1日
⑥事務担当部署		健康福祉局高齢福祉部介護保険課、総務局行政部デジタル改革推進課

3. 特定個人情報の入手・使用

①入手元 ※	[○] 本人又は本人の代理人 [○] 評価実施機関内の他部署 (スポーツ市民局(住民課)、財政局(市民税課)、健康福祉局(保護課、保険年金課、医療福祉課、障害者支援課、高齢福祉課) [] 行政機関・独立行政法人等 () [○] 地方公共団体・地方独立行政法人 (他市町村) [] 民間事業者 () [○] その他 (地方公共団体情報システム機構)
②入手方法	[○] 紙 [] 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) [] フラッシュメモリ [] 電子メール [] 専用線 [○] 庁内連携システム [○] 情報提供ネットワークシステム [○] その他 (住民基本台帳ネットワークシステム、電子申請システム)
③入手の時期・頻度	(1)本人または本人の代理人からの入手申請の都度。 (2)評価実施機関内の他部署からの入手 ・住民票に関する情報については、住民記録システムの異動情報と即時連携。 ・生活保護に関する情報については、生活保護システムの異動情報を日次連携。 ・高齢福祉年金に関する情報については、年に1回連携入手している。 ・中国残留邦人等支援給付に関する情報については、随時(中国残留邦人等の支援給付の対象者の異動情報があった都度、紙媒体による連携)。 ・国民健康保険料の滞納に関する情報については、随時(介護保険第2号被保険者から要介護(要支援)認定申請があった都度、紙媒体による連携)。 ・個人市民税情報のうち、保険料滞納者にかかる情報については、調査が必要となった都度入手する。 ・それ以外については、月1回入手する。 (3)地方公共団体・地方独立行政法人からの入手 所得情報や転入前市町村での要介護(要支援)情報などについて、調査が必要になった都度入手する。 (4)その他からの入手 本人確認情報について、調査が必要になった都度入手する。
④入手に係る妥当性	(1)要介護(要支援)認定申請など、本人または本人の代理人からの申請が必要な情報は、申請の都度、電子申請システムを通じてまたは紙により入手する。 (2)適正な保険料賦課及び保険給付等を行うため、並びに本人の負担軽減のため、評価実施機関内の他部署から入手する情報は、庁内連携システムまたは紙媒体により、それぞれの情報に適した頻度で入手する。 (3)適正な保険料賦課及び保険給付を行うため、並びに本人の負担軽減のため、他市町村や医療保険者などから入手できる情報は、介護保険法及び番号法に基づき、調査が必要な都度、情報ネットワークシステムから入手する。 (4)本人確認情報については、番号法の規定により、調査が必要な都度住民基本台帳ネットワークシステムを用いて情報を入手している。
⑤本人への明示	本人から入手する情報については、利用目的を本人に明示する。ただし、介護保険法及び、情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律に規定がある場合は、その限りではない。 ・庁内連携又は情報提供ネットワークシステムを通じた入手を行うことは番号法及び番号法第9条第2項に基づく条例(予定)に明示されている。
⑥使用目的 ※	資格管理、保険料の賦課・徴収、要介護(要支援)認定、保険給付などの介護保険事務の公平・公正・効率化のため。
変更の妥当性	—

⑦使用の主体	使用部署 ※	区役所保健福祉センター福祉部福祉課、支所区民福祉課福祉係、健康福祉局高齢福祉部介護保険課、同部地域ケア推進課
	使用者数	[500人以上1,000人未満] <選択肢> 1) 10人未満 2) 10人以上50人未満 3) 50人以上100人未満 4) 100人以上500人未満 5) 500人以上1,000人未満 6) 1,000人以上
⑧使用方法 ※		(1) 資格管理 住民票に関する情報、医療保険の資格に関する情報により、本市介護保険の被保険者資格の管理(取得・喪失の決定等)を行う。 (2) 保険料の賦課 住民票に関する情報(世帯構成等を使用)、個人市民税に関する情報、生活保護に関する情報等(以下「負担判定情報」という。)により、第1号被保険者の保険料額を決定する。 (3) 保険料の収納 保険料の徴収実績や滞納にかかる情報を管理する。 (4) 要介護(要支援)認定等 本人または本人の代理人からの要介護(要支援)認定申請内容等により、要介護(要支援)の認定等を行う。 (5) 保険給付等 負担判定情報により、介護サービス等にかかる受給者の負担割合等を決定するとともに、これらに介護給付実績情報等を加え、高額介護サービス費等の支給額を決定する。 (6) 被保険者証等の発行及び各種通知書の作成 前述(1)～(5)までの情報などをもとに、被保険者証や負担割合証などの証発行を行ったり、保険料の納入通知書などの各種通知書を作成する。
	情報の突合 ※	・本人または本人の代理人からの情報の入手については、資格情報等の確認や、申請内容について不備がないか、適切に申請がされているか等を確認するため、申請書や被保険者番号をキーに情報を突合する。 ・それ以外の庁内連携又は情報提供ネットワークシステムを通じた情報の入手については、その他識別番号(内部番号)をキーに情報を突合する。
	情報の統計分析 ※	介護保険事業状況報告等で統計を作成するが、特定の個人を判別しうるような情報の統計や分析は行わない。
	権利利益に影響を与え得る決定 ※	(1) 本市介護保険の被保険者資格の管理(取得・喪失の決定等)を行う。 (2) 第1号被保険者の保険料額を決定する。 (3) 保険料の収納 (4) 要介護(要支援)の認定を行う。 (5) 介護保険利用者の負担割合等の決定や高額介護サービス費等の支給額の決定を行う。
⑨使用開始日		平成28年1月1日

4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託		
委託の有無 ※		☐ 委託する ☐ 委託しない (2) 件 1) 委託する 2) 委託しない
委託事項1		介護保険システムの運用保守委託
①委託内容		介護保険システムの運用保守
②取扱いを委託する特定個人情報ファイルの範囲		☐ 特定個人情報ファイルの全体 ☐ 特定個人情報ファイルの一部 1) 特定個人情報ファイルの全体 2) 特定個人情報ファイルの一部
	対象となる本人の数	☐ 100万人以上1,000万人未満 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
	対象となる本人の範囲 ※	介護保険の被保険者及び同一世帯の世帯員（前述2③「対象となる本人の範囲」と同様）
	その妥当性	システムの開発・運用保守を実施するために、特定個人情報ファイル全体を委託の対象にする必要がある。
③委託先における取扱者数		☐ 10人以上50人未満 1) 10人未満 2) 10人以上50人未満 3) 50人以上100人未満 4) 100人以上500人未満 5) 500人以上1,000人未満 6) 1,000人以上
④委託先への特定個人情報ファイルの提供方法		☐ 専用線 ☐ 電子メール ☐ 電子記録媒体（フラッシュメモリを除く。） ☐ フラッシュメモリ ☐ 紙 ☒ その他 （サーバ室内にてシステムの直接操作）
⑤委託先名の確認方法		名古屋市契約事務手続要綱に基づく入札結果等の公表、随意契約内容の公表、名古屋市情報公開条例に基づく公開請求により確認することができる。
⑥委託先名		株式会社エヌ・ティ・ティ・データ東海
再委託	⑦再委託の有無 ※	☐ 再委託しない 1) 再委託する 2) 再委託しない
	⑧再委託の許諾方法	
	⑨再委託事項	

委託事項2		情報連携基盤システムの開発委託、運用保守委託	
①委託内容		情報連携基盤システムの開発、運用保守	
②取扱いを委託する特定個人情報ファイルの範囲		☐ 特定個人情報ファイルの全体 <選択肢> 1) 特定個人情報ファイルの全体 2) 特定個人情報ファイルの一部	
	対象となる本人の数	☐ 100万人以上1,000万人未満	<選択肢> 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
	対象となる本人の範囲 ※	(1) 区域内の住民(住民基本台帳法第5条(住民基本台帳の備付け)に基づき住民基本台帳に記録された住民を指し、住民基本台帳に記録されていた者で、転出・死亡等の事由により住民票が消除された者を含む。) (2) 区域外の住民で、情報連携基盤システムを利用する個人番号利用事務で対象となる者 (3) 区域外の住民で、情報連携基盤システムを利用する個人番号利用事務以外の事務で対象となる者	
	その妥当性	システムの開発・運用保守を実施するために、特定個人情報ファイル全体を委託の対象にする必要がある。	
③委託先における取扱者数		☐ 10人以上50人未満	<選択肢> 1) 10人未満 2) 10人以上50人未満 3) 50人以上100人未満 4) 100人以上500人未満 5) 500人以上1,000人未満 6) 1,000人以上
④委託先への特定個人情報ファイルの提供方法		☐ 専用線 ☐ 電子メール ☐ 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) ☐ フラッシュメモリ ☐ 紙 ☒ その他 (情報連携基盤システムを設置する情報管理室内でのシステムの直接操作)	
⑤委託先名の確認方法		名古屋市契約事務手続要綱に基づく入札結果等の公表、名古屋市電子調達システムでの随意契約内容の公表、名古屋市情報公開条例に基づく公開請求により確認することができる。	
⑥委託先名		日本電気株式会社 東海支社	
再委託	⑦再委託の有無 ※	☐ 再委託する	<選択肢> 1) 再委託する 2) 再委託しない
	⑧再委託の許諾方法	再委託先名称、再委託先の業務範囲、業務期間、業務従事者名簿、再委託の理由、再委託先の選定理由、再委託先に取得情報の取扱いに関して委託先に課せられている事項と同一の事項を遵守させる旨が記載された申請書の提出を受け、承諾を判断する。	
	⑨再委託事項	情報連携基盤システムの開発、運用保守に関する業務の一部(プロジェクトマネージャー及び運用管理責任者に関する業務は除く。)	

5. 特定個人情報の提供・移転(委託に伴うものを除く。)	
提供・移転の有無	☒ 提供を行っている (25) 件 ☐ 移転を行っている (10) 件 ☐ 行っていない
提供先1	番号法第19条第8号別表第2に定める情報照会者(別紙1の表「番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠」中の「情報照会者」欄に記載。ただし、同表中「対応する別表第2省令の条項」に記載のないものを除く。)
①法令上の根拠	番号法第19条第8号別表第2
②提供先における用途	別紙1の表「番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠」中の「事務」欄に記載の事務で使用。
③提供する情報	別紙1の表「番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠」中の「特定個人情報」欄に記載の情報。
④提供する情報の対象となる本人の数	☐ 10万人以上100万人未満 <選択肢> 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤提供する情報の対象となる本人の範囲	介護保険の被保険者
⑥提供方法	☒ 情報提供ネットワークシステム ☐ 電子メール ☐ フラッシュメモリ ☐ その他 (☐ 専用線 ☐ 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) ☐ 紙)
⑦時期・頻度	照会の都度

移転先1	スポーツ市民局地域振興部住民課（窓口業務：各区役所区政都市民課、各支所区民生活課）
①法令上の根拠	住民基本台帳法第7条
②移転先における用途	住民票の記載事項の変更（ただし、介護保険被保険者資格に関するものに限る。）
③移転する情報	介護保険被保険者資格に関する情報
④移転する情報の対象となる本人の数	[10万人以上100万人未満] ＜選択肢＞ 1) 1万人未満 2) 1人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤移転する情報の対象となる本人の範囲	介護保険の被保険者
⑥移転方法	[○] 庁内連携システム [] 専用線 [] エレクトロメール [] デジタル記録媒体(フラッシュメモリを除く。) [] フラッシュメモリ [] 紙 [] その他 （ ）
⑦時期・頻度	毎日1回
移転先2	財政局税務部市民税課（窓口業務：財政局栄市税事務所市民税課、さしま市税事務所市民税課、金山市税事務所市民税課）
①法令上の根拠	番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例（案）
②移転先における用途	(1) 介護保険料の支払いにかかる社会保険料控除の確認資料 (2) 個人市民税における公的年金からの特別徴収の要件確認資料
③移転する情報	(1) 介護保険料の年間納付額に関する情報 (2) 介護保険料の特別徴収に関する情報
④移転する情報の対象となる本人の数	[10万人以上100万人未満] ＜選択肢＞ 1) 1万人未満 2) 1人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤移転する情報の対象となる本人の範囲	(1) 前年中に介護保険料の納付を行った者 (2) 介護保険の第1号被保険者
⑥移転方法	[○] 庁内連携システム [] 専用線 [] エレクトロメール [] デジタル記録媒体(フラッシュメモリを除く。) [] フラッシュメモリ [] 紙 [] その他 （ ）
⑦時期・頻度	(1) 随時（住民税申告書受付時）、(2) 年1回

移転先3	健康福祉局生活福祉部保護課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部民生子ども課、各支所区民福祉課)
①法令上の根拠	番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)
②移転先における用途	介護保険にかかる情報を把握し、生活保護(生活扶助、介護扶助等)を実施する。
③移転する情報	(1)介護保険被保険者資格に関する情報 (2)要介護(要支援)認定に関する情報 (3)介護保険の給付に関する情報 (4)介護保険料に関する情報
④移転する情報の対象となる本人の数	☐ 1万人以上10万人未満 ＜選択肢＞ 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤移転する情報の対象となる本人の範囲	介護保険の被保険者のうち、生活保護受給者
⑥移転方法	☐ 庁内連携システム ☐ 電子メール ☐ フラッシュメモリ ☐ その他 (☐ 専用線 ☐ 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) ☒ 紙
⑦時期・頻度	(1)及び(2)毎日1回。(3)週1回。(4)月1回(ただし、紙媒体で提供する介護保険料加算の変更予定者については、5月、9月、11月、3月の年4回)
移転先4	健康福祉局生活福祉部保護課
①法令上の根拠	番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)
②移転先における用途	介護保険にかかる情報を把握し、中国残留邦人等の支援給付を実施する。
③移転する情報	(1)介護保険被保険者資格に関する情報 (2)介護保険料に関する情報
④移転する情報の対象となる本人の数	☐ 1万人未満 ＜選択肢＞ 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤移転する情報の対象となる本人の範囲	介護保険の被保険者のうち、中国残留邦人等の支援給付の対象者
⑥移転方法	☐ 庁内連携システム ☐ 電子メール ☐ フラッシュメモリ ☐ その他 (☐ 専用線 ☐ 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) ☒ 紙
⑦時期・頻度	(1)(2)随時(新たに中国残留邦人等の支援給付の対象者になったとき、対象者が65歳になったとき、対象者の保険料額の変更が見込まれるとき)

移転先5	健康福祉局生活福祉部保険年金課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部保険年金課、各支所区民福祉課)	
①法令上の根拠	番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)	
②移転先における用途	(1)高額介護合算療養費の支給申請勧奨のための確認資料 (2)国民健康保険料の特別徴収対象者決定のための確認資料	
③移転する情報	(1)介護保険の給付に関する情報 (2)介護保険料の特別徴収に関する情報	
④移転する情報の対象となる本人の数	[10万人以上100万人未満]	<選択肢> 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤移転する情報の対象となる本人の範囲	介護保険の被保険者のうち、 (1)介護保険給付実績のある者 (2)介護保険料の特別徴収対象者	
⑥移転方法	[☐] 庁内連携システム [☐] 専用線 [☐] 電子メール [☐] 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) [☐] フラッシュメモリ [☐] 紙 [☐] その他 ()	
⑦時期・頻度	(1)年1回(11月～12月頃)、(2)年2回(4月、7月)	
移転先6	健康福祉局生活福祉部医療福祉課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部保険年金課、各支所区民福祉課)	
①法令上の根拠	番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)	
②移転先における用途	(1)高額介護合算療養費の支給申請勧奨のための確認資料 (2)後期高齢者医療保険料の特別徴収対象者決定のための確認資料	
③移転する情報	(1)介護保険の給付に関する情報 (2)介護保険料の特別徴収に関する情報	
④移転する情報の対象となる本人の数	[10万人以上100万人未満]	<選択肢> 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤移転する情報の対象となる本人の範囲	介護保険の被保険者のうち、 (1)介護保険給付実績のある者 (2)介護保険料の特別徴収対象者	
⑥移転方法	[☐] 庁内連携システム [☐] 専用線 [☐] 電子メール [☐] 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) [☐] フラッシュメモリ [☐] 紙 [☐] その他 ()	
⑦時期・頻度	(1)年1回(11月～12月頃)、(2)月1回	

移転先7	健康福祉局障害福祉部障害者支援課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部福祉課、各支所区民福祉課)
①法令上の根拠	番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)
②移転先における用途	(1)障害者総合支援に関する業務及び移動支援・地域生活支援に関する業務において、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第7条にかかる他の法令による給付等との調整。 (2)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第76条の2にかかる高額障害福祉サービス等給付費の支給額算定の参考資料。
③移転する情報	(1)要介護(要支援)認定に関する情報(給付等との調整に利用) (2)介護保険の給付に関する情報
④移転する情報の対象となる本人の数	[10万人以上100万人未満] <選択肢> 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤移転する情報の対象となる本人の範囲	介護保険の被保険者のうち、要介護(要支援)認定を受けている者
⑥移転方法	[☒] 庁内連携システム [] 専用線 [] 電子メール [] 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) [] フラッシュメモリ [] 紙 [] その他 ()
⑦時期・頻度	(1)(2)ともに月1回
移転先8	健康福祉局障害福祉部障害企画課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部福祉課、各支所区民福祉課)
①法令上の根拠	番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)
②移転先における用途	障害者寝具寝台貸与に関する事務、重度障害者移動入浴に関する事務及び障害者住宅改造補助金に関する事務において、各サービスの対象者判定のため(障害者住宅改造補助金に関する事務においては、対象者の判定及び補助金の算定のため)の確認資料
③移転する情報	(1)要介護(要支援)認定に関する情報 (2)介護保険の給付に関する情報(障害者住宅改造補助金に関する事務のみ利用)
④移転する情報の対象となる本人の数	[1万人未満] <選択肢> 1) 1万人未満 2) 1万人以上10万人未満 3) 10万人以上100万人未満 4) 100万人以上1,000万人未満 5) 1,000万人以上
⑤移転する情報の対象となる本人の範囲	介護保険の被保険者のうち、各事務にかかる申請のあった者
⑥移転方法	[☒] 庁内連携システム [] 専用線 [] 電子メール [] 電子記録媒体(フラッシュメモリを除く。) [] フラッシュメモリ [] 紙 [] その他 ()
⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和3年度約900回。)

6. 特定個人情報の保管・消去		
①保管場所 ※		<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 情報連携基盤システムは、庁舎内の情報管理室に設置し、情報管理室への入退室を厳重に管理する。 (2) 特定個人情報は、情報管理室内に設置された機器に保存する。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1) 中間サーバー・プラットフォームはデータセンターに設置しており、データセンターへの入館及びサーバー室への入室を行う際は、警備員などにより顔写真入りの身分証明書と事前申請との照合を行う。 (2) 特定個人情報は、サーバー室に設置された中間サーバーのデータベース内に保存され、バックアップもデータベース上に保存される。 <介護保険システムにおける措置> 介護保険システムのサーバ内の磁気ディスクにデータとして保管している。当該サーバは鍵付きの耐震ラックに格納し、常時施錠された専用スペースに設置している。また、生体認証による入退室管理を実施するとともに、自動消火装置及び監視カメラを設置している。 <電子申請システムにおける措置> 電子申請システム上の特定個人情報は、サービス提供者が契約するクラウドサービス上に保管される。
	期間	<選択肢> 1) 1年未満 2) 1年 3) 2年 4) 3年 5) 4年 6) 5年 7) 6年以上10年未満 8) 10年以上20年未満 9) 20年以上 10) 定められていない
②保管期間	その妥当性	<情報連携基盤システム> 団体内統合宛名番号に紐づく全ての特定個人情報が不要となるまで保管する必要があるため、宛名ファイルとしての期間を定めることができない。 <介護保険システム> 各情報において、以下の年数を原則として保管し、それを経過したものについては消去する。 (1) 保険料賦課・徴収に関する情報 徴収権の時効完結又は欠損した年度の翌年度から10年間保管する。 (2) 保険給付等に関する情報 介護サービス事業者が保険給付等が支払われた年度の翌年度から5年間保管する。 (3) 被保険者資格・要介護(要支援)認定等に関する情報に関する情報 上記(1)、(2)の情報がすべて消去され、かつ住民票が除票となっている被保険者は、その資格情報及び要介護(要支援)認定等に関する情報も消去する。
③消去方法		<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 団体内統合宛名番号に紐づく特定個人情報の情報連携が不要になった時点で削除する。 (2) ディスク交換やハード更改等の際は、情報連携基盤システム運用機器の保守・運用を行う事業者において、保存された情報が読み出しできないよう、物理的破壊又は専用ソフト等を利用して完全に消去する。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1) 特定個人情報の消去は地方公共団体からの操作によって実施されるため、通常、中間サーバー・プラットフォームの保守・運用を行う事業者が特定個人情報を消去することはない。 (2) ディスク交換やハード更改等の際は、中間サーバー・プラットフォームの保守・運用を行う事業者において、保存された情報が読み出しできないよう、物理的破壊又は専用ソフト等を利用して完全に消去する。 <介護保険システムにおける措置> (1) 移転・提供が不要となった特定個人情報について、定期的に情報連携基盤システム上から削除する。 (2) ディスク交換やハード更改等の際は、保守・運用を行う事業者において、保存された情報が読み出しできないよう、物理的破壊又は専用ソフト等を利用して完全に消去する。 (3) 保管する必要がないデータは、処理日程を決め(年1回)、削除を行う。 <電子申請システムにおける措置> 名古屋市中からサービス提供者に対して依頼することで消去する。
7. 備考		

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

介護住記情報(全市)		58	住所を定めた異動日	117	外住なり処理区分
1	住民番号(介護保険システム内の個人識別番号。別添2において同じ。)	59	住所を定めた異動事由	118	外住なり異動年月日(西暦)
2	住所区分1	60	住所を定めた届出日	DV対象者管理情報(全市)	
3	世帯番号	61	住民でなくなった異動日	1	住民番号
4	カナ世帯主氏名	62	住民でなくなった異動事由	2	住記管理区コード
5	世帯主氏名	63	住民でなくなった届出日	3	DV対象者フラグ
6	郵便番号本番	64	確定日異動日	資格記録情報(全被)	
7	郵便番号枝番	65	確定日区分	1	住民番号
8	管轄区	66	確定地異動事由	2	履歴番号
9	統計学区	67	確定地届出日	3	前履歴番号
10	現住所	68	住民区分2	4	被保険者番号
11	現住所例外区分	69	仮登録区分	5	被保険者種別
12	市内住所コード	70	被保険者番号	6	資格取得事由
13	丁目	71	外国人登録番号①	7	資格取得年月日
14	地番	72	外国人登録番号②	8	取得届出年月日
15	枝番	73	国籍コード	9	取得届出者区分
16	末番	74	在留資格コード	10	資格喪失事由
17	方書	75	在留資格(自)	11	資格喪失年月日
18	方書例外区分	76	在留資格(至)	12	喪失届出年月日
19	住宅コード	77	氏名区分	13	喪失届出者区分
20	棟コード	78	備考	被保険者証情報(全被)	
21	準世帯サイン	79	介護世帯番号	1	被保険者番号
22	棟・街区	80	介護世帯続柄1	2	履歴番号
23	階・棟	81	介護世帯続柄2	3	前履歴番号
24	号	82	介護世帯続柄3	4	証種別
25	住記カナ氏名	83	世帯員フラグ	5	資格取得年月日
26	カナ氏名	84	介護世帯更新日	6	証発行事由
27	カナ氏名例外区分	85	前月管轄区	7	証発行年月日
28	氏名	86	区間異動処理年月	8	発行場所
29	氏名例外区分	以下、外国人住民のみの情報		9	証回収事由
30	カナ本名	87	世帯主住外区分	10	証回収年月日
31	カナ本名例外区分	88	アルファベット世帯主名	11	住民番号
32	本名	89	世帯主通称名	12	証回収依頼日
33	本名例外区分	90	世帯主外国人宛名フラグ	13	証回収催告状発行日
34	性別	91	アルファベット氏名	適用除外情報(非被)	
35	続柄1	92	カタカナ表記氏名	1	住民番号
36	続柄2	93	本籍	2	履歴番号
37	続柄3	94	筆頭者	3	前履歴番号
38	生年月日	95	第30条の45に規定する区分	4	適用除外該当事由
39	生年月日エラーフラグ	96	在留期間コード	5	適用除外該当年月日
40	生年月日(邦暦)	97	最終異動事由	6	適用除外該当届出年月日
41	転居前住所異動日	98	最終変更区分	7	適用除外非該当事由
42	転居前住所	99	最終処理区分	8	適用除外非該当年月日
43	転居前方書	100	最終異動年月日(西暦)	9	適用除外非該当届出年月日
44	転入元郵便番号本番	101	最終届出年月日(西暦)	10	管轄区
45	転入元郵便番号枝番	102	消除異動事由	11	適用除外施設コード
46	転入元自治省コード	103	消除変更区分	12	措置市区町村区分
47	転入元住所	104	消除処理区分	13	実施機関コード
48	転入元方書	105	転出確定異動事由	14	実施機関名称
49	転出先郵便番号本番	106	転出確定変更区分	医療保険情報(2号)	
50	転出先郵便番号枝番	107	転出確定処理区分	1	住民番号
51	転出先自治省コード	108	住定異動事由	2	履歴番号
52	転出先地	109	住定変更区分	3	前履歴番号
53	転出先方書	110	住定処理区分	4	保険者番号
54	転出フラグ	111	住なり異動事由	5	記号番号
55	住民となった異動日	112	住なり変更区分	6	加入年月日
56	住民となった異動事由	113	住なり処理区分	7	脱退年月日
57	住民となった届出日	114	住なり異動年月日(西暦)	8	証有効期限
		115	外住なり異動事由	9	本人扶養区分
		116	外住なり変更区分	生活保護情報(全被)	

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者

1 住民番号	1 住民番号	7 市区町村コード
2 履歴番号	2 履歴番号	8 特徴取扱機関
3 前履歴番号	3 前履歴番号	9 年金保険者
4 生活保護開始事由	4 該当事由	10 年金種別
5 生活保護開始年月日	5 該当年月日	11 対象通知日
6 生活保護廃止事由	6 該当届出年月日	12 中止事由
7 生活保護廃止年月日	7 該当入所年月日	13 中止年月日
8 中国残留邦人公費受給者区分	8 該当通知種別	14 普徴開始年月
9 保護市区町村区分	9 該当発行事由	15 徴収実績コード1
10 実施機関コード	10 該当発行年月日	16 徴収実績コード2
11 実施機関名称	11 非該当事由	17 徴収実績コード3
前月分生活保護情報(1号)	12 非該当年月日	18 徴収実績コード4
1 個人番号	13 非該当届出年月日	19 徴収実績コード5
2 履歴番号	14 非該当退所年月日	20 徴収実績コード6
3 前履歴番号	15 非該当通知種別	21 仮徴収金額
4 生活保護開始事由	16 非該当発行事由	22 変更事由
5 生活保護開始年月日	17 非該当発行年月日	23 仮徴収依頼額①
6 生活保護廃止事由	18 事業者番号	24 仮徴収依頼額②
7 生活保護廃止年月日	19 保険者番号	25 本徴収金額
8 保護市区町村区分	20 被保険者番号	26 回数割①
9 実施機関コード	21 入所照会日	27 回数割②
10 実施機関名称	22 転居届出日	28 翌年度引継額
11 代理納付履歴(最終)	23 死亡届出日	29 住民番号
老齢福祉年金情報(1号)	24 施設退所連絡票受領日	30 前年度基礎年金番号(基礎番号)
1 住民番号	25 管轄区	31 前年度基礎年金番号(CD)
2 履歴番号	資格異動届出情報(全被)	32 前年度市区町村コード
3 前履歴番号	1 住民番号	33 前年度特徴取扱機関
4 老福受給開始年月日	2 履歴番号	34 前年度年金保険者
5 老福受給停止年月日	3 得喪区分	35 前年度年金種別
6 証書記号番号	4 届出者氏名(カナ)	36 継続区分
公費負担情報(1号の受給者)	5 届出者氏名(漢字)	37 徴収区分2
1 住民番号	6 届出者住所	38 住所地特例区分
2 履歴番号	7 届出者電話番号	39 特徴開始年月
3 前履歴番号	8 届出者電話区分1	特別徴収回付記録情報(1号)
4 公費負担医療区分	9 届出者電話区分2	1 被保険者番号
5 公費負担医療開始年月日	10 届出者郵便番号本番	2 回付年月
6 公費負担医療終了年月日	11 届出者郵便番号枝番	3 通知種別
自市町村住所地特例情報(全被)	12 届出者住所2	4 履歴番号
1 住民番号	代理納付情報(1号)	5 前履歴番号
2 履歴番号	1 住民番号	6 依頼事由
3 前履歴番号	2 生活保護情報履歴番号	7 各種年月日
4 適用事由	3 履歴番号	8 依頼年月日
5 適用年月日	4 前履歴番号	9 依頼金額1
6 適用届出年月日	5 委任状徴収日	10 依頼金額2
7 適用入所年月日	6 委任状徴収開始日	11 依頼結果通知事由
8 適用解除事由	7 委任状徴収終了日	12 依頼結果通知年月日
9 適用解除年月日	不現住情報(全被)	13 通知結果
10 適用解除届出年月日	1 被保険者番号	14 未計算フラグ
11 適用解除退所年月日	2 不現住状態区分	特別徴収回付情報(1号)
12 事業者番号	3 開始日	1 レコード区分
13 施設種別コード	4 確定日	2 市町村コード
14 施設所在地保険者番号	5 臨宅日	3 特徴義務者コード
15 住所地特例変更届出日	6 消除依頼日	4 通知内容コード
16 施設入所連絡票受領日	特別徴収管理情報(1号)	5 特徴制度コード
17 他市町村住所地特例者連絡票受領日	1 被保険者番号	6 作成年月日
18 施設退所連絡票受領日	2 相当年度	7 基礎年金番号
19 施設退所通知受領日	3 基礎年金番号(基礎番号)	8 年金コード
20 施設変更通知受領日	4 基礎年金番号(CD)	9 生年月日
21 管轄区	5 徴収区分	10 性別
他市町村住所地特例情報(非被)	6 所得段階	11 カナ氏名

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

12	漢字氏名	48	賦課決定年月日	36	一時所得
13	郵便番号	49	賦課期日年月日	37	総所得金額
14	カナ住所	50	特徴取扱機関	38	土地事業等
15	漢字住所	51	年金保険者	39	分離短期控除前
16	各種区分	52	年金種別	40	分離長期控除前
17	処理結果	53	未計算回付年月	41	一般株式等譲渡所得
18	後期移管コード	保険料期別情報(1号)		42	山林所得
19	各種年月日	1	被保険者番号	43	退職所得
20	金額1	2	相当年度	44	総合長期譲渡所得
21	金額2	3	賦課年度	45	申告区分
22	金額3	4	徴収区分	46	課税コード
23	共済年金証書記号番号	5	履歴番号	47	所得調査区分
保険料賦課情報(1号)		6	所得段階区分	48	介護合計所得
1	被保険者番号	7	仮徴収分保険料額	49	総所得金額等
2	相当年度	8	仮徴収分発付区分	50	所得控除計(住)
3	履歴番号	9	仮徴収分発付年月日	51	総合課税(住)
4	前履歴番号	10	本徴収分保険料額	52	分離課税(住)
5	住民番号	11	本徴収分発付区分	53	所得割額(市)
6	徴収区分	12	本徴収分発付年月日	54	均等割額(市)
7	世帯非課税	13	調定区1～12	55	所得割額(県)
8	本人課税非課税区分	14	保険料額1～12	56	均等割額(県)
9	資格有無	15	保険料額(決定額)	57	税額合計
10	所得段階	16	賦課事由	58	繰越控除合計
11	生保受給中	17	賦課決定日	59	減免額
12	老福受給中	所得情報(全被及び世帯員)		60	年税額(減免後)
13	仮本区分	1	個人番号	61	税合計所得金額
14	特徴履歴有無	2	相当年度	62	レコード作成年月日
15	普徴履歴有無	3	履歴番号	63	先物取引雑所得
16	強制段階入力区分	4	前履歴番号	64	上場株式等譲渡所得
17	計算時調定区	5	税情報連動制御	65	上場株式等配当所得
18	徴収区分1	6	障害区分	66	その他合計所得金額
19	徴収区分2	7	老年者フラグ	67	仮基準収入額
20	徴収区分3	8	寡婦・ひとり親区分	68	分離短期特別控除額
21	月別資格有無1～12	9	勤労学生フラグ	69	分離長期特別控除額
22	月別所得段階1～12	10	未成年者フラグ	保険料減免情報	
23	月別生保受給1～12	11	夫有りフラグ	1	被保険者番号
24	月別老福受給1～12	12	生活保護フラグ	2	相当年度
25	月別入力段階1～12	13	非課税年金フラグ	3	履歴番号
26	基準判定所得額	14	老年廃止措置区分	4	前履歴番号
27	算出保険料額	15	データ標準有無フラグ	5	個人番号
28	減免区分	16	所得照会区分	6	減免合計額
29	減免事由	17	同特人数	7	災害全壊減免額
30	減免区	18	16歳未満扶養	8	災害半壊減免額
31	減免申請年月日	19	普障人数	9	所減50減免額
32	減免決定年月日	20	特障人数	10	所減30減免額
33	減免開始年月	21	控配区分	11	死亡減免額
34	減免終了年月	22	老人扶養	12	東日震災減免額
35	減免額	23	特定扶養	13	給付制限減免額
36	保険料額	24	その他扶養	保険料収納情報(1号)	
37	年金収入	25	給与収入	1	住民番号
38	特徴開始年月	26	年金収入	2	被保険者番号
39	特徴中止事由	27	給与所得	3	賦課年度
40	特徴中止年月日	28	営業等所得	4	相当年度
41	特徴分保険料額	29	農業所得	5	徴収区分
42	特別徴収仮算分(内)	30	総合短期譲渡所得	6	連番
43	普徴開始事由	31	不動産所得	7	期別
44	普徴開始年月	32	利子所得	8	会計年度
45	普徴分保険料額	33	配当所得	9	更正回数
46	普通徴収仮算分(内)	34	雑所得	10	収入回数
47	賦課事由	35	年金所得	11	調定区

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

12	調定情報保険料額	7	期別	23	過誤納発生区
13	調定情報延滞金額	8	会計年度	24	科目コード
14	調定情報延滞金減免額	9	収入種別	25	加算金有効S
15	収入情報保険料収入	10	領収年月日	26	支出日
16	収入情報延滞金収入	11	収入年月日	27	通知書出力日
17	収入情報納期限	12	保険料収入	28	還付調書受付年月日
18	還付未済情報保険料額	13	延滞金収入	29	還付済年月日
19	還付未済情報延滞金額	14	督促手数料	30	還付済区分
20	領収日	15	簿冊番号	31	還付支払情報区分
21	収入日	16	簿冊連番	32	保険料額(収入明細・調定)
22	消込処理日	17	納付区分	33	延滞金額(収入明細・調定)
23	納通発付区分	18	年金保険者	34	保険料収入(収入明細・収入)
24	納通発付年月日	19	元納付回数	35	延滞金収入(収入明細・収入)
25	納通公示送達日	20	還付済保険料額	36	住民番号(あて名用)
26	納付書発付区分	21	還付済延滞金額	37	過誤納発生日(取消用)
27	納付書発付年月日	22	充当済保険料額	38	過誤納区分
28	督促発付区分	23	充当済延滞金額	39	賦課事由
29	督促発付年月日	24	コンビニフラグ	40	レコード区分
30	督促指定期限	25	収納時間	41	還付通知発付区分
31	督促公示送達日	26	区コード	42	還付通知公示送達日
32	催告発付区分	27	納付取消	43	銀行コード
33	催告発付回数	28	算出延滞金	44	支店コード
34	催告発付年月日	29	職員コード	45	出張所コード
35	時効起算日区分	30	還付済督促手数料	46	種別
36	時効起算日(納付)	31	充当済督促手数料	47	口座番号
37	時効起算日(処分)	過誤納発生情報(1号)		48	口座名義(漢字)
38	停止期間累計日数	1	住民番号	49	口座名義(カナ)
39	時効成立日	2	被保険者番号	50	決定時会計年度
40	不納欠損理由	3	賦課年度	51	収入年度
41	決定金額保険料額	4	相当年度	充当処理情報(1号)	
42	決定金額延滞金額	5	徴収区分	1	処理番号
43	今年度当初調定額(滞繰額)	6	連番	2	処理区分
44	今年度保険料更正額	7	期別	3	枝番
45	今年度保険料現年度収入額	8	過誤納発生日	4	被保険者番号
46	前年度当初調定額(滞繰額)	9	過誤納区分	5	賦課年度
47	前年度保険料更正額	10	賦課事由	6	相当年度
48	前年度保険料収入額	11	過誤納停止区分	7	徴収区分
49	徴収猶予	還付処理情報(1号)		8	連番
50	換価猶予	1	処理番号	9	収入回数
51	分納誓約	2	処理区分	10	処理区
52	滞納処分停止	3	枝番	11	期別
53	差押え	4	被保険者番号	12	充当サイン
54	参加差押え	5	賦課年度	13	保険料収入
55	交付要求	6	相当年度	14	延滞金収入
56	不納欠損	7	徴収区分	15	充当先元被保険者番号
57	即時不納欠損	8	連番	16	充当先元賦課年度
58	延滞金免除	9	収入回数	17	充当先元相当年度
59	督促発付停止	10	処理区	18	充当先元徴収区分
60	催促発付停止	11	期別	19	充当先元連番
61	賦課事由	12	還付元保険料収入	20	充当先元収入回数
62	賦課決定日	13	還付元延滞金収入	21	過誤納発生日
63	納付方法	14	還付元発生回数	22	過誤納区分
64	結果事由	15	領収年月日	23	賦課事由
収入履歴情報(1号)		16	起算日	24	過誤納発生区
1	被保険者番号	17	還付加算金保険料収入	25	充当区分
2	賦課年度	18	日数	26	充当通知日
3	相当年度	19	支払方法	27	支出年月日
4	徴収区分	20	過誤納発生日	28	処理年月日
5	連番	21	過誤納区分	29	保険料額(収入明細・調定)
6	収入回数	22	賦課事由	30	延滞金額(収入明細・調定)

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

31	保険料収入(収入明細・収入)	2	被保険者番号	21	特記事項
32	延滞金収入(収入明細・収入)	3	賦課年度	22	住所地特例
33	領収年月日(収入明細)	4	相当年度	23	引抜フラグ
34	住民番号(あて名用)	5	徴収区分	24	催告処理日
35	過誤納発生日(取消用)	6	連番1～12	未納催告累積情報	
36	過誤納区分(取消用)	7	期別1～12	1	KEY被保険者番号
37	賦課事由(取消用)	8	調定区1～12	2	KEY賦課年度
38	充当発生回数	9	保険料額1～12	3	KEY相当年度
39	レコード区分	10	保険料収入1～12	4	KEY徴収区分
40	還付通知発付区分	11	時効成立日1～12	5	KEY対象月
41	還付通知公示送達日	12	不納欠損理由1～12	6	KEY調定区
42	決定時会計年度	13	決定保険料額1～12	7	KEY保険料額
43	収入年度	14	期別有効フラグ1～12	8	KEY延滞金額
分納情報(1号)		15	月別所得段階1～12	9	連番
1	誓約番号	納付書管理情報(1号)		10	期別
2	回数	1	被保険者番号	11	個人番号
3	順位	2	賦課年度	12	帳票一覧番号(区コード)
4	被保険者番号	3	相当年度	13	帳票一覧番号(支所コード)
5	賦課年度	4	連番	14	帳票一覧番号(通達員コード)
6	相当年度	5	支払期限	15	帳票一覧番号(一連番号)
7	徴収区分	6	保険料	16	現年滞繰フラグ
8	連番	7	延滞金	17	会計年度
9	期別	8	再発行回数	18	科目
10	納付予定日	(コンビニ収納)速報履歴情報(1号)		19	未納保険料
11	納付予定保険料額	1	被保険者番号	20	延滞金額
12	誓約保険料額	2	賦課年度	21	延滞金日数
13	分納時納付金額	3	相当年度	22	催告指定期限
14	保険料納付済み	4	徴収区分	23	催告発付年月日
15	解除サイン	5	連番	24	業務日付
16	区コード	6	収入回数	25	最新被保険者番号
17	申請年月日	7	期別	26	在籍区
18	誓約年月日	8	会計年度	24	滞納期間From
19	納付開始年月日	9	データ種別	25	滞納期間To
20	納付日	10	領収年月日	26	最終収納日
21	本日支払額	11	収入年月日	27	滞納期数(現年分)
22	保険料	12	保険料収入	28	滞納期数(遡及分)
23	期別数	13	延滞金収入	29	滞納期数(滞越分)
24	完納サイン	14	納付区分	30	滞納額(現年分)
25	終了年月日	15	収納時間	31	滞納額(遡及分)
26	処理区分	電話催告者情報(1号)		32	滞納額(滞越分)
27	処理年月日	1	処理年月	33	複数調定区有無
28	住民番号	2	区コード	34	16区調定情報
29	分納種別コード	3	介護世帯番号	35	滞納処分停止
30	分割の仕方コード	4	被保険者番号	36	催告発付停止
31	①1回の分納金額	5	カナ氏名	37	認定有無
32	②1回の分納金額	6	氏名	38	要介護状態区分
33	納付予定日コード	7	性別	39	保険料所得段階の相当年度
34	納付書受け渡しコード	8	電話番号1～5	40	所得段階
35	郵送/来庁日コード	9	電話区分1～5	41	介護合計所得
36	開始月コード	10	賦課年度1～3	42	納付誓約(分納約束)有無
37	当月分納付書発行	11	相当年度1～3	43	資格取得年月日
38	納付誓約書発行	12	徴収区分1～3	44	資格喪失年月日
39	差押承諾書発行	13	保険料段階1～3	45	資格喪失事由
40	備考	14	調定額1～3	46	生保有無
41	延滞金完納サイン	15	未納額1～3	47	生活保護開始年月日
42	直近納付日(滞繰)	16	納付方法1～3	滞納整理記録情報(1号)	
43	直近納付日(現年)	17	住所	1	被保険者番号
44	分納残額	18	方書	2	住民番号
納付原簿情報(1号)		19	送付先	3	納付約束有無
1	住民番号	20	相談記録票	4	履行期限

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

5	方法種別	11	コンビニ収納速報収納額累計	2	(滞納整理内訳)前履歴番号
6	内容	12	延滞金額	3	発行帳票コード
滞納整理記録内訳情報(1号)		13	延滞金減免額	4	帳票タイトル
1	被保険者番号	14	督促手数料	5	あて先郵便番号
2	履歴番号	15	相当年度	6	あて先1
3	前履歴番号	16	賦課年度	7	あて先2(住所)
4	実施日	催告書発行履歴情報(1号)		8	あて先3(方書)
5	実施部署	1	被保険者番号	9	あて先3(氏名)
6	方法種別	2	(滞納整理内訳)前履歴番号	10	あて先4(死亡時用)
7	内容	3	発行帳票コード	11	オーバフラグあて先1
8	履行期限	4	あて先郵便番号	12	オーバフラグ住所
9	対象期間 開始	5	あて先1	13	オーバフラグ方書
10	対象期間 終了	6	あて先2(住所)	14	オーバフラグ氏名
11	発行帳票コード	7	あて先3(方書)	15	発行日
12	回答受領日	8	あて先3(氏名)	16	発行者
13	記録メモ	9	あて先4(死亡時用)	17	履行期限
財産管理情報(1号)		10	発行日	18	催告書対象分期数
1	被保険者番号	11	発行者	19	滞納期間From
2	(滞納整理内訳)前履歴番号	12	履行期限	20	滞納期間To
3	財産照会被保険者番号	13	催告書対象分期数	21	催告書対象分合計額
4	財産照会前履歴番号	14	滞納期間From	22	未納額調査日
5	財産種別	15	滞納期間To	23	本文1
6	名称	16	催告書対象分合計額	24	本文2
7	本店名	17	未納額調査日	25	問合先名
8	郵便番号	18	自由文書1	26	問合先電話
9	住所	19	自由文書2	27	問合先FAX
10	方書	20	自由文書3	28	担当名
11	回答受領日	21	問合先名	差押調書発行履歴情報(1号)	
12	金融機関種別	22	問合先電話	1	被保険者番号
13	本支店名	23	問合先FAX	2	(滞納整理内訳)前履歴番号
14	口座種別	24	担当名	3	財産登録被保険者番号
15	口座番号	財産照会文書発行履歴情報(1号)		4	財産登録前履歴番号
16	通帳記号	1	被保険者番号	5	発行帳票コード
17	貯金番号	2	(滞納整理内訳)前履歴番号	6	区長名
18	満期日	3	発行帳票コード	7	区市長氏名
19	年金種別	4	送付先郵便番号	8	滞納者住所1
20	年金記号番号	5	送付先住所	9	滞納者住所2
21	金額	6	送付先方書1	10	滞納者氏名
22	その他メモ	7	送付先方書2	11	債務者住所
介護保険料未納明細書情報(1号)		8	照会先名称1	12	債務者氏名
1	被保険者番号	9	照会先敬称1	13	権利者氏名
2	(滞納整理内訳)前履歴番号	10	照会先名称2	14	権利者住所
3	被保険者氏名	11	照会先敬称2	15	権利の種類
4	発行日	12	発行日	16	履行期限
5	未納額調査日	13	発行者	17	連絡先
6	催告書対象分期数	14	実施日	18	連絡先担当者名
7	催告書対象分合計額	15	対象者住所	19	連絡先電話番号
8	滞納処分停止分期数	16	対象者方書	20	差押債権1～12
9	滞納処分停止分合計額	17	対象者フリガナ	21	差押年月日
介護保険料未納明細書内訳情報(1号)		18	対象者氏名	差押解除発行履歴情報(1号)	
1	被保険者番号	19	対象者生年月日	1	差押調書前履歴番号
2	(滞納整理内訳)前履歴番号	20	銀行名	2	発行帳票コード
3	明細区分	21	支店名	3	区長名
4	明細連番	22	口座種別	4	区市長氏名
5	納付年月	23	口座番号	5	滞納者住所1
6	過年度フラグ	24	連絡先名	6	滞納者住所2
7	納期限	25	連絡先電話番号	7	滞納者氏名
8	未納額	26	担当者名	8	債務者住所
9	保険料調定額	独自催告書発行履歴情報(1号)		9	債務者氏名
10	保険料収納額累計	1	被保険者番号	10	連絡先

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

11	連絡先担当者名	5	取得日	10	続柄1
12	連絡先電話番号	6	年金給与支払者名称	11	続柄2
13	関係者_住所1～2	7	所在地	12	続柄3
14	関係者_氏名1～2	8	電話番号	13	生年月日
15	関係者_区分1～2	9	就職年月日	受給者情報(受給者)	
16	解除理由1～3	10	退職年月日	1	被保険者番号
17	備考1～3	11	種別コード	2	住民番号
18	差押債権1～12	12	結果コード	3	要介護状態区分
19	差押年月日	処分履歴情報(1号)		4	認定期間_開始日
20	差押解除年月日	1	被保険者番号	5	認定期間_終了日
配当計算書発行履歴情報(1号)		2	賦課年度	6	認定申請IDX
1	被保険者番号	3	相当年度	7	支払方法変更
2	(滞納整理内訳)前履歴番号	4	徴収区分	8	給付額減額
3	差押調書前履歴番号	5	連番	9	指定サービス
4	発行帳票コード	6	決定年月日	10	短期入所サービス拡大日数
5	区長名	7	処分コード	(認定)申請情報(受給者)	
6	区市長氏名	8	区コード	1	被保険者番号
7	滞納者住所1	9	期別	2	認定申請IDX
8	滞納者住所2	10	申請書年月日	3	認定申請日
9	滞納者氏名	11	決定年度(停止)(欠損)	4	認定申請事由
10	受入金額	12	決定番号	5	認定申請届出者区分
11	支払_債権者住所1～3	13	決定理由	6	届出者氏名(カナ)
12	支払_債権者氏名1～3	14	滞納原因	7	届出者氏名(漢字)
13	支払_配当順位1～3	15	開始年月日	8	届出者住所
14	支払_区長確認金額1～3	16	終了年月日	9	届出者電話番号
15	支払_配当金額1～3	17	解除年月日(取消)	10	申請受付端末
16	支払_備考1～3	18	保険料	11	依頼書提出期日
17	残余金	19	延滞金	12	認定予定日
18	換価_年月日	20	延滞金免除区分	13	訪問調査委託日
19	換価_時間	不納欠損該当情報(1号)		14	訪問調査票受理日
20	換価_場所	1	被保険者番号	15	訪問調査票提出期限
21	謄本交付_住所1～3	2	賦課年度	16	訪問調査機関_都道府県コード
22	謄本交付_氏名1～3	3	相当年度	17	訪問調査事業者番号
23	謄本交付_区分1～3	4	徴収区分	18	訪問調査調査員
24	連絡先	5	連番	19	訪問調査実施日
25	連絡先電話番号	6	期別	20	医療調査委託日
26	差押債権1～12	7	保険料額(調定)	21	意見書受理日
差押滞納処分明細情報(1号)		8	延滞金額(調定)	22	意見書返送期限
1	被保険者番号	9	保険料収入額	23	医療調査機関_都道府県コード
2	(滞納整理内訳)前履歴番号	10	延滞額収入額	24	医療調査事業者番号
3	明細連番	11	時効起算日	25	医療調査調医師
4	賦課年度	12	停止期間累計日数	26	医療調査実施日
5	相当年度	13	時効成立予定日	27	特定疾病区分
6	徴収区分	14	決定理由	28	疾病区分1
7	連番	15	滞納原因	29	一次判定実施日
8	調定区	16	不納欠損決定年度	30	一次判定要介護状態区分
9	督促状指定期限	17	決定年月日	31	審査会日
10	介護保険料額	18	保険料額(決定)	32	認定結果決定日
11	延滞金額	19	延滞金額(決定)	33	認定結果区分
12	滞納処分額	20	不納欠損非該当フラグ	34	認定要介護状態区分
13	備考	(賦課)世帯員管理情報(1号及び世帯員)		35	非該当理由
年金給与支払情報照会依頼情報		1	被保険者番号	36	認定期間_開始日
1	住民番号	2	相当年度	37	認定期間_終了日
2	課税年度	3	住民番号	38	留意事項1
3	依頼日	4	履歴番号	39	留意事項2
年金給与支払者情報		5	前履歴番号	40	旧措置者区分
1	住民番号	6	賦課期日	41	認定結通知書発行日
2	課税年度	7	非該当日	42	認定申請取下事由
3	連番	8	本人区分	43	認定申請取下日
4	依頼日	9	作成日	44	認定取消事由

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

45	職権による区分変更事由	1	被保険者番号	15	解除日
46	管轄区分	2	未決事由	16	事由が止んだ日
47	届出者郵便番号 本番	3	認定申請日	17	納付額減額期間(月)
48	届出者郵便番号 枝番	4	訪問調査実施日	18	停止期間件数
49	届出者住所方書	5	意見書受理日	19	時効情報 年度1～11
50	届出者連絡先区分	6	一次判定日	20	時効情報 時効消滅額1～11
51	届出者連絡先時間帯	7	審査会日	21	時効情報 納付額1～11
52	審査会意見1	8	認定通知期限	22	時効情報 年賦課額1～11
53	審査会意見2	9	資料点検済	23	徴収権消滅期間 時効年数1～11
54	申請受理連絡票発行日	10	訪問調査	24	徴収権消滅期間 算定済数1～11
55	訪問調査依頼票発行日	11	医療調査	25	徴収権消滅期間 算定対象1～11
56	主治医意見書提出依頼書発行日	12	一次判定	26	納付済期間 納付年数1～11
57	調査医区分	13	二次判定・取下	27	納付済期間 算定済数1～11
58	発症日1	14	管轄区分	28	納付済期間 算定対象1～11
59	疾病区分2	15	調査委託先 都道府県コード	29	調整情報 時効消滅額
60	発症日2	16	調査委託先 事業者番号	30	調整情報 納付額
61	疾病区分3	17	医療機関 都道府県コード	31	調整情報 年賦課額
62	発症日3	18	医療機関 事業者番号	弁明関係情報(受給者)	
63	審査会区分	19	認定申請事由	1	被保険者番号
64	申請却下通知書発行日	20	前回 認定結果区分	2	履歴番号
65	届出者 都道府県コード	21	訪問調査委託日	3	前履歴番号
66	届出者 事業者番号	22	医療調査委託日	4	処分依頼受付日
67	意見書支払有無	23	審査会区分	5	滞納保険料期間 開始年月
68	訪問調査再登録事由	24	前回 認定期間 終了日	6	滞納保険料期間 終了年月
69	意見書再登録事由	25	処分延期通知書発行日	7	滞納保険料額
70	一次判定修正理由	支払方法情報(受給者)		8	予告通知書発行日
71	送信済区分	1	被保険者番号	9	予告通知書発行理由
72	認定申請取消区分	2	支払方法IDX	10	弁明書提出期限
73	有効期間区分	3	履歴番号	11	弁明書受付日
74	調査利用同意有無	4	前履歴番号	12	弁明書審査結果
75	受給資格証明書発行日	5	支払方法	13	弁明内容1
76	介護扶助区分	6	1号償還払 処分期間 開始日	14	弁明内容2
77	やむを得ない事由区分	7	1号償還払 処分期間 終了日	15	支払方法IDX
78	短期入所サービス拡大有無	8	1号償還払 解除事由	16	2号滞納状況 年度1～3
79	短期入所サービス拡大日数	9	1号償還払 支払方法変更通知書発行日	17	2号滞納状況 保険料額1～3
80	申請時状況	10	1号償還払 給付制限解除通知書発行日	18	2号滞納状況 収納額1～3
81	意見書種類	11	2号差止 処分期間 開始日	19	2号滞納状況 未収額1～3
82	意見書単価	12	2号差止 処分期間 終了日	(給付)減免者情報(受給者)	
83	意見書単価区分	13	2号差止 解除事由	1	被保険者番号
指定サービス情報(受給者)		14	2号差止 一時差止通知書発行日	2	減免区分
1	被保険者番号	15	2号差止 解除決定日	3	履歴番号
2	認定申請IDX	16	差止 給付制限解除通知書発行日	4	前履歴番号
3	指定サービス種類1～36	17	償還払 解除決定日	5	減免申請日
4	指定サービス点数1～36	18	処分無効フラグ1	6	減免申請事由
(認定)処分延期情報(受給者)		19	処分無効フラグ2	7	減免決定日
1	被保険者番号	給付額減額情報(1号の受給者)		8	減免結果区分
2	認定申請IDX	1	被保険者番号	9	減免申請非該当理由
3	認定見込日	2	履歴番号	10	減免期間 開始日
4	処分延期事由	3	前履歴番号	11	減免期間 終了日
5	処分延期通知書発行日	4	減額決定日	12	標準負担額
他自治体認定情報(受給者)		5	徴収権消滅期間(年)	13	減免額
1	被保険者番号	6	給付額減額期間 開始年月日	14	給付率
2	認定申請IDX	7	給付額減額期間 終了年月日	15	認定証交付日
3	前保険者番号	8	保険料納付済期間(年)	16	認定証有効期間 終了日
4	前保険者認定期間 開始日	9	処分事由	17	MAX 申請日
5	前保険者認定期間 終了日	10	給付額減額通知書発行日	18	認定証交付事由
6	前保険者被保険者番号	11	解除申請日	19	取消日
7	前保険者認定日	12	解除事由	20	取消事由
8	転入申請区分	13	給付制限解除通知書発行日	21	減免結果通知書発行日
(認定)申請進捗情報(受給者)		14	解除決定日	22	取消通知書発行日

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

23	認定証有効期間_開始日	基本チェックリスト(事業対象者)情報(受給者)	3	調査員資格コード
24	公費受給者番号	1 住民番号	4	要介護認定等基準時間
25	公費負担者番号	2 履歴番号	5	機能訓練+間接生活介助
26	身障・高齢区分	3 前履歴番号	6	中間評価項目得点
27	生計中心者_住民番号	4 被保険者番号	7	一次判定警告コード
28	費用徴収基準額	5 事業IDX	8	現在の状況
負担割合証発行管理情報(受給者)		6 基本チェックリスト実施日	9	居宅介護
1	被保険者番号	7 住所地特例区分	10	障害老人自立度
2	履歴年度	8 基本チェックリスト実施結果	11	認知症老人自立度
3	履歴番号	9 有効期間(開始日)	12	基本調査項目1~7
4	前履歴番号	10 有効期間(終了日)	訪問調査項目情報2(受給者)	
5	住民番号	11 該消前有効期間(開始日)	1	被保険者番号
6	交付年月日	12 該消前有効期間(終了日)	2	認定申請IDX
7	負担割合1	13 区支所受付区分	3	調査員資格コード
8	適用開始年月日1	14 申請区	4	要介護認定等基準時間
9	適用終了年月日1	15 管轄区	5	要介護認定等基準時間(詳細)
10	負担割合2	16 事前登録FLG	6	運動能力の低下していない認知症高齢者の指標
11	適用開始年月日2	17 確認事業者番号	7	中間評価項目得点
12	適用終了年月日2	18 質問項目回答1~50	8	一次判定警告配列コード
13	回収日	19 カテゴリ集計1~16	9	日常生活自立度の組み合わせ
14	保険者番号	20 取込・判定更新日	10	重度指標
15	作成処理	基本チェックリスト(効果測定)情報(受給者)	11	軽度指標
16	無効FLG	1 住民番号	12	現在の状況
17	再発行FLG	2 連番	13	居宅介護
受給資格証明書発行管理情報(受給者)		3 被保険者番号	14	障害老人自立度
1	被保険者番号	4 基本チェックリスト実施日	15	認知症老人自立度
2	履歴番号	5 住所地特例区分	16	基本調査項目1~7
3	前履歴番号	6 基本チェックリスト実施結果	17	医療項目
4	住民番号	7 取込区分	18	変更箇所数
5	交付年月日	8 区支所受付区分	19	一次判定要介護状態区分履歴
6	申請年月日	9 確認事業者番号	20	運動能力の低下していない認知症高齢者の目印履歴
7	要介護状態区分	10 サービス種別	21	基本調査項目1~7履歴
8	認定年月日	11 質問項目回答1~50	一次判定修正前情報(受給者)	
9	有効期間(開始)	12 カテゴリ集計1~16	1	被保険者番号
10	有効期間(終了)	非課税年金情報(1号)	2	認定申請IDX
11	負担割合事由	1 基礎年金番号	3	一次判定実施日
12	負担割合	2 対象年	4	調査員資格コード
13	保険者番号	3 年金コード	5	要介護認定等基準時間
負担割合保有情報(受給者)		4 取込年月	6	要介護認定等基準時間(詳細)
1	被保険者番号	5 被保険者番号	7	運動能力の低下していない痴呆性高齢者の指標
2	対象年度	6 年金保険者コード	8	中間評価項目得点
3	住民番号	7 通知内容コード	9	一次判定警告配列コード
4	負担割合事由4月	8 制度コード	10	日常生活自立度の組み合わせ
5	負担割合事由5月	9 作成年月日	11	重度指標
6	負担割合事由6月	10 生年月日	12	軽度指標
7	負担割合事由7月	11 性別	13	現在の状況
8	負担割合事由8月	12 カナ氏名	14	居宅介護
9	負担割合事由9月	13 清音カナ氏名	15	障害老人自立度
10	負担割合事由10月	14 漢字氏名	16	痴呆性老人自立度
11	負担割合事由11月	15 郵便番号	17	基本調査項目1
12	負担割合事由12月	16 カナ住所	18	医療項目
13	負担割合事由1月	17 漢字住所	意見書項目情報(受給者)	
14	負担割合事由2月	18 訂正表示	1	被保険者番号
15	負担割合事由3月	19 各種区分	2	認定申請IDX
転入月負担割合情報(受給者)		20 処理結果	3	意見書記入日
1	被保険者番号	21 金額1	4	短期記憶
2	転入年月	22 共済年金証書記号番号	5	認知能力
3	住民番号	訪問調査項目情報1(受給者)	6	伝達能力
4	負担割合事由	1 被保険者番号	7	食事
5	負担割合	2 認定申請IDX	8	障害老人自立度

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

9	認知症老人自立度	2	受理年月	13	支給限度額
10	尿失禁	3	都道府県番号	14	前月までの短期入所利用日数
11	おむつ証明確認書発行日	4	事業者番号	15	審査年月
12	資料点検済	5	申請書の別	16	入力日
給付額減額停止期間情報(1号の受給者)		6	受理日	17	送信日付
1	被保険者番号	7	意見書単価	18	給付管理票作成区分
2	履歴番号	8	意見書依頼日	19	担当介護支援専門員番号
3	停止期間IDX	9	区コード	20	委託先の居宅介護支援事業所番号_都道府県コード
4	停止決定日	10	区名称	21	委託先の居宅介護支援事業所番号_事業者番号
5	終了決定日	11	認定申請日	22	委託先の担当介護支援専門員番号
6	処分停止事由	12	認定申請IDX	給付管理票明細情報(受給者)	
7	開始日	サービス計画情報(受給者)		1	被保険者番号
8	終了日	1	被保険者番号	2	対象年月
9	事由が止んだ日	2	履歴番号	3	給付管理票種別
支給限度管理情報(受給者)		3	前履歴番号	4	サービス種類
1	被保険者番号	4	居宅サービス作成区分	5	給付計画点数(日数)
2	認定申請IDX	5	届出日	6	サービス事業者_都道府県コード
3	訪通系限度額適用期間_開始年月	6	計画適用期間_開始日	7	サービス事業者_事業者番号
4	訪通系限度額適用期間_終了年月	7	計画適用期間_終了日	8	事業者区分
5	短入系限度額管理期間_開始年月	8	依頼事業者_都道府県コード	給付実績(基本)情報(受給者)	
6	短入系限度額管理期間_終了年月	9	依頼事業者_事業者番号	1	被保険者番号
7	当初短入系限度期間月数	10	居宅サービス計画変更事由	2	サービス提供年月
負担限度額認定情報(受給者)		11	前月までの短期入所利用日数	3	給付実績基本IDX
1	被保険者番号	12	暫定計画FLG	4	請求明細識別
2	減免区分	13	認定申請IDX	5	証記載保険者番号
3	履歴番号	14	無効FLG	6	給付実績区分コード
4	前履歴番号	15	入力日	7	都道府県コード
5	減免申請日	16	管轄区	8	事業者番号
6	減免申請事由	17	統計学区	9	整理番号
7	減免決定日	18	小規模居宅有無	10	公費1~4_負担者番号
8	減免結果区分	19	申請区	11	公費1~4_受給者番号
9	減免申請非該当理由	サービス計画(事業対象者)情報(受給者)		12	生年月日
10	減免期間_開始日	1	被保険者番号	13	性別コード
11	減免期間_終了日	2	履歴番号	14	要介護状態区分コード
12	認定証交付日	3	前履歴番号	15	旧措置入所者特例コード
13	認定証交付事由	4	届出日	16	認定有効期間_開始
14	利用サービス区分	5	計画適用期間_開始日	17	認定有効期間_終了
15	食費	6	計画適用期間_終了日	18	老人保健市町村番号
16	ユニット型個室	7	依頼事業者_都道府県コード	19	老人保健受給者番号
17	ユニット型準個室	8	依頼事業者_事業者番号	20	保険者番号(後期)
18	従来型個室	9	介護ケアマネ依頼届出変更事由	21	被保険者番号(後期)
19	従来型個室(特養・短生)	10	事業IDX	22	保険者番号(国保)
20	多床室	11	無効FLG	23	被保険者証番号(国保)
21	給付率	12	入力日	24	個人番号(国保)
22	費用徴収基準額	13	管轄区	25	計画作成区分コード
23	旧措置者フラグ	14	統計学区	26	計画都道府県コード
24	特例減額措置の適用範囲区分	15	申請区	27	計画事業者番号
25	取消日	給付管理票情報(受給者)		28	開始年月日
26	配偶者の有無	1	被保険者番号	29	中止年月日
27	配偶者の世帯分離の有無	2	対象年月	30	中止理由・入所(院)前の状況コード
28	世帯分離した配偶者の税	3	給付管理票種別	31	入所(院)年月日
29	預貯金等	4	居宅サービス作成区分	32	退所(院)年月日
30	例外事項	5	依頼事業者_都道府県コード	33	入所(院)実日数
31	判定所得	6	依頼事業者_事業者番号	34	外泊日数
32	非課税年金額	7	作成日	35	退所(院)後の状態コード
33	市外非課税年金額入力フラグ	8	被保険者生年月日	36	保険給付率
34	市外非課税年金額入力額	9	性別	37	公費1給付率
35	負担限度額認定年度	10	要介護状態区分	38	公費2給付率
意見書未払情報(受給者)		11	限度額適用期間_開始年月	39	公費3給付率
1	被保険者番号	12	限度額適用期間_終了年月	40	公費4給付率

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

41	サービス点数(前)	10	サービス項目コード	2	サービス提供年月
42	保険請求額(前)	11	点数	3	給付実績基本IDX
43	利用者負担額(前)	12	日数・回数	4	給付実績緊急番号
44	緊急時施設療養費保険請求分合計額(前)	13	公費1～3対象日数・回数	5	緊急時傷病名1～3
45	特定診療費保険請求分合計額(前)	14	サービス点数	6	緊急時治療開始年月日1～3
46	食事提供費請求額(前)	15	公費1～3対象サービス点数	7	往診日数
47	公費1～4_サービス点数(前)	16	施設所在保険者番号	8	往診医療機関名
48	公費1～4_公費請求額(前)	17	摘要	9	通院日数
49	公費1～4_公費本人負担額(前)	18	点数(後)	10	通院医療機関名
50	公費1～4_緊急時施設療養費公費請求分合計額(前)	19	日数・回数(後)	11	緊急時治療管理点数
51	公費1～4_特定診療費公費請求分合計額(前)	20	公費1～3対象日数・回数(後)	12	緊急時治療管理日数
52	公費1～4_食事提供費公費請求分(前)	21	サービス点数(後)	13	緊急時治療管理小計
53	警告区分コード	22	公費1～3対象サービス点数(後)	14	リハビリテーション点数
54	審査年月	23	再審査回数	15	処置点数
55	明細数	24	過誤回数	16	手術点数
56	緊急数	25	審査年月	17	麻酔点数
57	特定数	26	入力日	18	放射線治療点数
58	食事数	給付実績(所定)情報(受給者)		19	摘要1～20
59	計画数	1	被保険者番号	20	緊急時施設療養費合計点数
60	集計数	2	サービス提供年月	21	往診日数(後)
61	特入数	3	給付実績基本IDX	22	通院日数(後)
62	社福数	4	給付実績緊急番号	23	緊急時治療管理点数(後)
63	住特数	5	緊急時傷病名1～3	24	緊急時治療管理日数(後)
64	入力日	6	緊急時治療開始年月日1～3	25	リハビリテーション点数(後)
給付実績(明細)情報(受給者)		7	往診日数	26	処置点数(後)
1	被保険者番号	8	往診医療機関名	27	手術点数(後)
2	サービス提供年月	9	通院日数	28	麻酔点数(後)
3	給付実績基本IDX	10	通院医療機関名	29	放射線治療点数(後)
4	給付実績明細番号	11	緊急時治療管理点数	30	再審査回数
5	請求明細識別	12	緊急時治療管理日数	31	過誤回数
6	都道府県コード	13	緊急時治療管理小計	32	審査年月
7	事業者番号	14	リハビリテーション点数	33	入力日
8	整理番号	15	処置点数	給付実績(特定)情報1(受給者)	
9	サービス種類コード	16	手術点数	1	被保険者番号
10	サービス項目コード	17	麻酔点数	2	サービス提供年月
11	点数	18	放射線治療点数	3	給付実績基本IDX
12	日数・回数	19	摘要1～20	4	給付実績特定番号
13	公費1～4対象日数・回数	20	緊急時施設療養費合計点数	5	傷病名
14	サービス点数	21	所定疾患傷病名1～3	6	保険_指導管理料点数
15	公費1～4対象サービス点数	22	所定疾患開始年月日1～3	7	保険_リハビリテーション点数
16	摘要	23	所定疾患施設療養単位数	8	保険_精神科専門療法点数
17	点数(後)	24	所定疾患施設療養日数	9	保険_画像診断点数
18	日数・回数(後)	25	所定疾患施設療養小計	10	保険_処置点数
19	公費1～4対象日数・回数(後)	26	往診日数(後)	11	保険_手術点数
20	サービス点数(後)	27	通院日数(後)	12	保険_合計点数
21	公費1～4対象サービス点数(後)	28	緊急時治療管理点数(後)	13	公費1～4_指導管理料点数
22	再審査回数	29	緊急時治療管理日数(後)	14	公費1～4_リハビリテーション点数
23	過誤回数	30	リハビリテーション点数(後)	15	公費1～4_精神科専門療法点数
24	審査年月	31	処置点数(後)	16	公費1～4_画像診断点数
25	入力日	32	手術点数(後)	17	公費1～4_処置点数
給付実績(住特)情報(受給者)		33	麻酔点数(後)	18	公費1～4_手術点数
1	被保険者番号	34	放射線治療点数(後)	19	公費1～4_合計点数
2	サービス提供年月	35	所定疾患施設療養単位数(後)	20	摘要1～20
3	給付実績基本IDX	36	所定疾患施設療養日数(後)	21	保険_指導管理料点数(後)
4	給付実績明細番号	37	再審査回数	22	保険_リハビリテーション点数(後)
5	請求明細識別	38	過誤回数	23	保険_精神科専門療法点数(後)
6	都道府県コード	39	審査年月	24	保険_画像診断点数(後)
7	事業者番号	40	入力日	25	保険_処置点数(後)
8	整理番号	給付実績(緊急)情報(受給者)		26	保険_手術点数(後)
9	サービス種類コード	1	被保険者番号	27	公費1～4_指導管理料点数(後)

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

28	公費1～4_リハビリテーション点数(後)	1	被保険者番号	16	公費1～4_請求額
29	公費1～4_精神科専門療法点数(後)	2	対象年月	17	公費1～4_公費分本人負担額
30	公費1～4_画像診断点数(後)	3	給付実績基本IDX	18	保険医療_点数合計
31	公費1～4_処置点数(後)	4	指定／基準該当等事業所区分コード	19	保険医療_請求額
32	公費1～4_手術点数(後)	5	点数単価	20	保険医療_出来高医療費利用者負担額
33	再審査回数	6	居宅サービス計画作成依頼届出年月日	21	公費1～4医療_点数合計
34	過誤回数	7	サービス種類コード	22	公費1～4医療_請求額
35	審査年月	8	サービス項目コード	23	公費1～4医療_出来高医療費利用者負担額
36	入力日	9	点数	24	短期入所実日数(後)
給付実績(特定)情報2(受給者)		10	請求金額	25	点数合計(後)
1	被保険者番号	11	担当介護支援専門員番号	26	保険請求分請求額(後)
2	サービス提供年月	12	摘要	27	公費1～4_点数合計(後)
3	給付実績基本IDX	13	点数(後)	28	公費1～4_請求額(後)
4	給付実績特定番号	14	請求金額(後)	29	保険医療_点数合計(後)
5	傷病名	15	再審査回数	30	保険医療_請求額(後)
6	識別番号	16	過誤回数	31	公費1～4医療_点数合計(後)
7	単位数	17	審査年月	32	公費1～4医療_請求額(後)
8	保険_回数	18	入力日	33	再審査回数
9	保険_サービス単位数	給付実績(計画)情報2(受給者)		34	過誤回数
10	保険_合計単位数	1	被保険者番号	35	審査年月
11	公費1～4_回数	2	対象年月	36	入力日
12	公費1～4_サービス単位数	3	給付実績基本IDX	37	自己負担額変更日
13	公費1～4_合計単位数	4	給付実績計画番号	38	変更後自己負担額
14	摘要	5	指定／基準該当等事業所区分コード	給付実績(特定入居者介護サービス)情報(受給者)	
15	単位数	6	点数単価	1	被保険者番号
16	保険_回数	7	居宅サービス計画作成依頼届出年月日	2	サービス提供年月
17	保険_サービス単位数	8	サービス種類コード	3	給付実績基本IDX
18	保険_合計単位数	9	サービス項目コード	4	給付実績特入番号
19	公費1～4_回数	10	点数	5	サービス種類コード
20	公費1～4_サービス単位数	11	回数	6	サービス項目コード
21	公費1～4_合計単位数	12	サービス点数	7	費用単価
22	再審査回数	13	サービス点数合計	8	負担限度額
23	過誤回数	14	請求金額	9	日数
24	審査年月	15	担当介護支援専門員番号	10	公費1～3日数
25	入力日	16	摘要	11	費用額
給付実績(食事)情報(受給者)		17	点数(後)	12	保険分請求額
1	被保険者番号	18	回数(後)	13	公費1～3負担額(明細)
2	サービス提供年月	19	サービス点数(後)	14	利用者負担額
3	給付実績基本IDX	20	サービス点数合計(後)	15	費用額合計
4	基本提供日数	21	請求金額(後)	16	保険分請求額合計
5	基本提供単価	22	再審査回数	17	利用者負担額合計
6	基本提供金額	23	過誤回数	18	公費1～3負担額合計
7	特別提供日数	24	審査年月	19	公費1～3請求額
8	特別提供単価	25	入力日	20	公費1～3本人負担月額
9	特別提供金額	給付実績(集計)情報(受給者)		21	決定後_費用単価
10	食事提供延べ日数	1	被保険者番号	22	決定後_日数
11	公費1～4対象食事提供延べ日数	2	サービス提供年月	23	決定後_公費1～3日数
12	食事提供費合計	3	給付実績基本IDX	24	決定後_費用額
13	標準負担額(月額)	4	サービス種類コード	25	決定後_保険分請求額
14	食事提供費請求額	5	サービス実日数	26	決定後_公費1～3負担額(明細)
15	食事提供費公費1～4請求分	6	計画点数	27	決定後_利用者負担額
16	標準負担額(日額)	7	限度額管理対象点数	28	決定後_費用額合計
17	基本食提供費用提供単価(後)	8	限度額管理対象外点数	29	決定後_保険分請求額合計
18	特別食提供費用提供単価(後)	9	短期入所計画日数	30	決定後_利用者負担額合計
19	食事提供費請求額(後)	10	短期入所実日数	31	決定後_公費1～3負担額合計
20	再審査回数	11	保険_点数合計	32	決定後_公費1～3請求額
21	過誤回数	12	保険_点数単価	33	決定後_公費1～3本人負担月額
22	審査年月	13	保険_請求額	34	過誤回数
23	入力日	14	保険_利用者負担額	35	審査年月
給付実績(計画)情報1(受給者)		15	公費1～4_点数合計	36	入力日

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
 受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

給付実績(社福)情報(受給者)			13	通知書発行年月日	11	退所(院)年月日	
1	被保険者番号		14	支給年月日	12	入所(院)実日数	
2	サービス提供年月		15	都道府県コード	13	外泊日数	
3	給付実績基本IDX		16	事業者番号	14	退所(院)後の状態コード	
4	軽減率		17	保険給付率	15	申請理由コード	
5	サービス種類コード		18	本人支払額	16	中止理由・入所(院)前の状況コード	
6	受領すべき利用者負担の総額		19	利用者負担額	17	公費負担者番号1～2	
7	軽減額		20	支給決定額	18	公費受給者番号1～2	
8	軽減後利用者負担額		21	振込額	19	サービス種類コード	
9	備考		22	支払方法区分	20	サービス項目コード	
10	決定後_受領すべき利用者負担の総額		23	銀行コード	21	点数	
11	決定後_軽減額		24	支店コード	22	日数・回数	
12	決定後_軽減後利用者負担額		25	口座種別	23	サービス点数合計	
13	再審査回数		26	口座番号	24	点数単価	
14	過誤回数		27	口座名義人(カナ)	25	保険請求額	
15	審査年月		28	支給区分	26	利用者負担額	
16	入力日		29	審査中FLG	27	摘要	
給付実績(取消)情報(受給者)			30	提供済FLG	28	順次番号	
1	被保険者番号		31	不支給理由	29	傷病名1～3	
2	サービス提供年月		32	差止額	30	治療開始年月日1～3	
過誤依頼情報(受給者)			33	控除IDX	31	往診日数	
1	被保険者番号		34	領収日(住宅改修)	32	往診医療機関名	
2	サービス提供年月		35	住宅改修事前申請情報_承認番号	33	通院日数	
3	過誤IDX		福祉用具明細情報(受給者)			34	通院医療機関名
4	申立年月日		1	整理番号	35	緊急時治療管理点数	
5	都道府県コード		2	償還申請連番	36	緊急時治療管理日数	
6	事業者番号		3	被保険者番号	37	緊急時治療管理小計	
7	請求明細識別		4	福祉用具購入年月日	38	リハビリテーション点数	
8	証記載保険者番号		5	福祉用具商品名	39	処置点数	
9	整理番号		6	福祉用具種目コード	40	手術点数	
10	サービス種類コード		7	摘要(品目コード)	41	麻痺点数	
11	サービス項目コード		8	購入金額	42	放射線治療点数	
12	サービス点数		9	福祉用具製造事業者名	43	指導管理科点数	
13	審査年月		10	福祉用具販売事業者名	44	精神科専門療法点数	
14	申立者区分コード		11	必要な理由	45	画像診断点数	
15	申立依頼年月日		住宅改修明細情報(受給者)			46	緊急時施設療養費保険請求額
16	申立事由コード		1	整理番号	47	特定診療費保険請求額	
17	申立点数(食事提供費)		2	償還申請連番	48	出来高医療費_点数合計	
18	決定年月日		3	被保険者番号	49	出来高医療費_請求額	
19	結果コード		4	住宅改修着工年月日	50	出来高医療費_利用者負担額	
20	決定点数		5	住宅改修事業者名	51	摘要FLG	
21	調整点数		6	住宅改修事業者所在地	52	基本食提供日数	
22	当初請求点数		7	住宅改修を行った住宅の住所	53	基本食提供単価	
23	保険者負担額		8	住宅改修を行った住宅の住所方書	54	基本食提供金額	
24	区コード		9	所有者名	55	特別食提供日数	
25	提供区分		10	本人との関係	56	特別食提供単価	
26	国保連提供年月日		11	住宅改修区分	57	特別食提供金額	
給付償還申請情報(受給者)			12	改修金額	58	食事提供述べ日数	
1	整理番号		13	住宅改修箇所	59	食事提供費合計	
2	被保険者番号		サービス明細情報(受給者)			60	食事提供費請求額
3	給付種類		1	整理番号	61	標準負担額(月額)	
4	請求識別		2	都道府県コード	62	標準負担額(日額)	
5	償還申請区分		3	事業者番号	63	事業者区分	
6	区支所コード		4	レコード種別コード	64	居宅サービス計画作成依頼届出年月日	
7	サービス提供年月		5	明細番号	65	計画作成区分コード	
8	受付年月日		6	被保険者番号	66	居宅介護事業者番号	
9	国保連送付予定年月		7	旧措置入所者特例コード	67	計画点数	
10	月次提供情報作成日		8	開始年月日	68	限度額管理対象点数	
11	決定情報取込日		9	中止年月日	69	限度額管理対象外点数	
12	決定年月日		10	入所(院)年月日	70	担当介護支援専門員番号	

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

71	摘要(計画)	11	通知書発行年月日	20	口座名義人(カナ)
72	決定区分	12	月次提供情報作成日	21	支払方法区分
73	不支給理由等	13	支給年月日	22	決定区分
74	決定点数	14	提供年月	23	不支給理由
75	支払額	15	銀行コード	24	低所得者等識別
76	出来高増減点	16	支店コード	25	世帯合算区分
77	傷病名(特定)	17	口座種別	26	利用者負担額
78	識別番号	18	口座番号	27	支給決定額
79	単位数	19	口座名義人(カナ)	28	一時差止額
80	回数	20	支払方法区分	29	支払額
81	サービス単位数	21	支給区分	30	控除IDX
82	合計単位数	22	不支給理由	31	申請区
83	摘要(特定)	23	低所得者等識別	32	高額の種類
84	給付償還申請情報_サービス提供年月	24	世帯合算区分	33	申請勧奨通知日
特定入所者サービス費情報(受給者)		25	利用者負担額	34	高額支給計算額
1	整理番号	26	決定支給額	35	支給区分
2	都道府県コード	27	差止額	36	異動事由
3	事業者番号	28	振込額	37	計算日
4	レコード種別コード	29	控除IDX	38	戻入登録日
5	特入明細番号	30	区支所コード	39	申請時効起算日
6	被保険者番号	31	給付の種類	40	計算時効消滅額
7	特入順次番号	高額サービス費補助情報(受給者)		41	(計算時)高額用利用者負担段階コード
8	サービス種類コード	1	被保険者番号	42	(計算時)世帯負担額
9	サービス項目コード	2	サービス提供年月	43	(計算時)変更後利用者負担額
10	費用単価	3	高額申請IDX	44	(医療合算用)利用者負担額合計
11	負担限度額	4	申請勧奨通知日	45	更新区分
12	日数	5	高額支給計算額	46	自動償還フラグ
13	公費1～3日数	6	支給区分	47	再勧奨フラグ
14	費用額	7	異動事由	(給付)世帯集約情報(全被及び世帯員)	
15	保険分請求額	8	計算日	1	住民番号
16	公費1～3負担額(明細)	9	計算日	2	履歴番号
17	利用者負担額	10	申請時効起算日	3	前履歴番号
18	費用額合計	11	計算時効消滅額	4	世帯集約番号
19	保険分請求額合計	12	(計算時)高額用利用者負担段階コード	5	被保険者番号
20	利用者負担額合計	13	(計算時)世帯負担額	6	異動開始年月
21	公費1～3負担額合計	14	(計算時)変更後利用者負担額	7	異動終了年月
22	公費1～3請求額	15	(医療合算用)利用者負担額合計	控除情報(1号の受給者)	
23	公費1～3本人負担月額	16	更新区分	1	被保険者番号
24	決定区分	17	自動償還フラグ	2	控除IDX
25	不支給理由等	18	再勧奨フラグ	3	控除実施日
26	決定保険分請求額	高額サービス費(総合事業)情報(受給者)		4	一時差止め額合計
摘要情報(受給者)		1	被保険者番号	5	控除額
1	整理番号	2	サービス提供年月	6	振込額
2	都道府県コード	3	高額申請IDX	7	支払方法区分
3	事業者番号	4	サービス費用合計	8	銀行コード
4	レコード種別コード	5	利用者負担額合計	9	支店コード
5	明細番号	6	算定基準額	10	口座種別
6	被保険者番号	7	支給済金額合計	11	口座番号
7	摘要1～20	8	高額支給額(今回分)	12	口座名義人(カナ)
高額サービス費情報(受給者)		9	申請日	13	支給年月日
1	被保険者番号	10	支給決定日	14	決定区
2	サービス提供年月	11	通知書発行年月日	共同処理用受給者情報(受給者)	
3	高額申請IDX	12	月次提供情報作成日	1	被保険者番号
4	サービス費用合計	13	支給年月日	2	履歴番号
5	利用者負担額合計	14	提供年月	3	前履歴番号
6	算定基準額	15	銀行コード	4	提供年月
7	支払済金額合計	16	支店コード	5	月次提供情報作成日
8	高額支給額	17	出張所コード	6	月次更新結果突合日
9	申請年月日	18	口座種別	7	月次突合結果
10	決定年月日	19	口座番号	8	異動年月日

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

9	異動区分	10	要介護状態区分コード	1	被保険者番号
10	異動事由コード	11	利用日	2	対象年月
11	証記載保険者番号	12	利用回数	3	世帯課税IDX
12	世帯集約番号	13	サービス費用額	4	世帯課税状況区分
13	世帯所得区分コード	14	請求額	5	課税区コード
14	所得区分コード	15	本人支払額	6	年税額(減免後)
15	老齢福祉年金受給の有無	16	保険給付率	7	介護合計所得
16	訂正年月日	17	決定支給額	8	年金収入
17	利用者負担段階	18	利用者負担額	9	老齢福祉年金受給の有無
給付実績(高額)情報(受給者)		19	申請年月日	10	生活保護の有無
1	被保険者番号	20	決定年月日	11	滞納区分
2	サービス提供年月	21	通知書発行年月日	12	旧措置者給付率95以上
3	給付実績区分コード	22	支給年月日	13	管轄区
4	履歴回数	23	銀行コード	14	課税コード
5	請求明細識別	24	支店コード	サービス利用実績情報(受給者)	
6	受付年月日	25	口座種別	1	住民番号
7	決定年月日	26	口座番号	2	サービス利用年月
8	証記載保険者番号	27	口座名義人(カナ)	3	連番
9	公費1～3_負担者番号	28	支払方法区分	4	サービス種別
10	利用者負担額	29	支給区分	5	サービス利用年度
11	公費1～3_負担額	30	不支給理由	6	被保険者番号
12	支給額	31	区支所コード	高額用利用者負担段階情報(受給者)	
13	公費1～3_支給額	32	給付の種類	1	被保険者番号
14	審査年月	33	納入通知書番号	2	対象年月
15	取込年月日	34	配食サービス区分	3	履歴番号
16	取消年月日	住宅改修事前申請情報(受給者)		4	前履歴番号
17	取消区分	1	承認番号	5	世帯集約番号
18	レコード種別	2	被保険者番号	6	世帯所得区分
配食サービス利用申請情報(受給者)		3	整理番号	7	所得区分
1	被保険者番号	4	区支所コード	8	老齢福祉年金受給の有無
2	履歴番号	5	受付年月日	9	擬制フラグ
3	前履歴番号	6	着工予定日	10	高額用利用者負担段階コード
4	利用事業者_都道府県コード	7	完了予定日	11	高額用利用者負担段階
5	利用事業者_事業者番号	8	発行年月日	12	段階判定日
6	申請年月日	9	都道府県コード	介護予防ケアマネジメント費請求情報(受給者)	
7	利用開始年月日	10	事業者番号	1	被保険者番号
8	開始届出者区分コード	11	改修予定費用	2	サービス提供年月
9	利用終了年月日	12	支給予定額	3	連番
10	終了届出者区分コード	13	被保険者負担額	4	審査年月
11	配食サービス区分	14	承認有効期限日	5	証記載保険者番号
配食サービス利用状況情報(受給者)		15	承認年月日	6	地域包括支援センター番号
1	被保険者番号	16	承認区分	7	費用コード
2	利用年月	17	不承認理由	8	単位数
3	配食利用IDX	18	取消区分	9	請求金額
4	利用事業者_都道府県コード	利用者負担段階履歴(受給者)		10	取込日
5	利用事業者_事業者番号	1	被保険者番号	介護予防ケアマネジメント費支払情報(受給者)	
6	請求識別	2	対象年月	1	被保険者番号
7	利用日	3	利用者負担IDX	2	サービス提供年月
8	利用回数	4	利用者負担段階	3	連番
9	配食サービス区分	5	課税区コード	4	審査年月
配食サービス利用支給情報(受給者)		6	年税額(減免後)	5	証記載保険者番号
1	被保険者番号	7	介護合計所得	6	地域包括支援センター番号
2	利用年月	8	年金収入	7	委託先居宅介護支援事業所番号
3	配食支給IDX	9	老齢福祉年金受給の有無	8	委託料控除前支払額
4	利用事業者_都道府県コード	10	生活保護の有無	9	委託料控除後支払額
5	利用事業者_事業者番号	11	減免区分	10	取込日
6	請求識別	12	保険者番号	介護予防ケアマネジメント費支給実績情報(受給者)	
7	証記載保険者番号	13	課税コード	1	被保険者番号
8	審査年月	14	資格フラグ	2	サービス提供年月
9	取消区分	世帯課税等状況履歴情報(受給者)		3	連番

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

4	審査年月	3	対象IDX	32	居宅サービス計画適用開始年月日
5	証記載保険者番号	4	有無区分	33	居宅サービス計画適用終了年月日
6	地域包括支援センター番号	5	有効期間_開始年月日	34	訪問通所サービスの支給限度基準額
7	費用コード	6	有効期間_終了年月日	35	訪問通所サービスの上限管理適用期間開始年月日
8	単位数	7	境界層該当利用者負担段階	36	訪問通所サービスの上限管理適用期間終了年月日
9	請求金額	12月31日現在住記情報(全市)		37	短期入所サービスの支給限度基準額
10	支払額	1	課税年度	38	短期入所サービスの上限管理適用期間開始年月日
11	取込日	2	個人番号	39	短期入所サービスの上限管理適用期間終了年月日
高額基準収入額申請管理情報(下記「高額基準収入額申請管理内訳情報」を世帯単位で管理しているもの)		3	住民区分1	40	公費負担上限額減額の有無
1	世帯集約番号	4	世帯番号	41	償還払化開始年月日
2	該当年度	5	続柄1	42	償還払化終了年月日
3	申請IDX	6	続柄2	43	給付率引下げ開始年月日
4	対象年月	7	続柄3	44	給付率引下げ終了年月日
5	申請書発行日	8	生年月日	45	減免申請中区分コード
6	申請期限	9	生年月日エラーフラグ	46	利用者負担区分コード
7	適用開始可能年月	10	住民でなくなった異動日	47	利用者・旧措置入所者利用者負担の給付率
8	申請日	11	住民区分2	48	利用者・旧措置入所者利用者負担の適用開始年月日
9	決定日	12	介護世帯番号	49	利用者・旧措置入所者利用者負担の適用終了年月日
10	適用開始年月	13	介護世帯続柄1	50	標準負担区分コード
11	適用終了年月	14	介護世帯続柄2	51	標準負担・特定標準負担の負担額
12	段階コード	15	介護世帯続柄3	52	標準負担・特定標準負担の負担額適用開始年月日
13	却下理由コード	16	世帯員フラグ	53	標準負担・特定標準負担の負担額適用終了年月日
14	65歳以上世帯員数	扶養調整控除情報(世帯主である1号)		54	住民番号
15	65歳以上世帯員の収入額合計	1	課税年度	55	認定申請IDX
16	申請書出力日	2	個人番号	56	資格記録M前履歴番号
17	決定通知書出力日	3	16歳未満控除対象人数	57	サービス計画F前履歴番号
18	処理年月	4	16歳以上19歳未満控除対象人数	58	生活保護F前履歴番号
高額基準収入額申請管理内訳情報(受給者び世帯員)		5	パッチ・オンライン区分	59	支払方法IDX
1	世帯集約番号	受給者台帳情報(受給者)		60	給付額減額F前履歴番号
2	該当年度	1	被保険者番号	61	利用者負担減免等情報の減免者F減免区分
3	申請IDX	2	履歴番号	62	利用者負担減免等情報の減免者F前履歴番号
4	個人番号	3	前履歴番号	63	標準負担額減免等情報の減免者F減免区分
5	被保険者番号	4	提供年月	64	標準負担額減免等情報の減免者F前履歴番号
6	生年月日	5	異動年月日	65	介護住記異動日
7	続柄1	6	訂正年月日	66	管轄区
8	続柄2	7	月次提供情報作成日	67	短期入所サービス拡大日数
9	続柄3	8	月次更新結果突合日	68	当初短入系限度期間月数
10	要介護状態区分	9	月次突合結果	69	保険者番号(後期)
11	課税所得額	10	異動区分コード	70	被保険者番号(後期)
12	仮基準収入額	11	異動事由	71	保険者番号(国保)
13	申請対象者フラグ	12	証記載保険者番号	72	被保険者証番号(国保)
14	送付対象者フラグ	13	提供情報被保険者番号	73	個人番号(国保)
15	照会対象者フラグ	14	被保険者氏名(カナ)	74	小規模居宅有無
サービス計画自己作成明細情報(受給者)		15	生年月日	75	無効フラグ
1	被保険者番号	16	性別	76	サービス計画抽出元区分
2	履歴番号	17	資格取得年月日	受給者台帳追加情報(受給者)	
3	連番	18	資格喪失年月日	1	被保険者番号
4	サービス種類	19	老人保健市町村番号	2	履歴番号
5	居宅サービス区分	20	老人保健受給者番号	3	提供年月
6	給付対象日数	21	公費負担者番号	4	異動年月日
7	給付限度内点数	22	政令市保険者番号	5	特定入所者認定申請中区分コード
8	回数	23	申請種別コード	6	特定入所者介護サービス区分コード
9	サービス事業者_都道府県コード	24	変更申請中区分コード	7	課税層の特例減額措置対象
10	サービス事業者_事業者番号	25	申請年月日	8	食費負担限度額
11	事業者区分	26	みなし要介護区分コード	9	居住費(ユニット型個室)負担限度額
給付実績対象者情報(受給者)		27	要介護状態区分コード	10	居住費(ユニット型準個室)負担限度額
1	被保険者番号	28	認定有効期間(開始年月日)	11	居住費(従来型個室(特養))負担限度額
2	対象区分	29	認定有効期間(終了年月日)	12	居住費(従来型個室(老健、療養))負担限度額
		30	居宅サービス計画作成区分コード	13	居住費(多床室)負担限度額
		31	居宅介護支援事業所番号	14	負担限度額適用開始年月日

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。
 全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
 受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

15	負担限度額適用終了年月日	36	申請代表者 郵便番号本番	13	明細 対象者氏名
16	軽減率適用開始年月日	37	申請代表者 郵便番号枝番	14	明細 ① 70歳以上負担額
17	軽減率適用終了年月日	38	申請代表者 住所	15	明細 ④ 70歳未満負担額
18	住特区分(左1桁)施設保険者(右6桁)	39	申請代表者 住所方書	16	明細 端数加算対象 70歳以上計算時
19	住所地特例開始日	40	申請代表者 電話番号	17	明細 端数加算対象 70歳未満計算時
20	住所地特例終了日	41	決定年月日	18	70歳以上介護等合算一部負担金等世帯合算額
21	二割負担開始日	42	通知書発行年月日	返戻管理ファイル情報(全被)	
22	二割負担終了日	43	支給年月日	1	被保険者番号
後期高齢者医療資格情報(受給者)		44	自己負担額総額	2	履歴番号
1	住民番号	45	70歳以上所得区分	3	発行区
2	履歴番号	46	支給区分	4	返戻物区分
3	前履歴番号	47	支給額	5	発行年月日
4	後期被保険者番号	48	給付種類	6	返戻年月日
5	後期保険者番号	49	不支給理由	7	公示送達区分
6	資格取得日	50	支払方法区分	備考(メモ)情報(全被)	
7	資格喪失日	51	銀行コード	1	住民番号
国民健康保険資格情報(受給者)		52	支店コード	2	医療保険疑義
1	住民番号	53	口座種別	3	世帯情報疑義
2	履歴番号	54	口座番号	4	郵送忌避
3	前履歴番号	55	口座名義人(カナ)	5	その他留意事項
4	国保被保険者証番号	56	提供済FLG	6	保険料延滞理由
5	国保保険者番号	57	申請取下事由	7	保険料延滞理由入力日
6	国保個人番号	58	申請取下年月日	8	認定不服申立
7	資格取得日	59	決定支給額	9	認定不服資料提出
高額医療合算介護サービス費情報(受給者)		60	差止額	10	認定不服裁決
1	住民番号	61	控除IDX	11	相談記録発行有無
2	対象年度	62	精算対象	12	相談記録発行区支所
3	高額医療合算IDX	63	追給	13	所属名
4	被保険者番号	64	高額合算区分	14	更新者名
5	申請年月日	65	区支所コード	15	特別事情
6	申請区分	高額医療合算介護サービス費(自己負担)情報(受給者)		メモ欄情報(全被)	
7	申請枚数	1	住民番号	1	住民番号
8	支給申請書整理番号	2	対象年度	2	連番
9	自己負担額証明書整理番号	3	高額医療合算IDX	3	メモ欄
10	申請形態	4	被保険者番号	4	職員コード
11	計算期間 開始年月	5	自己負担額証明書整理番号	5	職員氏名
12	計算期間 終了年月	6	対象計算期間 開始日	送付先情報(全被)	
13	自己負担額証明書交付申請の有無	7	対象計算期間 終了日	1	住民番号
14	介護 加入期間 開始日	8	被保険者期間 開始日	2	業務区分Ⅱ
15	介護 加入期間 終了日	9	被保険者期間 終了日	3	履歴番号
16	資格喪失事由	10	証明対象年度 自己負担額(8月分～翌年7月分)	4	前回履歴番号
17	介護 保険者番号	11	証明対象年度 うち70～74歳の者に係る負担額(8月分～翌年7月分)	5	異動年月日
18	国保 保険者番号	12	証明対象年度 高額介護(予防)サービス費支給額(8月分～翌年7月分)	6	送付先・現住所区分
19	国保 被保険者証記号	13	証明対象年度 摘要(8月分～翌年7月分)	7	申出者区分
20	国保 被保険者証番号	14	自己負担証明書発行年月日	8	都道府県コード
21	国保 続柄	15	後期高齢取込日	9	事業者番号
22	国保 保険者名(漢字)	16	後期高齢抽出日	10	事業者前履歴番号
23	国保 加入期間 開始日	高額医療合算計算結果情報(受給者)		11	郵便番号 本番
24	国保 加入期間 終了日	1	住民番号	12	郵便番号 枝番
25	後期 保険者番号	2	対象年度	13	送付先住所
26	後期 被保険者番号	3	高額医療合算IDX	14	送付先方書
27	後期 広域連合名(漢字)	4	被保険者番号	15	送付先名称
28	後期 加入期間 開始日	5	自己負担額証明書整理番号	16	電話番号
29	後期 加入期間 終了日	6	70歳以上介護等合算算定基準額	17	電話区分1
30	保険者加入暦 保険者名(漢字) 1～10	7	按分後支給額	18	電話区分2
31	保険者加入暦 加入期間 開始日 1～10	8	70歳未満再計算限度額	口座情報(全被)	
32	保険者加入暦 加入期間 終了日 1～10	9	70歳以上再計算限度額	1	住民番号
33	保険者加入暦 添付自己負担額証明書整理番号 1～10	10	計算明細番号	2	口座区分
34	保険者加入暦 備考	11	明細 保険者名	3	履歴番号
35	申請代表者 氏名(漢字)	12	明細 自己負担額証明書整理番号	4	前回履歴番号

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

5	銀行コード	44	異動前 世帯員フラグ	5	国保個人番号
6	支店コード	45	異動前 前月管轄区	6	資格適用開始年月日
7	口座種別	46	異動前 区間異動処理月日	7	資格適用終了年月日
8	口座番号	47	異動後 世帯番号	後期資格情報(1号)	
9	開始年月	48	異動後 世帯主名	1	共通宛名番号
10	終了年月	49	異動後 管轄区	2	被保険者番号
11	口座名義(漢字)	50	異動後 現住所	3	保険者番号
12	口座名義(カナ)	51	異動後 方書	4	業務内宛名番号
連絡先情報(全被)		52	異動後 住記カナ氏名	5	被保険者資格取得年月日
1	住民番号	53	異動後 カナ氏名	6	被保険者資格喪失年月日
2	優先電話番号	54	異動後 氏名	生活保護(統合)(全被)	
3	優先電話区分1	55	異動後 カナ本名	1	共通宛名番号
4	優先電話区分2	56	異動後 本名	2	あてな番号
5	予備電話番号	57	異動後 氏名区分	3	保護開始日
6	予備電話区分1	58	異動後 性別	4	保護廃止日
7	予備電話区分2	59	異動後 生年月日	5	保護停止日
介護住記異動情報(全市)		60	異動後 住民となった異動日	6	保護停止解除日
1	処理日付	61	異動後 住民となった異動事由	前月分生活保護(統合)(全被)	
2	処理時刻	62	異動後 住所を定めた異動日	1	共通宛名番号
3	処理ファイル名/端末ID	63	異動後 住所を定めた異動事由	2	あてな番号
4	区分	64	異動後 住民でなくなった異動日	3	保護開始日
5	処理事由	65	異動後 住民でなくなった異動事由	4	保護廃止日
6	詳細事由	66	異動後 転出確定異動日	5	保護停止日
7	年月日	67	異動後 転出フラグ	6	保護停止解除日
8	届出年月日	68	異動後 住民区分2	団体内宛名番号情報(全市)	
9	住民区分1	69	異動後 被保険者番号	1	住民番号
10	被保険者番号	70	異動後 在留資格コード	2	団体内統合宛名番号
11	住民番号	71	異動後 在留期間(自)	宛名情報(全市)	
12	履歴番号	72	異動後 在留期間(至)	1	個人番号
13	更新ファイル名	73	異動後 介護世帯番号	2	個人番号対応符号
14	処理番号1	74	異動後 世帯員フラグ	3	団体内統合宛名番号
15	処理番号2	75	異動後 前月管轄区	4	住民番号(既存住民基本台帳システムの宛名番号)
16	処理番号3	76	異動後 区間異動処理月日	5	情報照会提供記録
17	異動前 世帯番号	被保険者番号引継情報(全被)		6	アクセスログ
18	異動前 世帯主名	1	住民番号	総合合算サービス費情報(受給者)	
19	異動前 管轄区	2	履歴番号	1	住民番号
20	異動前 現住所	3	前回履歴番号	2	対象年度
21	異動前 方書	4	被保険者番号	3	総合合算IDX
22	異動前 住記カナ氏名	5	登録日	4	被保険者番号
23	異動前 カナ氏名	他システム連絡先情報(1号)		5	申請年月日
24	異動前 氏名	1	住民番号	6	申請区分
25	異動前 カナ本名	2	国保電話番号	7	申請枚数
26	異動前 本名	3	国保電話区分	8	支給申請書整理番号
27	異動前 氏名区分	4	後期電話番号	9	自己負担額証明書整理番号
28	異動前 性別	5	後期電話区分	10	連絡票整理番号
29	異動前 生年月日	6	敬老電話番号	11	申請形態
30	異動前 住民となった異動日	認知症予防差分情報(1号と64歳の2号)		12	計算期間 開始年月
31	異動前 住民となった異動事由	1	住民番号	13	計算期間 終了年月
32	異動前 住所を定めた異動日	2	被保険者番号	14	介護 加入期間 開始日
33	異動前 住所を定めた異動事由	3	資格喪失日	15	介護 加入期間 終了日
34	異動前 住民でなくなった異動日	4	資格喪失事由	16	介護 保険者番号
35	異動前 住民でなくなった異動事由	5	パラメータ 区	17	国保 保険者番号
36	異動前 転出確定異動日	6	パラメータ 生年月日	18	国保 被保険者証記号
37	異動前 転出フラグ	7	パラメータ 調査開始日	19	国保 被保険者証番号
38	異動前 住民区分2	8	パラメータ 抽出時点	20	国保 続柄
39	異動前 被保険者番号	国保資格情報(1号)		21	国保 保険者名(漢字)
40	異動前 在留資格コード	1	共通宛名番号	22	国保 加入期間 開始日
41	異動前 在留期間(自)	2	住民番号	23	国保 加入期間 終了日
42	異動前 在留期間(至)	3	記号番号	24	後期 保険者番号
43	異動前 介護世帯番号	4	保険者番号	25	後期 被保険者番号

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

26	後期 広域連合名(漢字)	14	自己負担証明書発行年月日	29	対象計算期間(終了)
27	後期 加入期間 開始日	総合合算サービス費(事業自己負担)情報(受給者)		30	被保険者期間(開始)
28	後期 加入期間 終了日	1	住民番号	31	被保険者期間(終了)
29	保険者加入暦 保険者名(漢字) 1～10	2	対象年度	32	申請年月日
30	保険者加入暦 加入期間 開始日 1～10	3	総合合算IDX	33	自己負担額(8月分～翌年7月分)
31	保険者加入暦 加入期間 終了日 1～10	4	被保険者番号	34	うち70～74歳の者に係る負担額(8月分～翌年7月分)
32	保険者加入暦 添付自己負担額証明書整理番号 1～10	5	自己負担額証明書整理番号	35	高額介護(予防)サービス費支給額(70歳未満)(8月分～翌年7月分)
33	保険者加入暦 備考	6	対象計算期間 開始日	36	高額介護(予防)サービス費支給額(70～74歳)(8月分～翌年7月分)
34	申請代表者 氏名(漢字)	7	対象計算期間 終了日	37	摘要(8月分～翌年7月分)
35	申請代表者 郵便番号本番	8	被保険者期間 開始日	38	自己負担額年度合計
36	申請代表者 郵便番号枝番	9	被保険者期間 終了日	39	うち70～74歳の者に係る負担額年度合計
37	申請代表者 住所	10	証明対象年度 自己負担額(8月分～翌年7月分)	40	高額療養費(高額介護(予防)サービス費)支給額年度合計(70歳未満)
38	申請代表者 住所方書	11	証明対象年度 うち70～74歳の者に係る負担額(8月分～翌年7月分)	41	高額療養費(高額介護(予防)サービス費)支給額年度合計(70～74歳)
39	申請代表者 電話番号	12	証明対象年度 総合事業高額サービス費支給額(8月分～翌年7月分)	42	宛先氏名(漢字)
40	70歳以上所得区分	13	証明対象年度 摘要(8月分～翌年7月分)	43	宛先郵便番号
41	70歳以上介護等合算算定基準額	14	自己負担証明書発行年月日	44	宛先住所(漢字)
42	70歳以上介護等合算算定基準額(総合合算)	総合合算計算情報(受給者)		45	証明書発行年月日
43	介護等合算算定基準額	1	住民番号	46	証明書発行者名
44	70歳以上世帯自己負担合計額	2	対象年度	47	証明書発行者郵便番号
45	70歳以上世帯自己負担合計額(うち事業分)	3	総合合算IDX	48	証明書発行者住所(漢字)
46	70歳未満世帯自己負担合計額	4	被保険者番号	49	郵便番号
47	70歳未満世帯自己負担合計額(うち事業分)	5	自己負担額証明書整理番号	50	住所
48	総合事業自己負担額	6	計算明細番号	51	問い合わせ先名称1
49	按分後支給額	7	明細 保険制度区分	52	問い合わせ先名称2
50	決定年月日	8	明細 保険者名	53	問い合わせ先電話番号
51	通知書発行年月日	9	明細 自己負担額証明書整理番号	54	郵便番号
52	支給年月日	10	明細 対象者氏名	55	住所
53	支給区分	11	明細 ① 70歳以上負担額	56	計算結果送付先名称1
54	支給額	12	明細 ④ 70歳未満負担額	57	計算結果送付先名称2
55	給付種類	13	明細 決定対象	58	計算結果送付先電話番号
56	不支給理由	14	明細 按分後支給額	59	窓口払対象者判定コード
57	支払方法区分	本算定自己負担額確認情報(受給者)		60	支払場所
58	銀行コード	1	取込年月	61	支払期間開始年月日
59	支店コード	2	37K送信判定コード	62	支払期間終了年月日
60	口座種別	3	繰越フラグ	63	支払期間開始年月日(曜日)
61	口座番号	4	送信年月	64	支払期間終了年月日(曜日)
62	口座名義人(カナ)	5	被保険者番号	65	支払期間開始年月日(開始時間)
63	提供済FLG	6	交換情報識別番号	66	支払期間終了年月日(終了時間)
64	申請取下事由	7	支給申請書整理番号	67	備考欄
65	申請取下年月日	8	保険制度コード	本算定386管理情報(受給者)	
66	決定支給額	9	保険者番号	1	対象年度
67	差止額	10	保険者名称	2	被保険者番号
68	精算対象	11	被保険者証記号	3	連絡票整理番号
69	追給	12	被保険者(証)番号	4	取込年月
70	高額合算区分	13	被保険者氏名(カナ)	5	短縮連絡票整理番号
71	区支所コード	14	被保険者氏名(漢字)	6	決定更新判定コード
総合合算サービス費(介護自己負担)情報(受給者)		15	生年月日	7	区支所コード
1	住民番号	16	性別	8	支給申請書整理番号
2	対象年度	17	所得区分	9	386H 支給申請書整理番号(連絡票整理番号)
3	総合合算IDX	18	70歳以上の者に係る所得区分	10	386H 対象年度
4	被保険者番号	19	自己負担額証明書整理番号	11	386H 自己負担額証明書整理番号
5	自己負担額証明書整理番号	20	突合用後期高齢者医療保険者番号	12	386H 支給対象者氏名(漢字)
6	対象計算期間 開始日	21	突合用後期高齢者医療被保険者番号	13	386H 保険者番号
7	対象計算期間 終了日	22	突合用国民健康保険保険者番号	14	386H 被保険者(証)番号
8	被保険者期間 開始日	23	突合用国民健康保険被保険者証番号	15	386H 計算開始年月日
9	被保険者期間 終了日	24	突合用国保被保険者個人番号	16	386H 計算終了年月日
10	証明対象年度 自己負担額(8月分～翌年7月分)	25	異動区分	17	386H 世帯負担総額
11	証明対象年度 うち70～74歳の者に係る負担額(8月分～翌年7月分)	26	補正済自己負担額送付区分	18	386H 介護等合算一部負担金等世帯合算額
12	証明対象年度 高額介護(予防)サービス費支給額(8月分～翌年7月分)	27	対象年度	19	386H 70歳以上介護等合算一部負担金等世帯合算額
13	証明対象年度 摘要(8月分～翌年7月分)	28	対象計算期間(開始)	20	386H 所得区分

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

21	386H_70歳以上の者に係る所得区分	23	386T_③ ①にかかる支給額	4	事務コード
22	386H_介護等合算算定基準額	24	386T_④ 70歳未満負担額合計	5	手続コード
23	386H_70歳以上介護等合算算定基準額	25	386T_⑤ ④+(①-③)の合計額	6	情報照会条件
24	386H_世帯支給総額	26	386T_⑦ ⑤に係る支給額合計	7	レコード識別番号
25	386H_うち70歳以上分世帯支給総額	27	386T_⑧ ③+⑦の合計額	8	団体内統合宛名番号
26	386H_按分後支給額	28	介護等合算算定基準額	9	特定個人情報名コード
27	386H_うち70歳以上分按分後支給額	29	70歳以上介護等合算算定基準額	10	情報提供者機関コード
28	386H_介護低所得者Ⅰ再計算実施の有無	30	70歳以上介護等合算算定基準額(再計算)	11	自治省コード
29	386T_① 70歳以上負担額合計	31	70歳以上の世帯支給額 介護分	12	状況コード
30	386T_③ ①にかかる支給額	32	70歳未満の世帯支給額 介護分	13	エラーコード
31	386T_④ 70歳未満負担額合計	33	精算対象者フラグ	14	ステータスコード
32	386T_⑤ ④+(①-③)の合計額	34	自己負担額証明書フラグ	15	受付番号
33	386T_⑦ ⑤に係る支給額合計	35	70歳以上の世帯支給額 総合事業分	16	受付明細番号
34	386T_⑧ ③+⑦の合計額	36	70歳未満の世帯支給額 総合事業分	17	照会側不開示コード
本算定386内訳情報(受給者)		37	世帯支給額 総合事業分	18	提供側不開示コード
1	対象年度	38	按分後支給額 総合事業分	19	依頼日
2	被保険者番号	39	勧奨通知発行ステータス	20	依頼職員番号
3	連絡票整理番号	40	申請勧奨通知日(バッチ)	21	依頼所属コード
4	連番	41	申請勧奨通知日(オンライン)	22	状況確認日
5	取込年月	42	申請書 医療保険者区分	23	結果取込日
6	短縮連絡票整理番号	43	申請書 (国保)保険者番号	24	結果取込職員番号
7	内訳被保険者番号	44	申請書 (国保)被保険者(証)番号	25	結果取込所属コード
8	合算対象フラグ	45	申請書 (国保)保険者名	26	完了日
9	386D_保険制度コード	46	申請書 (後期)保険者番号	27	有効期限日
10	386D_保険者番号	47	申請書 (後期)被保険者番号	所得照会簿一覧情報(全被及び世帯員)	
11	386D_被保険者(証)番号	48	申請書 (後期)保険者名	1	管轄区
12	386D_保険者名	49	申請書 計算期間(開始日)	2	課税年度
13	386D_自己負担額証明書整理番号	50	申請書 計算期間(終了日)	3	照会番号
14	386D_対象者氏名(漢字)	51	申請書 加入期間(開始日)	4	住民番号
15	386D_① 70歳以上負担額	52	申請書 加入期間(終了日)	5	被保険者番号
16	386D_② 70歳以上按分率	53	再勧奨通知日	6	処理区分
17	386D_③ ①にかかる支給額	仮算定内訳情報(受給者)		7	情報提供者機関コード
18	386D_④ 70歳未満負担額	1	対象年度	8	所得照会区分
19	386D_⑤ ④+(①-③)	2	被保険者番号	9	照会状況コード
20	386D_⑥ 按分率	3	連番	10	レコード作成日
21	386D_⑦ ⑤に係る支給額	4	386H_支給申請書整理番号(連絡票整理番号)	11	依頼日
22	386D_⑧ ③+⑦	5	386D_保険制度コード	12	状況確認日
仮算定管理情報(受給者)		6	386D_保険者番号	13	結果取込日
1	対象年度	7	386D_被保険者(証)番号	14	完了日
2	被保険者番号	8	386D_保険者名	15	有効期限日
3	386H_支給申請書整理番号(連絡票整理番号)	9	386D_自己負担額証明書整理番号	16	受付番号1~4
4	386H_対象年度	10	386D_対象者氏名(漢字)	17	キャンセルフラグ
5	386H_支給対象者氏名(漢字)	11	386D_① 70歳以上負担額	認定照会情報(受給者)	
6	386H_保険者番号	12	386D_② 70歳以上按分率	1	団体内統合宛名番号
7	386H_被保険者(証)番号	13	386D_③ ①にかかる支給額	2	照会番号
8	386H_計算開始年月日	14	386D_④ 70歳未満負担額	3	事務コード
9	386H_計算終了年月日	15	386D_⑤ ④+(①-③)	4	手続コード
10	386H_世帯負担総額	16	386D_⑥ 按分率	5	情報照会条件
11	386H_介護等合算一部負担金等世帯合算額	17	386D_⑦ ⑤に係る支給額	6	レコード識別番号
12	386H_70歳以上介護等合算一部負担金等世帯合算額	18	386D_⑧ ③+⑦	7	住民番号
13	386H_所得区分	19	70歳以上負担額	8	被保険者番号
14	386H_70歳以上の者に係る所得区分	20	70歳未満負担額	9	前住所転出日
15	386H_介護等合算算定基準額	21	70歳以上総合事業支給額	10	特定個人情報名コード
16	386H_70歳以上介護等合算算定基準額	22	70歳以上総合事業支給額加算フラグ	11	情報提供者機関コード
17	386H_世帯支給総額	23	70歳未満総合事業支給額	12	自治省コード
18	386H_うち70歳以上分世帯支給総額	24	70歳未満総合事業支給額加算フラグ	13	状況コード
19	386H_按分後支給額	所得照会簿情報(全被及び世帯員)		14	エラーコード
20	386H_うち70歳以上分按分後支給額	1	管轄区	15	ステータスコード
21	386H_介護低所得者Ⅰ再計算実施の有無	2	課税年度	16	受付番号
22	386T_① 70歳以上負担額合計	3	照会番号	17	受付明細番号

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

18	照会側不開示コード	2	照会対象年度	23	口座名義(カナ)
19	提供側不開示コード	3	履歴番号	(認定)申請補助情報(受給者)	
20	依頼日	4	前履歴番号	1	被保険者番号
21	依頼職員番号	5	一括照会文発行日	2	認定申請IDX
22	依頼所属コード	6	一括照会結果コード	3	認定申請受理方式
23	状況確認日	7	個別照会文発行日	4	届出者メモ
24	結果取込日	8	個別照会結果コード	5	資格者証送付先区分
25	結果取込職員番号	9	非該当日	6	資格者証宛名敬称区分
29	結果取込所属コード	10	管轄区	7	本人同意有無 処分延期通知省略
30	帳票出力日	11	旧住所区分	8	本人同意有無 非該当事務情報提供
31	完了日	12	旧住所郵便番号本番	9	本人同意有無 主治医情報提供
32	有効期限日	13	旧住所郵便番号枝番	10	本人同意有無 簡素化
独自助成認定証発行管理情報(受給者)		14	旧住所漢字	11	本人同意有無 未確認
1	被保険者番号	15	旧住所方書	12	法令上新規申請フラグ
2	履歴番号	16	配偶者区分	13	訪問調査依頼機関
3	前履歴番号	17	配偶者住民番号	14	意見書依頼機関
4	助成区分	18	配偶者被保険者番号	15	主治医提供同意有無
5	助成申請日	19	配偶者氏名カナ	16	箱入れ時管轄区
6	助成申請事由	20	配偶者氏名漢字	17	箱入れ時他区フラグ
7	助成決定日	21	性別コード	18	審査会資料作成日
8	助成結果区分	22	配偶者生年月日	19	点検一次判定日
9	生保区分	23	配偶者郵便番号本番	20	点検一次判定状態コード
10	助成申請非該当理由	24	配偶者郵便番号枝番	21	点検一次判定基準時間
11	助成期間 開始日	25	配偶者住所漢字	22	点検一次判定要介護状態区分
12	助成期間 終了日	26	配偶者方書	23	簡素化対象フラグ
13	認定証交付日	資産調査照会先情報(受給者)		24	箱入前点検完了日
14	認定証交付事由	1	被保険者番号	25	一次判定修正有無
15	利用サービス区分	2	照会対象年度	26	一次判定修正日
16	取消日	3	履歴番号	27	点検一次判定修正基準時間
17	配偶者の有無	4	前履歴番号	28	一次判定修正要介護状態区分
18	配偶者の世帯分離の有無	5	一括/個別	29	一次判定画像修正日
19	世帯分離した配偶者の税	6	銀行コード	30	事務局個票PDF格納日
20	預貯金等	7	支店コード	31	審査会個票PDF格納日
21	例外事項	8	照会先金融機関名	32	議事録PDF格納日
22	判定所得	9	照会日	33	画像DL区分
23	非課税年金額	10	回答日	34	画像DL日
24	市外非課税年金額入力フラグ	11	連番	35	画像DL中職員コード
25	助成限度額	独自助成支給管理情報(受給者)		36	認定調査票OCRデータ取込日
26	市外非課税年金額入力額	1	被保険者番号	37	認定調査票画像取込日
27	助成認定年度	2	サービス提供年月	38	認定調査票画像補記日
独自助成居住費金額情報(受給者)		3	履歴番号	39	認定調査票画像マスク日
1	被保険者番号	4	前履歴番号	40	認定調査票画像認定申請IDX
2	適用開始年月日	5	決定区分	41	特記事項画像取込日
3	適用終了年月日	6	不支給理由	42	特記事項画像補記日
4	履歴番号	7	決定日	43	特記事項画像マスク日
5	前履歴番号	8	決定支給額	44	特記事項画像認定申請IDX
6	都道府県コード	9	都道府県コード	45	主治医意見書OCRデータ取込日
7	事業者番号	10	事業者番号	46	主治医意見書画像取込日
8	居住費 月	11	支給額	47	主治医意見書画像補記日
9	居住費 日	12	支給年月日	48	主治医意見書画像マスク日
10	申請日	13	支給済額	49	主治医意見書画像認定申請IDX
独自助成区分管理情報(受給者)		14	追給・戻入区分	50	画像格納先年度
1	被保険者番号	15	支給区分	51	進捗状況更新区分
2	サービス提供年月	16	入所実日数	52	進捗状況更新職員コード
3	履歴番号	17	審査年月	53	進捗状況更新日
4	前履歴番号	18	管轄区	54	進捗状況更新時刻
5	助成区分	19	銀行コード	55	画像払出キー
6	助成結果区分	20	支店コード	56	進捗把握状態01~15
資産調査管理情報(受給者)		21	口座 種別	57	医療被保険者番号
1	被保険者番号	22	口座番号	58	医療被保険者証記号

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

59	医療被保険者証番号	6	委託料区分	8	TimeAndDateOfUpdate
60	医療被保険者証枝番	7	委託ランク	9	要介護状態区分コード
61	資格取得日	8	支払い状態区分	10	認定済区分
62	資格喪失日	9	訪問調査依頼票発行日	11	認定期間_開始日
議事録情報(受給者)		10	(委託支払管理用)認定調査票受領画像取込日	12	認定期間_終了日
1	被保険者番号	11	バーコード取込日	13	認定期間_終了日(補正後)
2	審査会日	12	個別単価区分	14	認定申請日
3	審査会区分	13	個別単価	15	介護認定審査会の意見
4	議事録確定印刷日	14	支払情報作成日	16	備考
5	一次修正内容	15	支払額	17	区分支給限度基準額
6	二次判定内容	16	手払区分	18	認定結果決定日
7	状態維持改善	17	手払日	19	被保険者番号
8	有効期間について	18	手払金額	20	住民番号
経過記録情報(受給者)		19	申請切離しフラグ	21	登録削除区分
1	被保険者番号	被保険者正本情報(全被)		自己負担額証明書情報(給付)正本情報	
2	認定申請日	1	団体内統合宛名番号	1	共通宛名番号
3	進捗経過区分	2	データセットレコードのキー	2	データセットレコードのキー
4	進捗経過完了区分	3	レコード確定日	3	レコード確定日
5	完了見込日	4	公開開始日	4	公開開始日
経過記録明細情報(受給者)		5	公開終了日	5	公開終了日
1	被保険者番号	6	行政区コード	6	行政区コード
2	認定申請日	7	DateOfDetection	7	DateOfDetection
3	進捗経過区分	8	TimeAndDateOfUpdate	8	TimeAndDateOfUpdate
4	連番	9	被保険者番号	9	証明対象年度
5	登録日	10	保険者番号	10	自己負担額証明書作成日
6	登録時刻	11	資格取得年月日	11	自己負担額証明書整理番号
7	登録者名	12	資格喪失年月日	12	保険者番号
8	職員コード	13	資格喪失年月日(補正後)	13	被保険者番号(連携用)
9	経過記録完了フラグ	14	資格異動事由コード	14	対象となる計算期間自
10	経過記録	15	被保険者種別	15	対象となる計算期間至
簡易情報提供情報(受給者)		16	住民番号	16	計算期間において被保険者であった期間自
1	被保険者番号	17	登録削除区分	17	計算期間において被保険者であった期間至
2	認定申請IDX	住所地特例正本情報(全被)		18	自己負担額合計
3	逆連番	1	団体内統合宛名番号	19	自己負担額合計(8月分)
4	提供依頼_申出年月日	2	データセットレコードのキー	20	自己負担額合計(9月分)
5	提供依頼_申出受理機関区分	3	レコード確定日	21	自己負担額合計(10月分)
6	提供依頼_申出受理方式区分	4	公開開始日	22	自己負担額合計(11月分)
7	資料発行年月日	5	公開終了日	23	自己負担額合計(12月分)
8	資料発行機関区分	6	行政区コード	24	自己負担額合計(翌1月分)
9	申出無効年月日	7	DateOfDetection	25	自己負担額合計(翌2月分)
10	提供依頼有無_認定調査票	8	TimeAndDateOfUpdate	26	自己負担額合計(翌3月分)
11	提供依頼有無_主治医意見書	9	事業所_住所	27	自己負担額合計(翌4月分)
12	発行区分_認定調査票	10	事業者_名称(漢字)	28	自己負担額合計(翌5月分)
13	発行区分_主治医意見書	11	適用年月日	29	自己負担額合計(翌6月分)
14	提供依頼_申出者区分	12	適用変更年月日	30	自己負担額合計(翌7月分)
15	提供依頼_事業者都道府県コード	13	適用解除年月日	31	自己負担額合計(70～74歳の者の分)
16	提供依頼_事業者番号	14	事業所_電話番号	32	自己負担額合計(8月分)(70～74歳の者の分)
17	送付先区分	15	被保険者番号	33	自己負担額合計(9月分)(70～74歳の者の分)
18	独自送付先_郵便番号	16	住民番号	34	自己負担額合計(10月分)(70～74歳の者の分)
19	独自送付先_住所	17	事業者都道府県コード	35	自己負担額合計(11月分)(70～74歳の者の分)
20	独自送付先_方書	18	事業者番号	36	自己負担額合計(12月分)(70～74歳の者の分)
21	独自送付先_送付先名称	19	登録削除区分	37	自己負担額合計(翌1月分)(70～74歳の者の分)
22	宛名敬称区分	受給者正本情報(受給者)		38	自己負担額合計(翌2月分)(70～74歳の者の分)
23	申出登録年月日	1	団体内統合宛名番号	39	自己負担額合計(翌3月分)(70～74歳の者の分)
認定申請委託支払管理情報(受給者)		2	データセットレコードのキー	40	自己負担額合計(翌4月分)(70～74歳の者の分)
1	被保険者番号	3	レコード確定日	41	自己負担額合計(翌5月分)(70～74歳の者の分)
2	訪問調査委託日	4	公開開始日	42	自己負担額合計(翌6月分)(70～74歳の者の分)
3	訪問調査機関_都道府県コード	5	公開終了日	43	自己負担額合計(翌7月分)(70～74歳の者の分)
4	訪問調査事業者番号	6	行政区コード	44	保険者名
5	バーコード値	7	DateOfDetection	45	保険者郵便番号

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

46	保険者住所	50	計算結果送付先住所	給付実績情報(基摘)(受給者)	
47	保険者電話番号	51	計算結果連絡票送付先電話番号	1	被保険者番号
48	計算結果送付先名称	52	被保険者番号	2	サービス提供年月
49	計算結果連絡票送付先郵便番号	53	住民番号	3	給付実績基本IDX
50	計算結果送付先住所	54	区支所コード	4	給付実績基摘番号
51	計算結果連絡票送付先電話番号	55	登録削除区分	5	請求明細識別
52	被保険者番号	負担割合正本情報(受給者)		6	都道府県コード
53	住民番号	1	団体内統合宛名番号	7	事業者番号
54	区支所コード	2	データセットレコードのキー	8	整理番号
55	登録削除区分	3	レコード確定日	9	摘要種類コード
自己負担額証明書情報(総合事業)正本情報		4	公開開始日	10	内容
1	共通宛名番号	5	公開終了日	11	再審査回数
2	データセットレコードのキー	6	行政区コード	12	過誤回数
3	レコード確定日	7	DateOfDetection	13	審査年月
4	公開開始日	8	TimeAndDateOfUpdate	基本摘要情報(受給者)	
5	公開終了日	9	負担割合区分	1	整理番号
6	行政区コード	10	適用開始年月日	2	都道府県コード
7	DateOfDetection	11	適用終了年月日	3	事業者番号
8	TimeAndDateOfUpdate	12	適用終了年月日(補正日)	4	レコード種別コード
9	証明対象年度	13	被保険者番号	5	基摘明細番号
10	自己負担額証明書作成日	14	住民番号	6	被保険者番号
11	自己負担額証明書整理番号	15	登録削除区分	7	摘要種類コード
12	保険者番号	高額医療合算(給付)正本情報(受給者)		8	内容
13	被保険者番号(連携用)	1	団体内統合宛名番号	年間高額サービス費情報(受給者)	
14	対象となる計算期間自	2	データセットレコードのキー	1	住民番号
15	対象となる計算期間至	3	レコード確定日	2	該当年度
16	計算期間において被保険者であった期間自	4	公開開始日	3	基準年月日
17	計算期間において被保険者であった期間至	5	公開終了日	4	高額申請IDX
18	自己負担額合計	6	行政区コード	5	被保険者番号
19	自己負担額合計(8月分)	7	DateOfDetection	6	世帯集約番号
20	自己負担額合計(9月分)	8	TimeAndDateOfUpdate	7	高額の種類コード
21	自己負担額合計(10月分)	9	給付年度	8	高額利用利用者負担段階コード
22	自己負担額合計(11月分)	10	自己負担額計算対象日自	9	世帯合算区分
23	自己負担額合計(12月分)	11	自己負担額計算対象日至	10	(計算時)世帯負担額
24	自己負担額合計(翌1月分)	12	介護保険加入期間自	11	(計算時)変更後自己負担額
25	自己負担額合計(翌2月分)	13	介護保険加入期間至	12	自己負担額合計
26	自己負担額合計(翌3月分)	14	自己負担額合計	13	算定基準額
27	自己負担額合計(翌4月分)	15	うち70歳から74歳の者に係る自己負担額合計	14	高額支給計算額
28	自己負担額合計(翌5月分)	16	被保険者番号	15	支給済金額合計
29	自己負担額合計(翌6月分)	17	住民番号	16	支給決定額
30	自己負担額合計(翌7月分)	18	登録削除区分	17	一時差止額
31	自己負担額合計(70～74歳の者の分)	高額医療合算(総合事業)正本情報(受給者)		18	代理受領額
32	自己負担額合計(8月分)(70～74歳の者の分)	1	団体内統合宛名番号	19	控除IDX
33	自己負担額合計(9月分)(70～74歳の者の分)	2	データセットレコードのキー	20	支払年月日
34	自己負担額合計(10月分)(70～74歳の者の分)	3	レコード確定日	21	申請時効起算日
35	自己負担額合計(11月分)(70～74歳の者の分)	4	公開開始日	22	計算時効消滅額
36	自己負担額合計(12月分)(70～74歳の者の分)	5	公開終了日	23	支給区分コード
37	自己負担額合計(翌1月分)(70～74歳の者の分)	6	行政区コード	24	精算対象コード
38	自己負担額合計(翌2月分)(70～74歳の者の分)	7	DateOfDetection	25	異動事由コード
39	自己負担額合計(翌3月分)(70～74歳の者の分)	8	TimeAndDateOfUpdate	26	計算日
40	自己負担額合計(翌4月分)(70～74歳の者の分)	9	給付年度	27	申請勧奨通知日
41	自己負担額合計(翌5月分)(70～74歳の者の分)	10	自己負担額計算対象日自	28	再勧奨通知日
42	自己負担額合計(翌6月分)(70～74歳の者の分)	11	自己負担額計算対象日至	29	自動償還対象
43	自己負担額合計(翌7月分)(70～74歳の者の分)	12	介護保険加入期間自	30	申請年月日
44	保険者名	13	介護保険加入期間至	31	区支所コード
45	保険者郵便番号	14	自己負担額合計	32	計算期間_開始年月
46	保険者住所	15	うち70歳から74歳の者に係る自己負担額合計	33	計算期間_終了年月
47	保険者電話番号	16	被保険者番号	34	保険者番号
48	計算結果送付先名称	17	住民番号	35	被保険者期間_開始年月日
49	計算結果連絡票送付先郵便番号	18	登録削除区分	36	被保険者期間_終了年月日

(別添2)特定個人情報ファイル記録項目

(※)各情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

全市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
受給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

37	支払方法区分	9	世帯合算区分	18	送付先担当部課名
38	銀行コード	10	(計算時)世帯負担額	19	電話番号
39	支店コード	11	(計算時)変更後自己負担額	20	郵便番号本番
40	出張所コード	12	自己負担額合計	21	郵便番号枝番
41	口座種別	13	算定基準額	22	住所
42	口座番号	14	高額支給計算額	23	住所方書
43	口座名義人(カナ)	15	支給済金額合計	年間高額サービス費(総合事業)計算情報(受給者)	
44	支給決定日	16	支給決定額	1	住民番号
45	決定区分	17	一時差止額	2	該当年度
46	不支給事由コード	18	代理受領額	3	基準年月日
47	自己負担証明書発行年月日	19	控除IDX	4	高額申請IDX
48	計算結果連絡票発行日	20	支払年月日	5	高額の種類コード
49	計算結果連絡票受領日	21	申請時効起算日	6	世帯員個人番号
50	通知書発行年月日	22	計算時効消滅額	7	保険者番号
年間高額サービス費内訳情報(受給者)		23	支給区分コード	8	被保険者番号
1	住民番号	24	精算対象コード	9	自己負担額合計
2	該当年度	25	異動事由コード	10	按分後支給額
3	基準年月日	26	計算日	11	被保険者期間 開始年月日
4	高額申請IDX	27	申請勧奨通知日	12	被保険者期間 終了年月日
5	保険者番号	28	再勧奨通知日	13	世帯員フラグ
6	年間高額対象月IDX	29	自動償還対象	14	他市フラグ
7	高額の種類コード	30	申請年月日	年間高額世帯集約情報(全被及び世帯員)	
8	計算期間 開始年月日	31	区支所コード	1	住民番号
9	計算期間 終了年月日	32	計算期間 開始年月	2	基準年月日
10	被保険者期間 開始年月日	33	計算期間 終了年月	3	履歴番号
11	被保険者期間 終了年月日	34	保険者番号	4	前履歴番号
12	自己負担額	35	被保険者期間 開始年月日	5	対象年度
13	月間高額サービス費	36	被保険者期間 終了年月日	6	世帯集約番号
14	年間高額サービス費	37	支払方法区分	7	被保険者番号
15	(按分後)自己負担額	38	銀行コード	8	年齢
16	摘要	39	支店コード	9	被保険者種別
17	送付先保険者名	40	出張所コード	10	死亡者フラグ
18	送付先担当部課名	41	口座種別	11	転入者フラグ
19	電話番号	42	口座番号	12	年間高額対象
20	郵便番号本番	43	口座名義人(カナ)	13	受給有無
21	郵便番号枝番	44	支給決定日	14	世帯所得区分
22	住所	45	決定区分	15	所得区分
23	住所方書	46	不支給事由コード	16	老齢福祉年金受給の有無
年間高額サービス費計算情報(受給者)		47	自己負担証明書発行年月日	17	高額用利用者負担段階コード
1	住民番号	48	計算結果連絡票発行日	18	高額用利用者負担段階
2	該当年度	49	計算結果連絡票受領日	19	負担割合事由
3	基準年月日	50	通知書発行年月日	20	負担段階・割合判定日
4	高額申請IDX	年間高額サービス費(総合事業)内訳情報(受給者)		年間高額基準収入額申請管理情報(下記「年間高額基準収入額申請管理内訳情報」を世帯単位で管理しているもの)	
5	高額の種類コード	1	住民番号	1	世帯集約番号
6	世帯員個人番号	2	該当年度	2	該当年度
7	保険者番号	3	基準年月日	3	基準年月日
8	被保険者番号	4	高額申請IDX	4	申請IDX
9	自己負担額合計	5	保険者番号	5	申請書発行日
10	按分後支給額	6	年間高額対象月IDX	6	申請期限
11	被保険者期間 開始年月日	7	高額の種類コード	7	適用開始可能年月
12	被保険者期間 終了年月日	8	計算期間 開始年月日	8	申請日
年間高額サービス費(総合事業)情報(受給者)		9	計算期間 終了年月日	9	決定日
1	住民番号	10	被保険者期間 開始年月日	10	適用年度
2	該当年度	11	被保険者期間 終了年月日	11	段階コード
3	基準年月日	12	自己負担額	12	却下理由コード
4	高額申請IDX	13	月間高額サービス費	13	65歳以上世帯員数
5	被保険者番号	14	年間高額サービス費	14	65歳以上世帯員の収入額合計
6	世帯集約番号	15	(按分後)自己負担額	15	申請書出力日
7	高額の種類コード	16	摘要		
8	高額用利用者負担段階コード	17	送付先保険者名		

(別添3)特定個人情報ファイル記録項目

情報の見出しの最後のカッコ内には、記録主体(記録される者)を次の略称で記載している。

市…市民全員、1号…第1号被保険者、2号…第2号被保険者、全被…被保険者、世帯員…同一世帯に属する世帯員、
給者…介護サービス等の受給者、非被…被保険者でない者として管理すべき者 世帯主…世帯主

決定通知書出力日	年間高額計算情報(世帯)(受給者)
処理年月	1 処理対象ID
基準収入額申請管理内訳情報(受給者及び世帯員)	2 該当年度
世帯集約番号	3 世帯集約番号
該当年度	4 基準年月日
基準年月日	5 算定基準額
申請IDX	6 自己負担額世帯合計(介護)
個人番号	7 世帯支給額(介護)
被保険者番号	8 自己負担額世帯合計(総合事業)
生年月日	9 世帯支給額(総合事業)
続柄1～3	
要介護状態区分	
課税所得額	
仮基準収入額	
申請対象者フラグ	
送付対象者フラグ	
照会対象者フラグ	
5台帳追加情報2(受給者)	
被保険者番号	
履歴番号	
提供年月	
異動年月日	
三割負担適用開始年月日	
三割負担適用終了年月日	
住所地郵便番号	
高額計算情報(内訳)(受給者)	
処理対象ID	
該当年度	
世帯集約番号	
基準年月日	
個人番号(住民番号)	
高額の種類	
保険者番号	
被保険者番号	
被保険者期間 開始年月日	
被保険者期間 終了年月日	
他市フラグ	
自己負担額合計	
按分後支給額	
端数調整フラグ	
端数調整額	
計算エラーフラグ(内訳)	
計算エラーフラグ(世帯)	
高額計算情報(個人)(受給者)	
処理対象ID	
該当年度	
世帯集約番号	
基準年月日	
個人番号(住民番号)	
高額の種類	
被保険者番号	
自己負担額合計	
自市自己負担額	
他市自己負担額	
他市保険者数	
按分後支給額	
端数調整フラグ	
端数調整額	
自市支給額	
他市支給額	

Ⅲ 特定個人情報ファイルの取扱いプロセスにおけるリスク対策 ※(7. リスク1⑨を除く。)

1. 特定個人情報ファイル名		
介護保険情報ファイル		
2. 特定個人情報の入手（情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。）		
リスク1： 目的外の入手が行われるリスク		
対象者以外の情報の入手を防止するための措置の内容	＜窓口における措置＞ 届出内容や本人確認資料（身分証明書等）の確認を厳格に行い、対象者以外の情報を入手することのないようにする。 ＜介護保険システムにおける措置＞ （1）庁内連携システム通じた情報連携（以下、「庁内システム連携」という。）については、本市共通の宛名番号（住民番号を含む）、被保険者番号によって入手するため、対象者以外の情報は入手しない。 （2）市内他業務から紙媒体で情報を入手する場合は、照会文書に基本4情報や本市共通の宛名番号など、対象者の特定ができる情報を記載する。 ＜電子申請システムにおける措置＞ 手続ごとに必要な申請項目を設定する。	
必要な情報以外を入手することを防止するための措置の内容	＜窓口における措置＞ （1）必要な情報以外を記載することがないような申請書等の様式とする。 （2）不必要な書類は受け取らないようにする。不必要な書類を提出された場合は返還する。 ＜介護保険システムにおける措置＞ （1）庁内システム連携については、必要な情報のみ入手するようシステムで制御する。 （2）市内他業務から紙媒体で情報を入手する場合は、必要な情報以外を記載することがないような様式とする。 ＜電子申請システムにおける措置＞ 手続ごとに必要な申請項目を設定する。	
その他の措置の内容	—	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
リスク2： 不適切な方法で入手が行われるリスク		
リスクに対する措置の内容	＜窓口における措置＞ （1）届出者・申請者は介護保険法第12条、第27条及び第32条の規定に基づき被保険者、代理人並びに代行申請者（要介護（要支援）認定申請にかかるものに限る。）のみとし、届出者・申請者の本人確認及び委任状等の確認を行う。 （2）各種申請等を行う際、窓口で入手目的を説明したうえで、申請書等を提出していただく。 ＜情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置＞ 住民については、既存住民基本台帳システムと連携される。 ＜介護保険システムにおける措置＞ 既存住民基本台帳システムを始めとする各業務システムとの情報連携は庁内連携システムを介して行う。 ＜電子申請システムにおける措置＞ 手続ごとに必要な申請項目を設定する。	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

リスク3: 入手した特定個人情報 that 不正確であるリスク	
入手の際の本人確認の措置の内容	<窓口における措置> (1) 個人番号カードの提示又は官公庁発行の身分証明書となるもの(運転免許証、介護保険被保険者証等)等の提示を受ける。 (2) 申請書等の内容と介護保険システムの宛名情報の照合を行う。 <情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> 住民については、既存住民基本台帳システムと連携されるため、本人確認は行わない。 <介護保険システムにおける措置> 庁内システム連携については、本人確認は行わない。 <電子申請システムにおける措置> 申請の際に官公庁発行の身分証明書となるもの(運転免許証、介護保険被保険者証等)等の画像データの添付を求め、提示を受ける。
個人番号の真正性確認の措置の内容	<窓口における措置> 個人番号カード又は通知カードの提示を求め、個人番号の真正性を確認する。 <情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> 住民については、既存住民基本台帳システムと連携される。
特定個人情報の正確性確保の措置の内容	<窓口における措置> 対象者の情報をオンライン入力する際は、申請書等とオンライン入力内容を照合し、入力誤りのないことを確認する。また、複数の職員によるチェックを行う。 <情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> (1) 住民については、既存住民基本台帳システムと連携されるため、正確な情報となる。 (2) 住民以外の者については、情報連携基盤システムを利用する各事務において住民基本台帳ネットワークシステムを利用するなどして正確な情報に更新する。 <介護保険システムにおける措置> (1) 庁内システム連携については、正確性は確保されている。 (2) 介護保険情報ファイルにかかる入力、削除、修正(以下、この項目に限り「入力等」という。)を行う際には、整合性を確保するために、入力等を行った者以外の者が当該入力等の内容を確認する。 <電子申請システムにおける措置> ① 手続ごとに必要な申請項目を設定する。 ② 入力規則を設けるなど不正確な情報が入力されないようにする。
その他の措置の内容	—
リスクへの対策は十分か	[十分である] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
リスク4: 入手の際に特定個人情報 that 漏えい・紛失するリスク	
リスクに対する措置の内容	<窓口における措置> 申請書等については鍵付の保管庫で管理する。 <情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> アクセス制御や暗号化を実施することにより、漏えい・紛失を防止する。 <介護保険システムにおける措置> 情報連携基盤システムを介した情報連携を利用することで、外部記録媒体などと比べて、リスクを低減する。 <電子申請システムにおける措置> アクセス制御や暗号化を実施する。
リスクへの対策は十分か	[十分である] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)におけるその他のリスク及びそのリスクに対する措置	
—	

3. 特定個人情報の使用		
リスク1: 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスク		
宛名システム等における措置の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)許可のない業務システムや端末はシステムに接続できないように制限している。 (2)許可のない業務システムや利用者は個人番号にアクセスできないように制限している。	
事務で使用するその他のシステムにおける措置の内容	<介護保険システムにおける措置> (1)情報連携基盤システムを介して情報連携を行っているため、事務に必要な(許可のない)情報と紐付けすることはできない。 (2)個人番号を直接保有せず、限られた処理で情報連携基盤システムで保有する個人番号を参照することで、個人番号の利用を制限している。 (3)介護保険システムのデータベースは、事務に必要なもののみに限定しているため、事務に必要な情報以外は保有できない。 <電子申請システムにおける措置> 許可のない者が申請情報を閲覧できないように、手続ごとにアクセス制御している。	
その他の措置の内容	—	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
リスク2: 権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスク		
ユーザ認証の管理	[行っている]	<選択肢> 1) 行っている 2) 行っていない
具体的な管理方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)端末利用時には、利用者個人に付与されるID、パスワード及び生体認証による認証を実施する。 (2)システム連携時には、システムの認証を実施する。 <介護保険システムにおける措置> (1)システムを利用する必要がある職員を特定し、ユーザIDによる識別とパスワード及び生体認証による認証を実施する。 (2)認証後は、そのユーザがシステム上で利用可能な機能を制限することで不正利用が行えない対策を実施している。 (3)1人の職員が同時に複数の端末を使用できないよう、認証時に制御している。また、特定の端末以外はシステムにアクセスできないよう制御している。 <電子申請システムにおける措置> 端末利用時には、利用者個人に付与されるIDと、パスワード及び生体認証による二要素認証を実施する。また、システム利用時には、ID及びパスワードで認証する。	
アクセス権限の発効・失効の管理	[行っている]	<選択肢> 1) 行っている 2) 行っていない
具体的な管理方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)発行 利用する情報、権限の種類、利用期間、事務の名称と内容、根拠法令等、利用者の範囲又は利用システム等に基づき設定する。 (2)失効 利用期間満了時に失効される。 また、利用者の範囲から外れた職員(異動、退職等)は失効される。 <介護保険システムにおける措置> (1)発行 ①介護保険システムを利用する職員については、操作者の職務に応じた権限が付与される。 ②嘱託員及び臨時的任用職員へのアクセス権限の付与については、業務に対応したアクセス権限を確認し、業務に必要なアクセス権限のみを申請しなければならないものとしている。 (2)失効 ①利用者の範囲から外れた職員は自動的に失効される。 ②嘱託員及び臨時的任用職員についても、任用期間満了後、失効させている。 <電子申請システムにおける措置> ①事務を行う職員のアカウントを発行し、手続の受付を行う組織へ紐付ける。 ②異動等で不要となった職員のアカウントを無効化する。	

アクセス権限の管理	[行っている] <選択肢> 1) 行っている 2) 行っていない
具体的な管理方法	<情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> 定期的にアクセス権限を確認し、不要となったアクセス権限は変更または削除する。 <電子申請システムにおける措置> 定期的にアクセス権限を確認し、定期的に当該事務を行う組織に紐付いているアカウントを確認し、不要となったアカウントの無効化及び紐付けの解除を行う。
特定個人情報の使用の記録	[記録を残している] <選択肢> 1) 記録を残している 2) 記録を残していない
具体的な方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 情報連携基盤システムで保有する特定個人情報の情報照会・提供記録を保管する。 (2) (1)の記録には宛名番号、成否、日時、所属、事務、事務手続、職員、システムID、特定個人情報、特定個人情報の項目を含む。(所属、職員等システム連携のため特定できない場合には、利用する業務システム側で特定できる記録を残す。) <介護保険システムにおける措置> システム操作履歴をユーザー単位で記録している。履歴の保管は5年とする。 <電子申請システムにおける措置> 電子申請システム上で、特定個人情報を含む申請情報への照会・処理等の利用記録を保管する。
その他の措置の内容	—
リスクへの対策は十分か	[十分である] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

リスク3: 従業者が事務外で使用するリスク	
リスクに対する措置の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)システムの操作ログ、特定個人情報ファイルのアクセスログを記録する。 (2)許可のない情報にはアクセスできないように制限する。 <介護保険システムにおける措置> (1)システムの操作ログを記録し、定期的にログを監視する。 (2)職務に応じた権限の範囲の情報しかアクセスできないよう制限する。 <電子申請システムにおける措置> ①システムの操作ログ、アクセスログを記録する。 ②許可のない手続の申請情報にはアクセスできないように制限する。
リスクへの対策は十分か	[十分である] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
リスク4: 特定個人情報ファイルが不正に複製されるリスク	
リスクに対する措置の内容	<情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> (1)情報連携基盤システム・中間サーバーを利用する端末では、許可のない外部記録媒体の使用を禁止する。 (2)必要最低限の利用者又は業務システムに対して必要最低限の出力しかできないアクセス権を設定をする。 <介護保険システムにおける措置> (1)介護保険システム接続端末については、許可のない外部記録媒体の使用を禁止する。 (2)ファイルを複製可能な者は必要最小限とし、操作権限を設定している。 (3)ファイルを複製する場合は、その作業内容(緊急的な統計作業や、データチェックなど)を明確にし、作業者、作業日時を記録する。また、ファイルを保管する場合は、予め定められた保管場所に保管し、作業内容終了後、直ちに消去する。 <電子申請システムにおける措置> 職員ごとにアクセス権限を持つ手続を設定する。
リスクへの対策は十分か	[十分である] <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
特定個人情報の使用におけるその他のリスク及びそのリスクに対する措置	
端末機は、スクリーンセーバ等を利用して、長時間にわたり特定個人情報を表示させない。 また、スクリーンセーバ解除時は、ユーザID、パスワード及び生体認証を行う。	

☐ 委託しない

情報保護管理体制の確認	＜情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置＞ 委託契約の締結にあたり、体制の確認を行うとともに秘密保持に関する誓約の提出を求める。
-------------	--

具体的な制限方法	＜情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置＞ (1)作業実施体制の提出を求める。 (2)作業実施にあたり必要となる最低限の従事者に対して個別にアクセス権限を付与する。
----------	---

具体的な方法	＜情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置＞ (1)システムの操作ログ、アクセスログを記録する。 (2)システムの操作ログ、アクセスログを7年間(介護保険システムは5年間)保存する。
--------	---

提供に関するルールの内容及びルール遵守の確認方法	＜情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置＞ (1) 提供を禁止する。 (2) 契約に基づき遵守状況の報告を求めるとともに、実地確認調査を実施する。
--------------------------	--

委託元と委託先間の提供に関するルール内容及びルール遵守の確認方法	＜情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置＞ (1) 庁舎外への持ち出しを禁止する。 (2) 契約に基づき遵守状況の報告を求めるとともに、実地確認調査を実施する。
----------------------------------	---

ルール内容及び ルール遵守の確認方法	<介護保険システムにおける措置> 機器内の情報を全て完全に消去するか、情報の読み出しができないように当該機器の全ての記憶装置を物理的に破壊するよう指示し、消去証明書を提出させている。
-----------------------	---

規定の内容	＜情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置＞ (1) 番号法及び関連法令を遵守し、適正な管理のために必要な措置を講じること。 (2) 第三者に開示あるいは漏洩してはならないこと。 (3) 目的外に使用してはならないこと。 (4) 漏えい、滅失又は改ざんの防止に必要な措置を講じること。 (5) 許可なく複写・複製しないこと。 (6) 漏えい、滅失又は改ざん等の事故が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、直ちに委託者に報告し、委託者の指示に従うこと。 (7) 従事者の教育を実施すること。
-------	--

具体的な方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)許可のない再委託を禁止する。 (2)特定個人情報の取扱いに関して委託先に課せられている事項と同一の事項を遵守を義務付ける。 (3)契約に基づき遵守状況の報告を求めるとともに、実地確認調査を実施する。
--------	---

その他の措置の内容	—
-----------	---

特定個人情報ファイルの取扱いの委託におけるその他のリスク及びそのリスクに対する措置

5. 特定個人情報の提供・移転（委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。）		[] 提供・移転しない	
リスク1： 不正な提供・移転が行われるリスク			
特定個人情報の提供・移転の記録	[記録を残している]	<選択肢> 1) 記録を残している 2) 記録を残していない	
具体的な方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 情報連携基盤システムを利用した特定個人情報の提供・移転は、全て情報照会・提供記録を取得する。 (2) 取得した情報照会・提供記録は7年間保存する。 <介護保険システムにおける措置> (1) 庁内の移転については、情報連携基盤システムで記録を保持する。 (2) 紙媒体での移転については、介護保険課で記録を保持する。 (3) オンライン画面を参照することによる移転については、アクセスログを保持する。		
特定個人情報の提供・移転に関するルール	[定めている]	<選択肢> 1) 定めている 2) 定めていない	
ルールの内容及びルール遵守の確認方法	<介護保険システムにおける措置> 名古屋市個人情報保護条例に基づき、以下のルールを遵守している。 (1) 提供 特定個人情報など重要性の高い行政情報は外部に提供してはならないとしているが、法令に定めがある場合は、外部への提供を可能としている。 (2) 移転 移転先における情報の利用目的・根拠、情報管理体制等を含む利用条件について、必要な要件を満たしていることをあらかじめ確認している。 <情報連携基盤システムにおける措置> (1) 移転・提供元によって許可された移転・提供先のみ移転・提供する。 (2) 定期的に移転・提供元及び移転・提供先に確認する。		
その他の措置の内容	—		
リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
リスク2： 不適切な方法で提供・移転が行われるリスク			
リスクに対する措置の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 許可のない業務システムや端末はシステムに接続できないように制限している。 (2) 許可のない特定個人情報にはアクセスできないように制限している。 <介護保険システムにおける措置> (1) 情報連携基盤システムを通じて特定個人情報の提供・移転を行うことにより、不適切な方法で提供・移転が行われることを防止する。 (2) 特定個人情報を利用する者以外に移転しないように、紙媒体での移転においては、リスト名称の確認を行ったうえで、利用部署の担当者の受領印を求める。 (3) 毎年提供先・移転先との間で、利用目的や使用方法等を取り決める覚書をかわす際に、提供・移転する根拠となる法令を確認している。		
リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
リスク3： 誤った情報を提供・移転してしまうリスク、誤った相手に提供・移転してしまうリスク			
リスクに対する措置の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 許可のない業務システムや端末はシステムに接続できないように制限している。 (2) 許可のない特定個人情報にはアクセスできないように制限している。 <介護保険システムにおける措置> (1) 情報連携基盤システムを通じて特定個人情報の提供・移転を行うことにより、誤った情報の提供・移転や誤った相手への提供・移転を防止する。 (2) 紙媒体での移転においては、リスト名称の確認を行ったうえで、利用部署の担当者の受領印を求める。		
リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
特定個人情報の提供・移転（委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。）におけるその他のリスク及びそのリスクに対する措置			
—			

6. 情報提供ネットワークシステムとの接続		[] 接続しない(入手)	[] 接続しない(提供)
リスク1: 目的外の入手が行われるリスク			
リスクに対する措置の内容	＜中間サーバー・ソフトウェアにおける措置＞ (1) 情報照会機能(※1)により、情報提供ネットワークシステムに情報照会を行う際には、情報提供許可証の発行と照会内容の照会許可照会リスト(※2)との照会を情報提供ネットワークシステムに求め、情報提供ネットワークシステムから情報提供許可証を受領してから情報照会を実施することになる。つまり、番号法上認められた情報連携以外の照会を拒否する機能を備えており、目的外提供やセキュリティリスクに対応している。 (2) 中間サーバーの職員認証・権限管理機能(※3)では、ログイン時の職員認証の他に、ログイン・ログアウトを実施した職員、時刻及び操作内容の記録が実施されるため、不適切な接続端末の操作や、不適切なオンライン連携を抑止する仕組みになっている。 (※1) 情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の照会及び照会した情報の受領を行う機能。 (※2) 番号法の規定による情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の提供に係る情報照会者、情報提供者、事務及び特定個人情報を一覧化し、情報照会の可否を判断するために使用するもの。 (※3) 中間サーバーを利用する職員の認証と職員に付与された権限に基づいた各種機能や特定個人情報へのアクセス制御を行う機能。		
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
リスク2: 安全が保たれない方法によって入手が行われるリスク			
リスクに対する措置の内容	＜中間サーバー・ソフトウェアにおける措置＞ 中間サーバーは、個人情報保護委員会との協議を経て、内閣総理大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の入手のみ実施できるよう設計されるため、安全性が担保されている。 ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (1) 中間サーバーと既存システム、情報提供ネットワークシステムとの間は、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク(総合行政ネットワーク等)を利用することにより、安全性を確保している。 (2) 中間サーバーと団体についてはVPN等の技術を利用し、団体ごとに通信回線を分離するとともに、通信を暗号化することで安全性を確保している。		
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
リスク3: 入手した特定個人情報が不正確であるリスク			
リスクに対する措置の内容	＜中間サーバー・ソフトウェアにおける措置＞ 中間サーバーは、個人情報保護委員会との協議を経て、内閣総理大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用して、情報提供用個人識別符号により紐付けられた照会対象者に係る特定個人情報を入手するため、正確な照会対象者に係る特定個人情報を入手することが担保されている。		
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	

リスク4: 入手の際に特定個人情報情報が漏えい・紛失するリスク		
リスクに対する措置の内容	＜中間サーバー・ソフトウェアにおける措置＞ (1) 中間サーバーは、情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の入手のみを実施するため、漏えい・紛失のリスクに対応している(※)。 (2) 既存システムからの接続に対し認証を行い、許可されていないシステムからのアクセスを防止する仕組みを設けている。 (3) 情報照会が完了又は中断した情報照会結果については、一定期間経過後に当該結果を情報照会機能において自動で削除することにより、特定個人情報情報が漏えい・紛失するリスクを軽減している。 (4) 中間サーバーの職員認証・権限管理機能では、ログイン時の職員認証の他に、ログイン・ログアウトを実施した職員、時刻、操作内容の記録が実施されるため、不適切な接続端末の操作や、不適切なオンライン連携を抑止する仕組みになっている。 (※) 中間サーバーは、情報提供ネットワークシステムを使用して特定個人情報を送信する際、送信する特定個人情報の暗号化を行っており、照会者の中間サーバーでしか復号できない仕組みになっている。そのため、情報提供ネットワークシステムでは復号されないものとなっている。 ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (1) 中間サーバーと既存システム、情報提供ネットワークシステムとの間は、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク(総合行政ネットワーク等)を利用することにより、漏えい・紛失のリスクに対応している。 (2) 中間サーバーと団体についてはVPN等の技術を利用し、団体ごとに通信回線を分離するとともに、通信を暗号化することで漏えい・紛失のリスクに対応している。 (3) 中間サーバー・プラットフォーム事業者の業務は、中間サーバー・プラットフォームの運用、監視・障害対応等であり、業務上、特定個人情報へはアクセスすることはできない。	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
リスク5: 不正な提供が行われるリスク		
リスクに対する措置の内容	＜中間サーバー・ソフトウェアにおける措置＞ (1) 情報提供機能(※)により、情報提供ネットワークシステムにおける照会許可照会リストを情報提供ネットワークシステムから入手し、中間サーバーにも格納して、情報提供機能により、照会許可照会リストに基づき情報連携が認められた特定個人情報の提供の要求であるかチェックを実施している。 (2) 情報提供機能により、情報提供ネットワークシステムに情報提供を行う際には、情報提供ネットワークシステムから情報提供許可証と情報照会者へたどり着くための経路情報を受領し、照会内容に対応した情報を自動で生成して送付することで、特定個人情報情報が不正に提供されるリスクに対応している。 (3) 機微情報については自動応答を行わないように自動応答不可フラグを設定し、特定個人情報の提供を行う際に、送信内容を改めて確認し、提供を行うことで、センシティブな特定個人情報情報が不正に提供されるリスクに対応している。 (4) 中間サーバーの職員認証・権限管理機能では、ログイン時の職員認証の他に、ログイン・ログアウトを実施した職員、時刻、操作内容の記録が実施されるため、不適切な接続端末の操作や、不適切なオンライン連携を抑止する仕組みになっている。 (※) 情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の提供の要求の受領及び情報提供を行う機能。 ＜中間サーバーの運用における措置＞ 必要に応じて中間サーバー側で取得した情報提供記録を確認する。	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

リスク6: 不適切な方法で提供されるリスク		
リスクに対する措置の内容	＜中間サーバー・ソフトウェアにおける措置＞ (1)セキュリティ管理機能(※)により、情報提供ネットワークシステムに送信する情報は、情報照会者から受領した暗号化鍵で暗号化を適切に実施した上で提供を行う仕組みになっている。 (2)中間サーバーの職員認証・権限管理機能では、ログイン時の職員認証の他に、ログイン・ログアウトを実施した職員、時刻、操作内容の記録が実施されるため、不適切な接続端末の操作や、不適切なオンライン連携を抑止する仕組みになっている。 (※)暗号化・復号機能と、鍵情報及び照会許可照会リストを管理する機能。 ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (1)中間サーバーと既存システム、情報提供ネットワークシステムとの間は、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク(総合行政ネットワーク等)を利用することにより、不適切な方法で提供されるリスクに対応している。 (2)中間サーバーと団体についてはVPN等の技術を利用し、団体ごとに通信回線を分離するとともに、通信を暗号化することで漏えい・紛失のリスクに対応している。 (3)中間サーバー・プラットフォームの保守・運用を行う事業者においては、特定個人情報に係る業務にはアクセスができないよう管理を行い、不適切な方法での情報提供を行えないよう管理している。	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
リスク7: 誤った情報を提供してしまうリスク、誤った相手に提供してしまうリスク		
リスクに対する措置の内容	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ 中間サーバーに保存する特定個人情報を適切な頻度で更新する。 ＜中間サーバー・ソフトウェアにおける措置＞ (1)情報提供機能により、情報提供ネットワークシステムに情報提供を行う際には、情報提供許可証と情報照会者への経路情報を受領した上で、情報照会内容に対応した情報提供をすることで、誤った相手に特定個人情報が提供されるリスクに対応している。 (2)情報提供データベース管理機能(※)により、「情報提供データベースへのインポートデータ」の形式チェックと、接続端末の画面表示等により情報提供データベースの内容を確認できる手段を準備することで、誤った特定個人情報を提供してしまうリスクに対応している。 (3)情報提供データベース管理機能では、情報提供データベースの副本データを既存業務システムの原本と照合するためのエクスポートデータを出力する機能を有している。 (※)特定個人情報を副本として保存・管理する機能。	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
情報提供ネットワークシステムとの接続に伴うその他のリスク及びそのリスクに対する措置		
＜中間サーバー・ソフトウェアにおける措置＞ (1)中間サーバーの職員認証・権限管理機能では、ログイン時の職員認証の他に、ログイン・ログアウトを実施した職員、時刻、操作内容の記録が実施されるため、不適切な接続端末の操作や、不適切なオンライン連携を抑止する仕組みになっている。 (2)情報連携においてのみ、情報提供用個人識別符号を用いることがシステム上担保されており、不正な名寄せが行われるリスクに対応している。 ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (1)中間サーバーと既存システム、情報提供ネットワークシステムとの間は、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク(総合行政ネットワーク等)を利用することにより、安全性を確保している。 (2)中間サーバーと団体についてはVPN等の技術を利用し、団体ごとに通信回線を分離するとともに、通信を暗号化することで安全性を確保している。 (3)中間サーバー・プラットフォームでは、特定個人情報を管理するデータベースを地方公共団体ごとに区分管理(アクセス制御)しており、中間サーバー・プラットフォームを利用する団体であっても他団体が管理する情報には一切アクセスできない。 (4)特定個人情報の管理を地方公共団体のみが行うことで、中間サーバー・プラットフォームの保守・運用を行う事業者における情報漏えい等のリスクを極小化する。		

7. 特定個人情報の保管・消去		
リスク1: 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスク		
①NISC政府機関統一基準群	[政府機関ではない]	<選択肢> 1) 特に力を入れて遵守している 2) 十分に遵守している 3) 十分に遵守していない 4) 政府機関ではない
②安全管理体制	[十分に整備している]	<選択肢> 1) 特に力を入れて整備している 2) 十分に整備している 3) 十分に整備していない
③安全管理規程	[十分に整備している]	<選択肢> 1) 特に力を入れて整備している 2) 十分に整備している 3) 十分に整備していない
④安全管理体制・規程の職員への周知	[十分に周知している]	<選択肢> 1) 特に力を入れて周知している 2) 十分に周知している 3) 十分に周知していない
⑤物理的対策	[十分に行っている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない
	具体的な対策の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)情報連携基盤システムは、庁舎内の情報管理室に設置し、情報管理室への入退室を厳重に管理する。 (2)特定個人情報は、情報管理室内に設置された機器に保存する。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1)中間サーバー・プラットフォームをデータセンターに構築し、設置場所への入退室者管理、有人監視及び施錠管理をすることとしている。また、設置場所はデータセンター内の専用の領域とし、他テナントとの混在によるリスクを回避する。 (2)事前に申請し承認されてない物品、記憶媒体、通信機器などを不正に所持し、持出持込することがないように、警備員などにより確認している。 <介護保険システムにおける措置> (1)生体認証による入退室管理を実施するとともに、自動消火装置及び監視カメラを設置している。 (2)サーバーは鍵つきの耐震ラックに格納するとともに、サーバーに無停電電源装置を設置している。 <電子申請システムにおける措置> ①活用するクラウドサービス基盤は、「政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係る基本方針」がセキュリティクラウド認証等として掲げるISO/IEC27017、米国FedRAMP、AICPASOC2/SOC3等に対応しており、そのデータセンターへのアクセスを厳密に統制している。 ②スタッフへの権限の付与及び最低2回以上の2要素認証によるデータセンターのフロアへのアクセス制限を始め、監視カメラや侵入検知システムなどの手段による厳重な管理が行われている。
⑥技術的対策	[十分に行っている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない
	具体的な対策の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)セキュリティ機器等を導入し、アクセス制限、侵入検知及び侵入防止を行う。 (2)ウイルス対策ソフトウェアを導入する。 (3)導入しているOS及びミドルウェアについて、必要に応じてセキュリティパッチの適用を行う。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1)中間サーバー・プラットフォームではUTM(コンピュータウイルスやハッキングなどの脅威からネットワークを効率的かつ包括的に保護する装置)等を導入し、アクセス制限、侵入検知及び侵入防止を行うとともに、ログの解析を行う。 (2)中間サーバー・プラットフォームでは、ウイルス対策ソフトを導入し、パターンファイルの更新を行う。 (3)導入しているOS及びミドルウェアについて、必要に応じてセキュリティパッチの適用を行う。 <介護保険システムにおける措置> (1)サーバーに接続できる端末をファイアウォールで限定している。 (2)ウイルス対策ソフトを導入し、パターンファイルの更新を行っている。 (3)導入しているOS及びミドルウェアについて、必要に応じてセキュリティパッチの適用を行う。 (4)サーバーの二重化を実施している。 (5)インターネット・メールを禁止している。 <電子申請システムにおける措置> ①仮想サーバーの操作を行うことが可能なコンソール(マネジメントコンソール)へのアクセスは、ID・パスワードによる認証とTOTP(Time-Based One-Time Password)による二段階認証を強制する対策を実施している。 ②操作についてはクラウドサービス基盤の機能を活用することで、操作に関するログを取得し、当該設備のリソースに対する操作者及び操作を特定できる対策を実施している。 ③セキュリティ対策のためのシステムを導入し、アクセス制限、不正アクセスの検知及び防御を行っている。 ④ウイルスやマルウェア等への対策としてOS、ミドルウェア等を定期的に最新バージョンにアップデートしている。

⑦バックアップ	[十分にしている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分にしている 3) 十分にしていない
⑧事故発生時手順の策定・周知	[十分にしていない]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分にしている 3) 十分にっていない
⑨過去3年以内に、評価実施機関において、個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生あり]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし
その内容	自宅療養中の新型コロナウイルス感染症の陽性者1名に対して、配食サービスを案内する電子メールを送信する際、本来利用票のPDFファイルのみを送信すべきところ、誤って167名分の個人情報が記された配食サービス利用者のリストを添付して送信した。	
再発防止策の内容	電子メール等を送信する前には、必ず複数の職員で宛先や内容の確認をすることを改めて周知、徹底した。また、個人情報取扱いの重要性について、職員に対して再度周知、徹底した。	
⑩死者の個人番号	[保管している]	<選択肢> 1) 保管している 2) 保管していない
具体的な保管方法	<情報連携基盤システムにおける措置> 死者以外の個人番号と同様に管理する。	
その他の措置の内容	—	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
リスク2： 特定個人情報が古い情報のまま保管され続けるリスク		
リスクに対する措置の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 住民については、既存住民基本台帳システムと連携されるため、正確な情報となる。 (2) 住民以外の者については、情報連携基盤システムを利用する各事務において住民基本台帳ネットワークシステムを利用するなどして正確な情報に更新する。 <介護保険システムにおける措置> (1) 住民については、庁内システム連携については、定期的に情報連携が行われており、正確な情報となる。 (2) 住民以外の者についても、申請等によりその情報を把握している。 (3) 介護保険情報ファイルにかかる入力漏れを防ぐために、入力を行った者以外の者が当該入力の内容を確認する。 <電子申請システムにおける措置> 市民等は申請ごとに申請情報を入力するため、リスクは発生しない。	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
リスク3： 特定個人情報が消去されずいつまでも存在するリスク		
消去手順	[定めている]	<選択肢> 1) 定めている 2) 定めていない
手順の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 保管期間が過ぎた情報は定期的に削除する。 (2) 接続する業務システムからの不要となった情報の削除要求に基づき、削除する。 <介護保険システムにおける措置> 前述Ⅱの6の②(保管期間)中の「その妥当性」の記載に基づき、保管期間を経過し不要となった情報は定期的に削除する。 <電子申請システムにおける措置> 名古屋市中からサービス提供者に対して依頼することで消去する。	
その他の措置の内容	—	
リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
特定個人情報の保管・消去におけるその他のリスク及びそのリスクに対する措置		
—		

IV その他のリスク対策 ※

1. 監査		
①自己点検	[十分にやっている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分にやっている 3) 十分にやっていない
	具体的なチェック方法	<情報連携基盤システムにおける措置> 情報連携基盤システムの運用及び情報連携基盤システムでの特定個人情報ファイルの取り扱いが、本評価書及び運用規則等のとおり適切に実施されていることを確認するために、情報連携基盤システムの運用に携わる職員及びシステム開発・運用保守業者が定期的に自己点検を実施することとしている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> 運用規則等に基づき、中間サーバー・プラットフォームの運用に携わる職員及び事業者に対し、定期的に自己点検を実施することとしている。 <介護保険システムにおける措置> 介護保険システム運用管理規程等に自己点検に関する項目を創設し、評価書の記載内容どおりの運用に関する自己点検を、特定個人情報の使用部署において実施する。 <電子申請システムにおける措置> サービス提供者において、定期的に自己点検を実施する。
②監査	[十分にやっている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分にやっている 3) 十分にやっていない
	具体的な内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)「名古屋市における特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」に基づき、情報連携基盤システムにおける特定個人情報の管理の状況の点検又は情報セキュリティ監査を実施する。 (2)(1)の実施結果に応じて必要な改善措置を講じる。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> 運用規則等に基づき、中間サーバー・プラットフォームについて、定期的に監査を行うこととしている。 <介護保険システムにおける措置> 情報保護に関する外部監査、内部監査又は内部点検を、少なくとも年1回実施する。 <電子申請システムにおける措置> 定期的に外部監査を実施するサービスを利用している。

2. 従業員に対する教育・啓発		
従業員に対する教育・啓発	[十分にしている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分にしている 3) 十分に行っていない
	具体的な方法	<名古屋市中における措置> (1)「名古屋市中における特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」に基づき、特定個人情報の保護責任者、特定個人情報を取り扱うシステム所管課長及び所管課長、各事務取扱担当者等に対して、特定個人情報の適正な管理に関する研修をおおむね1年ごとに行う。 (2)「名古屋市中における特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」に基づき、特定個人情報を取り扱うシステムを利用する職員に対して、システムの運用及びセキュリティ対策に関する研修をおおむね1年ごとに行う。 (3)「名古屋市中における特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」に基づき、その他の特定個人情報を取り扱う職員に対して特定個人情報の安全管理に関する研修をおおむね1年ごとに実施する。 <情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> 委託業者に対して、番号法及び関連法令の順守、機密保持及び従事者への情報の取扱いに関する教育を求める。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> IPA(情報処理推進機構)が提供する最新の情報セキュリティ教育用資料等を基にセキュリティ教育資料を作成し、中間サーバー・プラットフォームの運用に携わる職員及び事業者に対し、運用規則(接続運用規程等)や情報セキュリティに関する教育を年次(年2回)及び随時(新規要員着任時)実施することとしている。 <介護保険システムにおける措置> 毎年4月に実施している介護保険の業務別研修(各業務の担当者が出席する研修)において、介護保険業務を踏まえた、個人情報保護に関する研修を行う。 <電子申請システムにおける措置> サービス提供者に対して、番号法及び関連法令の順守、機密保持及び従事者への情報の取扱いに関する教育を求める。 <違反行為を行った場合の措置> 違反行為を行った場合は関係法令等に基づき厳正に対処する。
3. その他のリスク対策		
<中間サーバー・プラットフォームにおける措置> 中間サーバー・プラットフォームを活用することにより、統一した設備環境による高レベルのセキュリティ管理(入退室管理等)、ITリテラシーの高い運用担当者によるセキュリティリスクの低減、及び技術力の高い運用担当者による均一的で安定したシステム運用・監視を実現する。		

V 開示請求、問合せ

1. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求

①請求先	〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市スポーツ市民局市民生活部市政情報室	
②請求方法	名古屋市長個人情報保護条例第19条に基づき、必要事項を記載した開示請求書を提出する。	
特記事項	市公式ウェブサイト上に、請求先、請求方法、請求書様式等を掲載している。	
③手数料等	[無 料] <選択肢> 1) 有料 2) 無料 (手数料額、納付方法:)	
④個人情報ファイル簿の公表	[行っている] <選択肢> 1) 行っている 2) 行っていない	
個人情報ファイル名	介護保険情報ファイル	
公表場所	市民情報センター、市公式ウェブサイト	
⑤法令による特別の手続	—	
⑥個人情報ファイル簿への不記載等	—	

2. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ

①連絡先	〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市健康福祉局高齢福祉部介護保険課 電話番号 052-972-2595
②対応方法	問い合わせの受付時に受付票を起票し、対応について記録を残す。

VI 評価実施手続

1. 基礎項目評価	
①実施日	
②しきい値判断結果	[基礎項目評価及び全項目評価の実施が義務付けられる] <選択肢> 1) 基礎項目評価及び全項目評価の実施が義務付けられる 2) 基礎項目評価及び重点項目評価の実施が義務付けられる(任意に全項目評価を実施) 3) 基礎項目評価の実施が義務付けられる(任意に全項目評価を実施) 4) 特定個人情報保護評価の実施が義務付けられない(任意に全項目評価を実施)
2. 国民・住民等からの意見の聴取	
①方法	名古屋市パブリックコメント制度要綱に基づき、パブリックコメントによる意見聴取を実施する。パブリックコメントの実施に際しては、広報紙に公表する旨の記事を掲載し、市ホームページ、区役所情報コーナー及び市民情報センターにて全文を閲覧、取得できる。
②実施日・期間	
③期間を短縮する特段の理由	
④主な意見の内容	
⑤評価書への反映	
3. 第三者点検	
①実施日	
②方法	名古屋市個人情報保護審議会による点検
③結果	
4. 個人情報保護委員会の承認【行政機関等のみ】	
①提出日	
②個人情報保護委員会による審査	

(別添3)変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【5ページ】 I－2. システム5 ①システム の名称	課税資料照会システム	削除	事後	重要な変更にあたらぬ。 (課税資料照会システムの廃止に伴うもの。)
平成28年11月7日	【5ページ】 I－2. システム5 ②システム の機能	区役所保険年金課、民生子ども課、支所区民福祉課に設置した専用端末から、本市税務総合情報システムに電子データとして記録されている課税資料イメージデータ(確定申告書、給与支払報告書、年金支払報告書等)にアクセスし、対象者の課税資料イメージデータを検索・特定し表示する(閲覧のみで、プリンタ出力、データファイル出力は不可能)。	削除	事後	同上
平成28年11月7日	【5ページ】 I－2. システム5 ③他のシステムとの接続	[O] 税務システム	削除	事後	同上
平成28年11月7日	【6ページ】 I－5. 個人番号の利用 法令上の根拠	・(略) ・(略) ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例(案)	・(略) ・(略) ・番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (名称変更によるもの。)
平成28年11月7日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の図中 本市の各業務システム	・既存住民基本台帳システム ・税務システム ・生活保護システム ・国民年金システム ・国民健康保険システム ・後期高齢者医療システム ・福祉総合システム ・課税資料照会システム(専用端末による閲覧のみ) ・中国残留邦人等支援給付システム(当該システムとの連携は紙媒体のみ。)	・既存住民基本台帳システム ・税務システム ・生活保護システム ・国民年金システム ・国民健康保険システム ・後期高齢者医療システム ・福祉総合システム ・中国残留邦人等支援給付システム(当該システムとの連携は紙媒体のみ。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (課税資料照会システムの廃止に伴うもの。) なお、課税資料照会システム専用端末の図も削除している。
平成28年11月7日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の(備考)中の ⑧	⑧ ⑥の収入データ取込み等の結果、保険料が未納となっている者については電話催告を行う。滞納者については、督促状を送付したり、滞納整理を行う。	⑧ ⑥の収入データ取込み等の結果、保険料が滞納となった者については、電話催告、督促状の送付及び滞納整理を行う。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (電話番号情報の取込みを滞納者に限ったことに伴うもの。)
平成28年11月7日	【8ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番五の「対応する別表第2省令の条項」	—	第五条	事後	重要な変更にあたらぬ。 (別表第2省令の一部が改正され、介護保険に関する情報を提供できる条項が追加されたことによるもの。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【8ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番十七の行	新設	【項番】 十七 【情報照会者】 市町村長 【事務】 予防接種法による給付(同法第十五条第一項の 疾病に係るものに限る。)の支給に関する事務 であって主務省令で定めるもの 【情報提供者】 医療保険者その他の法令による医療に関する 給付の支給を行うこととされている者 【特定個人情報】 医療保険各法その他の法令による医療に関す る給付の支給に関する情報であって主務省令 で定めるもの 【対応する別表第2省令の条項】 —	事後	重要な変更にあたらぬ。 (記載漏れ)
平成28年11月7日	【8ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番二十二の行	—	【項番】 二十二 【情報照会者】 都道府県知事 【事務】 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に よる入院措置に関する事務であって主務省令で 定めるもの 【情報提供者】 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 三十条の二に規定する他の法律による医療に 関する給付の支給を行うこととされている者 【特定個人情報】 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 三十条の二に規定する他の法律による医療に 関する給付の支給に関する情報であって主務 省令で定めるもの 【対応する別表第2省令の条項】 —	事後	同上
平成28年11月7日	【9ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番四十三の「対応す る別表第2省令の条項」	—	第二十五条の二	事後	重要な変更にあたらぬ。 (別表第2省令の一部が改正 され、介護保険に関する情報 を提供できる条項が追加され たことによるもの。)
平成28年11月7日	【9ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番八十一の「対応す る別表第2省令の条項」	—	第四十三条の二	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【9ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番九十七の「対応す る別表第2省令の条項」	—	第四十九条	事後	重要な変更にあたらぬ。 (別表第2省令の一部が改正 され、介護保険に関する情報 を提供できる条項が追加され たことによるもの。)
平成28年11月7日	【10ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番百六の行	新設	【項番】 百六 【情報照会者】 独立行政法人日本学生支援機構 【事務】 独立行政法人日本学生支援機構法による学資 の貸与に関する事務であって主務省令で定め るもの 【情報提供者】 医療保険者その他の法令による医療に関する 給付の支給を行うこととされている者 【特定個人情報】 医療保険各法その他の法令による医療に関す る給付の支給に関する情報であって主務省令 で定めるもの 【対応する別表第2省令の条項】 —	事後	重要な変更にあたらぬ。 (記載漏れ)
平成28年11月7日	【10ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番百九の行	新設	【項番】 百九 【情報照会者】 都道府県知事又は市町村長 【事務】 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支 援するための法律による自立支援給付の支給 に関する事務であって主務省令で定めるもの 【情報提供者】 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支 援するための法律第七条に規定する他の法令 により行われる給付の支給を行うこととされてい る者 【特定個人情報】 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支 援するための法律第七条に規定する他の法令 により行われる給付の支給に関する情報であつ て主務省令で定めるもの 【対応する別表第2省令の条項】 —	事後	同上
平成28年11月7日	【10ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番百十九の「対応す る別表第2省令の条項」	—	第五十五条の二	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【13ページ】 Ⅱ－3. ① 入手元	[○] その他（地方公共団体情報システム機構、医療保険者（特定個人情報番号31））	[○] その他（地方公共団体情報システム機構）	事後	重要な変更にあたらぬ。 （他の医療保険者の情報について、情報提供ネットワークシステムを用いて入手しないことと決定したことによるもの。）
平成28年11月7日	【13ページ】 Ⅱ－3. ③ 入手の時期・頻度 (2) 評価実施機関内の他部署からの入手	・(略) ・(略) ・(略) ・(略) ・(略) ・個人市民税情報のうち、課税資料照会システム端末を閲覧することにより入手するものについては、調査が必要となった都度、閲覧する。 ・(略)	・(略) ・(略) ・(略) ・(略) ・(略) ・個人市民税情報のうち、保険料滞納者にかかる情報については、調査が必要となった都度入手する。 ・(略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 （課税資料照会システム廃止に伴い、保険料滞納者にかかる情報を庁内連携システム又は紙媒体を用いて入手する方法に変更したもの。）
平成28年11月7日	【17ページ】 Ⅱ－5. 提供・移転の有無	[○] 提供を行っている（11）件	[○] 提供を行っている（16）件	事後	重要な変更にあたらぬ。 （別表第2省令の一部が改正され、介護保険に関する情報を提供できる条項が5件追加されたことによるもの。）
平成28年11月7日	【17ページ】 Ⅱ－5. 提供・移転の有無	[○] 移転を行っている（10）件	[○] 移転を行っている（9）件	事後	重要な変更にあたらぬ。 （旧移転先8「健康福祉局健康部保健医療課（窓口業務：各区役所保健所企画調査係）」への情報の移転が不要となったことによるもの。）
平成28年11月7日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8のすべての項目	【移転先】 健康福祉局健康部保健医療課（窓口業務：各区役所保健所企画調査係） （①～⑦ 略）	【移転先】 健康福祉局障害福祉部障害企画課（窓口業務：各区役所区民福祉部福祉課、各支所区民福祉課） （①～⑦ 略）	事後	重要な変更にあたらぬ。 （旧移転先8「健康福祉局健康部保健医療課（窓口業務：各区役所保健所企画調査係）」への情報移転が不要となったことにともない、旧移転先9が移転先8へ移行したもの。）
平成28年11月7日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8 ⑦ 時期・頻度（旧移転先9の⑦）	（1）（2）ともに随時（申請の都度。平成26年度約300回。）	（1）（2）ともに随時（申請の都度。平成27年度約300回。）	事後	重要な変更にあたらぬ。 （平成27年度実績に修正。）
平成28年11月7日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9のすべての項目	【移転先】 健康福祉局障害福祉部障害企画課（窓口業務：各区役所区民福祉部福祉課、各支所区民福祉課） （①～⑦ 略）	【移転先】 健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課（窓口業務：各区役所区民福祉部福祉課、各支所区民福祉課） （①～⑦ 略）	事後	重要な変更にあたらぬ。 （旧移転先8「健康福祉局健康部保健医療課（窓口業務：各区役所保健所企画調査係）」への情報移転が不要となったことにともない、旧移転先10が移転先9へ移行したもの。）

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9 ⑦時期・頻度(旧移転先10の⑦)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成26年度約10回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成27年度約20回。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (平成27年度実績に修正。)
平成28年11月7日	【23ページ】 Ⅱ－6. ①保管場所	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> 介護保険システムのサーバ内の磁気ディスクにデータとして保管している。当該サーバは鍵付きの耐震ラックに格納し、常時施錠された専用スペースに設置している。また、生体認証による入退室管理を実施するとともに、自動消火装置及び監視カメラを設置している。	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> 介護保険システムのサーバ内の磁気ディスクにデータとして保管している。当該サーバは鍵付きの耐震ラックに格納し、常時施錠された専用スペースに設置している。また、生体認証による入退室管理を実施するとともに、自動消火装置及び監視カメラを設置している。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (誤記による修正。)
平成28年11月7日	【24～47ページ】 (別添2)ファイル記録項目	(略)	【名称変更】 (変更前)高額介護サービス費情報 (変更後)高額サービス費情報 【追加した情報】 財産管理情報、独自催告書発行履歴情報、差押調書発行履歴情報、差押解除発行履歴情報、配当計算書発行履歴情報、差押滞納処分明細情報、非課税年金情報、サービス計画(事業対象者)情報、給付実績(取消)情報、高額サービス費補助情報、高額サービス費(総合事業)情報、サービス利用実績情報、高額利用者負担段階情報、介護予防ケアマネジメント費請求情報、介護予防ケアマネジメント費支払情報、介護予防ケアマネジメント費支給実績情報、高額基準収入額申請管理情報、高額基準収入額申請管理内訳情報、12月31日現在住記情報、扶養調整控除情報 【追加した記録項目】 負担限度額認定情報の31～33、給付実績(集計)情報の37・38、給付実績(高額)情報の18、配食サービス利用申請情報の11、配食サービス利用状況情報の9、配食サービス利用支給情報の34、受給者台帳情報の75・76	事後	重要な変更にあたらぬ。 (制度改正、滞納整理業務強化等により情報及び記録項目を追加するとともに、一部の情報名称を変更。)
平成28年11月7日	【48ページ】 Ⅲ－2. リスク1 対象者以外の情報の入手を防止するための措置の内容	<窓口における措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <課税資料照会システムにおける措置> (略)	<窓口における措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (課税資料照会システムの廃止に伴うもの。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【48ページ】 Ⅲ－2. リスク1 必要な情報以外を入手することを防止するための措置の内容	<窓口における措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <課税資料照会システムにおける措置> (略)	<窓口における措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (課税資料照会システムの廃止に伴うもの。)
平成28年11月7日	【48ページ】 Ⅲ－2. リスク2 リスクに対する措置の内容	<窓口における措置> (略) <情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <課税資料照会システムにおける措置> (略)	<窓口における措置> (略) <情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	同上
平成28年11月7日	【50ページ】 Ⅲ－3. リスク2 特定個人情報の使用の記録 具体的な方法	<情報連携基盤システムにおける措置> 情報連携基盤システムで保有する特定個人情報の情報照会・提供記録を保管する。 <介護保険システムにおける措置> システム操作履歴をユーザー単位で記録している。履歴の保管は3年としている。	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 情報連携基盤システムで保有する特定個人情報の情報照会・提供記録を保管する。 (2) (1)の記録には宛名番号、成否、日時、所属、事務、事務手続、職員、システムID、特定個人情報、特定個人情報の項目を含む。(所属、職員等システム連携のため特定できない場合には、利用する業務システム側で特定できる記録を残す。) <介護保険システムにおける措置> システム操作履歴をユーザー単位で記録している。履歴の保管は5年とする。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (<情報連携基盤システムにおける措置>については、措置内容を詳細に記載。<介護保険システムにおける措置>については、保存期間を延長によるリスク軽減。)
平成28年11月7日	【51ページ】 Ⅲ－3. リスク4 リスクに対する措置の内容	<情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> 情報連携基盤システム・中間サーバーを利用する端末では、許可のない外部記録媒体の使用を禁止する。	<情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> (1) 情報連携基盤システム・中間サーバーを利用する端末では、許可のない外部記録媒体の使用を禁止する。 (2) 必要最低限の利用者又は業務システムに対して必要最低限の出力しかできないアクセス権を設定をする	事後	重要な変更にあたらぬ。 (措置内容を詳細に記載。)
平成28年11月7日	【52ページ】 Ⅲ－4. 特定個人情報ファイルの取扱いの記録 具体的な方法	<情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (1) 略 (2) システムの操作ログ、アクセスログを3年間保存する。	<情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (1) 略 (2) システムの操作ログ、アクセスログを5年間保存する。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (保存期間を延長によるリスク軽減。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【54ページ】 Ⅲ－6. リスク2 リスクに対する措置の内容	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> 中間サーバーは、特定個人情報保護委員会との協議を経て、総務大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の入手のみ実施できるよう設計されるため、安全性が担保されている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略)	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> 中間サーバーは、個人情報保護委員会との協議を経て、総務大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の入手のみ実施できるよう設計されるため、安全性が担保されている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらない。 (組織名の変更。)
平成28年11月7日	【54ページ】 Ⅲ－6. リスク3 リスクに対する措置の内容	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> 中間サーバーは、特定個人情報保護委員会との協議を経て、総務大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用して、情報提供用個人識別符号により紐付けられた照会対象者に係る特定個人情報を入手するため、正確な照会対象者に係る特定個人情報を入手することが担保されている。	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> 中間サーバーは、個人情報保護委員会との協議を経て、総務大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用して、情報提供用個人識別符号により紐付けられた照会対象者に係る特定個人情報を入手するため、正確な照会対象者に係る特定個人情報を入手することが担保されている。	事後	重要な変更にあたらない。 (組織名の変更。)
平成28年11月7日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか その内容	<ケース1> (略) <ケース2> (略) <ケース3> 863の事業所に対し、情報提供のため電子メールを一括送信する際、本来「BCC」欄を使用すべきところ誤って「宛先」欄を使用したため、お互いの電子メールアドレスが判別できる状況となった。863のメールアドレスのうち個人が特定できる恐れのあるメールアドレスは462件あった。漏えいした電子メールアドレスの不正利用については確認されていない。 <ケース4> 184名分の個人情報の記録されたUSBメモリを用いてデータの移行作業をしていたところ、別の電話の対応などを行っているうちに事務室内でUSBメモリを紛失した。紛失したUSBメモリに記録されていた個人情報の不正利用については確認されていない。	<ケース1> 863の事業所に対し、情報提供のため電子メールを一括送信する際、本来「BCC」欄を使用すべきところ誤って「宛先」欄を使用したため、お互いの電子メールアドレスが判別できる状況となった。863のメールアドレスのうち個人が特定できる恐れのあるメールアドレスは462件あった。漏えいした電子メールアドレスの不正利用については確認されていない。 <ケース2> 184名分の個人情報の記録されたUSBメモリを用いてデータの移行作業をしていたところ、別の電話の対応などを行っているうちに事務室内でUSBメモリを紛失した。紛失したUSBメモリに記録されていた個人情報の不正利用については確認されていない。	事後	重要な変更にあたらない。 (期間経過に伴う記載内容の整理。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか 再発防止策の内容	<ケース1、4> 外部記録媒体の利用を原則禁止とし、例外的に利用する場合についても利用範囲の限定、外部記録媒体管理の厳格化、紛失に備えストラップやキーホルダーの装着に努める、機密情報を保存する場合の暗号化実施等のルールを定めた。またケース4の当該業務に関しては外部記録媒体を利用せずに、ネットワークを介して作業ができるようにシステム改修を行った。 <ケース2、ケース3> 「あて先」、「CC」に複数の外部メールアドレスが含まれているときに、自動的に「BCC」の扱いに修正する機能を持った機器を導入した。	<ケース1> 「あて先」、「CC」に複数の外部メールアドレスが含まれているときに、自動的に「BCC」の扱いに修正する機能を持った機器を導入した。 <ケース2> 外部記録媒体の利用を原則禁止とし、例外的に利用する場合についても利用範囲の限定、外部記録媒体管理の厳格化、紛失に備えストラップやキーホルダーの装着に努める、機密情報を保存する場合の暗号化実施等のルールを定めた。また、当該業務に関しては外部記録媒体を利用せずに、ネットワークを介して作業ができるようにシステム改修を行った。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (期間経過に伴う記載内容の整理。)
平成28年11月7日	【58ページ】 Ⅲ－7. リスク3 消去手順手順の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> 不要となった情報は定期的に削除する。 <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)保管期間が過ぎた情報は定期的に削除する。 (2)接続する業務システムからの不要となった情報の削除要求に基づき、削除する。 <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (措置内容を詳細に記載。)
平成28年11月7日	【3ページ】 I－1. ②事務の内容	介護保険法及び名古屋市介護保険条例に基づき、主に以下の(1)～(4)の事務を行う。 (1)～(3) 略 (4)保険給付等 介護サービス等にかかる受給者(介護予防・生活支援サービス事業対象者、社会福祉法人等による利用者負担軽減対象者を含む。以下同じ。)に対して保険給付等を行う。	介護保険法及び名古屋市介護保険条例に基づき、主に以下の(1)～(4)の事務を行う。 (1)～(3) 略 (4)保険給付等 介護サービス等にかかる受給者(介護予防・生活支援サービス事業対象者を含む。以下同じ。)に対して保険給付等を行う。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (誤記による修正(社会福祉法人等による利用者負担軽減に関する事務の削除漏れ)。)
平成28年11月7日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の図中 被保険者からの各種届出等	①資格取得等の届出 ⑨要介護・要支援認定申請 ⑪負担限度額認定申請 ⑫社会福祉法人等利用者負担軽減申請 ⑮各種介護サービス費支給申請 ⑰居宅サービス計画作成依頼の届出	①資格取得等の届出 ⑨要介護・要支援認定申請 ⑪負担限度額認定申請 ⑭各種介護サービス費支給申請 ⑯居宅サービス計画作成依頼の届出	事後	同上
平成28年11月7日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の図中 被保険者に対して行う業務	①被保険者証等の交付 ③納入通知書の送付 ⑤納付書の送付 ⑨認定調査の実施及び認定結果通知の送付 ⑩負担割合証の交付 ⑪負担限度額認定証の交付 ⑫社会福祉法人等利用者軽減確認証の交付 ⑮各種介護サービス費の支給	①被保険者証等の交付 ③納入通知書の送付 ⑤納付書の送付 ⑨認定調査の実施及び認定結果通知の送付 ⑩負担割合証の交付 ⑪負担限度額認定証の交付 ⑭各種介護サービス費の支給	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の図中 市内各業務システムからの情報の移転	・住民票情報(利用業務①②③⑩⑪⑫⑮)。 - また、各種通知の宛名情報として利用) ・個人市民税情報(利用業務③⑩⑪⑫⑮) ・生活保護情報(利用業務③⑥⑩⑪⑫⑮) ・中国残留邦人等支援給付情報(利用業務③⑩⑪⑫⑮) ・老齢福祉年金情報(利用業務③⑩⑪⑫⑮) ・国民健康保険情報(利用業務⑧⑯) ・後期高齢者医療情報(利用業務⑧⑯) ・障害者総合支援情報(利用業務②) ・敬老パス情報(利用業務⑧)	・住民票情報(利用業務①②③⑩⑪⑫⑮)。 - また、各種通知の宛名情報として利用) ・個人市民税情報(利用業務③⑩⑪⑫⑮) ・生活保護情報(利用業務③⑥⑩⑪⑫⑮) ・中国残留邦人等支援給付情報(利用業務③⑩⑪⑫⑮) ・老齢福祉年金情報(利用業務③⑩⑪⑫⑮) ・国民健康保険情報(利用業務⑧⑯) ・後期高齢者医療情報(利用業務⑧⑯) ・障害者総合支援情報(利用業務②) ・敬老パス情報(利用業務⑧)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (誤記による修正(社会福祉法人等による利用者負担軽減に関する事務の削除漏れ。)) なお、図中のその他の矢印内に記載された項番について、⑬以降の項番を繰り下げる変更を行った。
平成28年11月7日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の(備考)中の ⑪	⑪ 特定入所者介護(予防)サービス費の支給を希望する被保険者からの負担限度額認定申請を受け、申請書の記載内容及び負担判定情報を基に、被保険者の負担限度額区分を決定し、負担限度額認定証を交付する。	⑪ 特定入所者介護(予防)サービス費の支給を希望する被保険者からの負担限度額認定申請を受け、申請書の記載内容、負担判定情報及び各年金保険者から国保連等を経由して送付された非課税年金情報を基に、被保険者の負担限度額区分を決定し、負担限度額認定証を交付する。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (制度改正により、負担限度額区分の判定において、各年金保険者から提供される非課税年金情報(特定個人情報ではない。)を利用することになったもの。) なお、これに伴い、図中の各年金保険者から国保連専用端末へ向かう矢印に「⑪非課税年金情報」を追記している。
平成28年11月7日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の(備考)中の ⑫以降	(3)要介護(要支援)認定者等の情報管理 ⑨～⑪ 略 ⑫ 社会福祉法人等利用者負担軽減対象申請を受け、申請書の記載内容及び負担判定情報を基に、軽減を決定し、社会福祉法人等利用者負担軽減確認証を交付する。 (4)介護保険給付等 ⑬～⑰ 略 (5)特定個人情報の移転、提供並びに照会 ⑱～⑳ 略	(3)要介護(要支援)認定者等の情報管理 ⑨～⑪ 略 (4)介護保険給付等 ⑫～⑰ 略 (5)特定個人情報の移転、提供並びに照会 ⑱～⑲ 略	事後	重要な変更にあたらぬ。 (社会福祉法人等利用者負担軽減対象事務の削除漏れ及び削除による項ずれ。)
平成28年11月7日	【59ページ】 Ⅳ-1. ①自己点検 具体的なチェック方法	<情報連携基盤システムにおける措置> 運用規則等に基づき、情報連携基盤システムの運用に携わる職員及び事業者に対し、定期的に自己点検を実施することとしている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> 情報連携基盤システムの運用及び情報連携基盤システムでの特定個人情報ファイルの取り扱いが、本評価書及び運用規則等のとおり適切に実施されていることを確認するために、情報連携基盤システムの運用に携わる職員及びシステム開発・運用保守業者が定期的に自己点検を実施することとしている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (措置内容を詳細に記載。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年11月7日	【59ページ】 Ⅳ－2. 従業者に対する教育・啓発 具体的な方法	<名古屋市における措置> 職員に対して、個人情報保護に関する研修を行う。 <情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> 中間サーバー・プラットフォームの運用に携わる職員及び事業者に対し、セキュリティ研修等を実施することとしている。 <介護保険システムにおける措置> (略)	<名古屋市における措置> (1)「名古屋市における特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」に基づき、特定個人情報の保護責任者、特定個人情報を取扱うシステム所管課長及び所管課長、各事務取扱担当者等に対して、特定個人情報の適正な管理に関する研修をおおむね1年ごとに行う。 (2)「名古屋市における特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」に基づき、特定個人情報を取扱うシステムを利用する職員に対して、システムの運用及びセキュリティ対策に関する研修をおおむね1年ごとに行う。 (3)「名古屋市における特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」に基づき、その他の特定個人情報を取扱う職員に対して特定個人情報の安全管理に関する研修をおおむね1年ごとに実施する。 <情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1)中間サーバー・プラットフォームの運用に携わる職員及び事業者に対し、セキュリティ研修等を実施することとしている。 (2)中間サーバー・プラットフォームの業務に就く場合は、運用規則等について研修を行うこととしている。 <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (措置内容を詳細に記載。)
平成28年11月7日	【60ページ】 Ⅴ－1. ④個人情報ファイル簿の公表 公表場所	市民情報センター、区役所情報コーナー、市公式ウェブサイト	市民情報センター、市公式ウェブサイト	事後	重要な変更にあたらぬ。 (誤記による修正。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成29年10月19日	【8ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番八の行	新設	【項番】 八 【情報照会者】 都道府県知事 【事務】 児童福祉法による養育里親若しくは養子縁組 里親の登録、里親の認定又は障害児入所給付 費、高額障害児入所給付費若しくは特定入所 障害児食費等給付費の支給に関する事務で あって主務省令で定めるもの 【情報提供者】 市町村長 【特定個人情報】 介護保険給付等関係情報であって主務省令で 定めるもの 【対応する別表第2省令の条項】 第七条	事後	重要な変更にあたらぬ。 (個人情報の保護に関する法 律及び行政手続における特定 の個人を識別するための番号 の利用等に関する法律の一 部を改正する法律(平成27年 9月9日法律第65号)による 別表第2の八の項の改正に伴 い新設。)
平成29年10月19日	【8ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番十一の行	新設	【項番】 十一 【情報照会者】 都道府県知事 【事務】 児童福祉法による障害児通所給付費、特例障 害児通所給付費、高額障害児通所給付費、障 害児相談支援給付費若しくは特例障害児相談 支援給付費の支給又は障害福祉サービスの提 供に関する事務であって主務省令で定めるもの 【情報提供者】 市町村長 【特定個人情報】 介護保険給付等関係情報であって主務省令で 定めるもの 【対応する別表第2省令の条項】 第十条	事後	同上
平成29年10月19日	【8ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番十七の「対応する 別表第2省令の条項」	—	第十二条の三	事後	重要な変更にあたらぬ。 (別表第2省令の一部が改正 され、介護保険に関する情報 を提供できる条項が追加され たことによるもの。)
平成29年10月19日	【8ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条 第7号別表第2 情報提供の 根拠」項番二十二の「対応す る別表第2省令の条項」	—	第十五条	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成29年10月19日	【9ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番三十三の「対応する別表第2省令の条項」	—	第二十二條の二	事後	重要な変更にあたらぬ。 (別表第2省令の一部が改正され、介護保険に関する情報を提供できる条項が追加されたことによるもの。)
平成29年10月19日	【9ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番三十九の「対応する別表第2省令の条項」	—	第二十四條の二	事後	同上
平成29年10月19日	【9ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番四十三の「情報提供者」	市町村長	国民健康保険法第五十六條第一項に規定する他の法令による給付の支給を行うこととされている者	事後	重要な変更にあたらぬ。 (誤記による修正。)
平成29年10月19日	【9ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番四十三の「特定個人情報」	介護保険給付等関係情報であつて主務省令で定めるもの	国民健康保険法第五十六條第一項に規定する他の法令による給付の支給に関する情報であつて主務省令で定めるもの	事後	同上
平成29年10月19日	【9ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番五十八の「対応する別表第2省令の条項」	—	第三十一條の二	事後	重要な変更にあたらぬ。 (別表第2省令の一部が改正され、介護保険に関する情報を提供できる条項が追加されたことによるもの。)
平成29年10月19日	【10ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番百八の行	新設	【項番】 百八 【情報照会者】 都道府県知事又は市町村長 【事務】 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による自立支援給付の支給又は地域生活支援事業の実施に関する事務であつて主務省令で定めるもの 【情報提供者】 市町村長 【特定個人情報】 介護保険給付等関係情報であつて主務省令で定めるもの 【対応する別表第2省令の条項】 第五十五條	事後	重要な変更にあたらぬ。 (個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律(平成27年9月9日法律第65号)による別表第2の百八の項の改正に伴い新設。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成29年10月19日	【10ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番百九の「対応する別表第2省令の条項」	—	第五十五条の二	事後	重要な変更にあたらぬ。 (誤記による修正(誤って後述の項番百十九の「対応する別表第2省令の条項」に「第五十五条の二」と記載したもの。))
平成29年10月19日	【10ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番百十九の「対応する別表第2省令の条項」	第五十五条の二	第五十九条の三	事後	重要な変更にあたらぬ。 (別表第2省令の一部が改正され、介護保険に関する情報を提供できる条項が追加されたことによるもの。) なお、変更前の記載(「第五十五条の二」)は誤記である。(前述の項番百十九の記載を参照。)
平成29年10月19日	【14ページ】 Ⅱ－3. ⑦ 使用の主体 使用部署	区役所区民福祉部福祉課、支所区民福祉課福祉係、財政局税務部債権回収室、健康福祉局高齢福祉部介護保険課、同部地域ケア推進課	区役所区民福祉部福祉課、支所区民福祉課福祉係、財政局税務部債権管理推進室、健康福祉局高齢福祉部介護保険課、同部地域ケア推進課	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名の変更。)
平成29年10月19日	【17ページ】 Ⅱ－5. 提供・移転の有無	[○] 提供を行っている (16) 件	[○] 提供を行っている (25) 件	事後	重要な変更にあたらぬ。 (別表第2省令の一部が改正され、介護保険に関する情報を提供できる条項が9件追加されたことによるもの。)
平成29年10月19日	【18ページ】 Ⅱ－5. 移転先2 ⑦時期・頻度	(1)随時(住民税申告書受付時)、(2)月1回	(1)随時(住民税申告書受付時)、(2)年1回	事後	重要な変更にあたらぬ。 (個人市民税における公的年金からの特別徴収に関する事務の運用方法の変更により、年1回に変更したもの。)
平成29年10月19日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成27年度約300回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成28年度約400回。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (平成28年度実績に修正。)
平成29年10月19日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成27年度約20回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成28年度約30回。)	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成29年10月19日	【24～47ページ】 (別添2)ファイル記録項目	(略)	【追加した情報】 総合合算サービス費情報、総合合算サービス費(介護自己負担)情報、総合合算サービス費(事業自己負担)情報、総合合算計算情報、本算定自己負担額確認情報、本算定386管理情報、本算定386内訳情報、仮算定管理情報、仮算定内訳情報、所得照会簿情報、所得照会簿一覧情報、認定照会情報、被保険者正本情報、住所地特例正本情報、受給者正本情報、負担割合正本情報、高額医療合算(給付)正本情報、高額医療合算(総合事業)正本情報 【改組した情報】 DV対象者管理情報(介護住記情報の記録項目より分離) 【追加した記録項目】 所得情報の15・16・65・66 【名称変更した記録項目】 所得情報の5・25・27・33・38・41・55・58・60・61・62、高額医療合算介護サービス費(自己負担)情報の10～13	事後	重要な変更にあたらぬ。 (制度改正等により情報及び記録項目を追加するとともに、一部の記録項目の名称を変更。また、一部の情報について改組を行ったもの。)
平成29年10月19日	【49ページ】 Ⅲ－2. リスク3 入手の際の本人確認の措置の内容	<窓口における措置> (略) <情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> (略) <介護保険システム・課税資料照会システムにおける措置> (略)	<窓口における措置> (略) <情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (課税資料照会システムの廃止に伴うもの。)
平成29年10月19日	【50ページ】 Ⅲ－3. リスク2 ユーザー認証の管理 具体的な方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)端末利用時には、利用者個人に付与されるIDとパスワード又は生体認証による認証を実施する。 (2)略 <介護保険システムにおける措置> (1)システムを利用する必要がある職員を特定し、ユーザIDによる識別とパスワードまたは指紋情報による認証を実施する。 (2)、(3)略	<情報連携基盤システムにおける措置> (1)端末利用時には、利用者個人に付与されるID、パスワード及び生体認証による認証を実施する。 (2)略 <介護保険システムにおける措置> (1)システムを利用する必要がある職員を特定し、ユーザIDによる識別とパスワード及び生体認証による認証を実施する。 (2)、(3)略	事後	重要な変更にあたらぬ。 (システム端末の認証方法変更によるリスク軽減。)
平成29年10月19日	【51ページ】 Ⅲ－3. 特定個人情報の使用におけるその他のリスク及びそのリスクに対する措置	端末機は、スクリーンセーバ等を利用して、長時間にわたり特定個人情報を表示させない。また、スクリーンセーバ解除時は、ユーザID及びパスワード入力(又は生体認証)を行う。	端末機は、スクリーンセーバ等を利用して、長時間にわたり特定個人情報を表示させない。また、スクリーンセーバ解除時は、ユーザID、パスワード及び生体認証を行う。	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成29年10月19日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか その内容	<ケース1> 863の事業所に対し、情報提供のため電子メールを一括送信する際、本来「BCC」欄を使用すべきところ誤って「宛先」欄を使用したため、お互いの電子メールアドレスが判別できる状況となった。863のメールアドレスのうち個人が特定できる恐れのあるメールアドレスは462件あった。漏えいした電子メールアドレスの不正利用については確認されていない。 <ケース2> 184名分の個人情報の記録されたUSBメモリを用いてデータの移行作業をしていたところ、別の電話の対応などを行っているうちに事務室内でUSBメモリを紛失した。紛失したUSBメモリに記録されていた個人情報の不正利用については確認されていない。	過去に委託事業で使用していた約400人分の個人情報の記録されたMOディスクが紛失していることが判明した。紛失したMOディスクに記録されていた個人情報の不正利用については確認されていない。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (期間経過に伴う記載内容の整理。)
平成29年10月19日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか 再発防止策の内容	<ケース1> 「あて先」、「CC」に複数の外部メールアドレスが含まれているときに、自動的に「BCC」の扱いに修正する機能を持った機器を導入した。 <ケース2> 外部記録媒体の利用を原則禁止とし、例外的に利用する場合についても利用範囲の限定、外部記録媒体管理の厳格化、紛失に備えストラップやキーホルダーの装着に努める、機密情報を保存する場合の暗号化実施等のルールを定めた。また、当該業務に関しては外部記録媒体を利用せずに、ネットワークを介して作業ができるようにシステム改修を行った。	委託業務で使用する外部記録媒体の管理取扱いについて規程を定め、外部記録媒体の適切な利用管理 及び個人情報保護の徹底を図った。	事後	同上
平成30年11月19日	【6ページ】 Ⅰ－7. 評価実施機関における担当部署	②所属長 介護保険課長 小杉 政巳	②所属長の役職名 介護保険課長	事後	重要な変更にあたらぬ。 (評価書の様式変更によるもの。)
平成30年11月19日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の備考	① 情報連携基盤システムを通じて、介護保険情報を本市各業務システムに移転及び中間サーバへ連携して提供する。 ⑧ 情報提供ネットワークシステムより、所得情報や要介護(要支援)認定に関する情報等の照会を行う。 ⑨ 住基ネット端末を利用して、住民登録外者の個人番号を照会し、当該個人の個人番号を情報連携基盤システムに登録する。	① 本市他業務が利用する介護保険情報を、情報連携基盤システムを介して本市各業務に移転する。 ⑧ 情報連携基盤システムを通じて、介護保険情報を中間サーバへ連携して提供する。 ⑨ 情報提供ネットワークシステムより、所得情報や要介護(要支援)認定に関する情報等の照会を行う。 ⑩ 住基ネット端末を利用して、住民登録外者の個人番号を照会し、当該個人の個人番号を情報連携基盤システムに登録する。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (従来の①について、介護保険情報の移転と提供を分けた方が判りやすいため、従来の①を分割するとともに、従来の⑧は⑨に、⑨を⑩に変更したもの。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成30年11月19日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の図中 本市の各業務システム	・既存住民基本台帳システム ・税務システム ・生活保護システム ・国民年金システム ・国民健康保険システム ・後期高齢者医療システム ・福祉総合システム ・中国残留邦人等支援給付システム(当該システムとの連携は紙媒体のみ。)	・既存住民基本台帳システム ・税務システム ・生活保護システム ・国民年金システム ・国民健康保険システム ・後期高齢者医療システム ・福祉総合システム ・市営住宅総合管理システム ・中国残留邦人等支援給付システム(当該システムとの連携は紙媒体のみ。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (介護保険情報と情報連携を行う本市の業務システムが増加したため。)
平成30年11月19日	【7ページ】 (別添1) 事務内容の図中⑮以降の矢印の表記について	⑰介護保険情報の移転 ⑰介護保険情報の提供 ⑱介護保険情報にかかる照会 ⑲個人番号の登録 ⑳個人番号照会	⑰介護保険情報の移転 ⑱介護保険情報の提供 ⑲介護保険情報にかかる照会 ⑳個人番号の登録 ⑳個人番号照会	事後	重要な変更にあたらぬ。 (従来の⑰を⑰と⑱に分割したことによる番号の繰り下げ。) なお、「⑳個人番号照会」については、従来は⑲であるべきであり、誤記であったが、今回の繰り下げにより、修正不要となった。
平成30年11月19日	【10ページ】 (別紙1)の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」項番百六の行	【項番】 百六 【情報照会者】 独立行政法人日本学生支援機構 【事務】 独立行政法人日本学生支援機構法による学資の貸与に関する事務であって主務省令で定めるもの 【情報提供者】 医療保険者その他の法令による医療に関する給付の支給を行うこととされている者 【特定個人情報】 医療保険各法その他の法令による医療に関する給付の支給に関する情報であって主務省令で定めるもの 【対応する別表第2省令の条項】 —	削除	事後	重要な変更にあたらぬ。 (記載誤り。(独立行政法人日本学生支援機構法に介護保険情報を提供できる規定なし。))
平成30年11月19日	【14ページ】 Ⅱ－3. ⑦ 使用の主体 使用部署	区役所区民福祉部福祉課、支所区民福祉課福祉係、財政局税務部債権管理推進室、健康福祉局高齢福祉部介護保険課、同部地域ケア推進課	区役所保健福祉センター福祉部福祉課、支所区民福祉課福祉係、財政局税務部債権管理推進室、健康福祉局高齢福祉部介護保険課、同部地域ケア推進課	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名の変更。)
平成30年11月19日	【17ページ】 Ⅱ－5. 提供・移転の有無	〔○〕 移転を行っている (9) 件	〔○〕 移転を行っている (10) 件	事後	重要な変更にあたらぬ。 (移転先10の追加。)
平成30年11月19日	【18ページ】 Ⅱ－5. 移転先1	市民経済局地域振興部住民課(窓口業務:各区役所区民生活部市民課、各支所区民生活課)	市民経済局地域振興部住民課(窓口業務:各区役所区政部市民課、各支所区民生活課)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名の変更。)
平成30年11月19日	【19ページ】 Ⅱ－5. 移転先3	健康福祉局生活福祉部保護課(窓口業務:各区役所区民福祉部民生子ども課、各支所区民福祉課)	健康福祉局生活福祉部保護課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部民生子ども課、各支所区民福祉課)	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成30年11月19日	【20ページ】 Ⅱ－5. 移転先5	健康福祉局生活福祉部保険年金課(窓口業務:各区役所区民福祉部保険年金課、各支所区民福祉課)	健康福祉局生活福祉部保険年金課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部保険年金課、各支所区民福祉課)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名の変更。)
平成30年11月19日	【20ページ】 Ⅱ－5. 移転先6	健康福祉局生活福祉部医療福祉課(窓口業務:各区役所区民福祉部保険年金課、各支所区民福祉課)	健康福祉局生活福祉部医療福祉課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部保険年金課、各支所区民福祉課)	事後	同上
平成30年11月19日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先7	健康福祉局障害福祉部障害者支援課(窓口業務:各区役所区民福祉部福祉課、各支所区民福祉課)	健康福祉局障害福祉部障害者支援課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部福祉課、各支所区民福祉課)	事後	同上
平成30年11月19日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8の移転先	健康福祉局障害福祉部障害企画課(窓口業務:各区役所区民福祉部福祉課、各支所区民福祉課)	健康福祉局障害福祉部障害企画課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部福祉課、各支所区民福祉課)	事後	同上
平成30年11月19日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成28年度約400回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成29年度約350回。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (平成29年度実績に修正。)
平成30年11月19日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9の移転先	健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課(窓口業務:各区役所区民福祉部福祉課、各支所区民福祉課)	健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課(窓口業務:各区役所保健福祉センター福祉部福祉課、各支所区民福祉課)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名の変更。)
平成30年11月19日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成28年度約30回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成29年度約30回。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (平成29年度実績に修正。)
平成30年11月19日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先10	新設	【移転先10】住宅都市局住宅部住宅管理課 ①法令上の根拠 番号法第9条第2項に基づく行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案) ②移転先における用途 市営住宅収入申告義務免除の対象者要件を満たすことの確認資料 ③移転する情報 要介護(要支援)認定に関する情報 ④移転する情報の対象となる本人の数 1万人未満 ⑤移転する情報の対象となる本人の範囲 介護保険被保険者のうち、市営住宅収入申告のなかった者 ⑥移転方法 [O] 庁内連携システム ⑦時期・頻度 年1回	事後	重要な変更にあたらぬ。 (新たな移転先の追加。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成30年11月19日	【24～47ページ】 (別添2)ファイル記録項目	(略)	【追加した情報】 独自助成認定証発行管理情報、独自助成居住費金額情報、独自助成区分管理情報、資産調査管理情報、資産調査照会先情報、独自助成支給管理情報、(認定)申請補助情報、議事録情報、経過記録情報、経過記録明細情報、簡易情報提供情報、認定申請委託支払管理情報 【追加した記録項目】 負担限度額認定情報の34・35	事後	重要な変更にあたらぬ。 (制度改正等により情報及び記録項目を追加。)
平成30年11月19日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか その内容	過去に委託事業で使用していた約400人分の個人情報の記録されたMOディスクが紛失していることが判明した。紛失したMOディスクに記録されていた個人情報の不正利用については確認されていない。	区役所福祉課において、敬老行事対象者名簿を学区連絡協議会会長に返却を求めたところ、既に返却済みとの回答があった。区役所内を探すが発見できず、687人分の個人情報(紙)が漏えい(紛失)した。なお、漏えいした個人情報の不正利用の有無は確認されていない。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (期間経過に伴う記載内容の整理。)
平成30年11月19日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか 再発防止策の内容	委託業務で使用する外部記録媒体の管理取扱いについて規程を定め、外部記録媒体の適切な利用管理及び個人情報保護の徹底を図った。	・名簿の貸与・返却時において、渡した者及び受領した者の記録の管理を徹底する。 ・紛失しないために、名簿の保管場所の管理を徹底する。	事後	同上
令和1年11月13日	【19ページ】 Ⅱ－5. 移転先3 ⑥移転方法	[○] 庁内連携システム	[○] 庁内連携システム [○]紙	事後	重要な変更にあたらぬ。 (記載漏れ。)
令和1年11月13日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成29年度約350回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成30年度約300回。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (平成30年度実績に修正。)
令和1年11月13日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成29年度約30回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成30年度約40回。)	事後	同上
令和1年11月13日	【24～47ページ】 (別添2)ファイル記録項目	(略)	【追加した情報】 給付実績情報(基摘)、基本摘要情報、年間高額サービス費情報、年間高額サービス費内訳情報、年間高額サービス費計算情報、年間高額サービス費(総合事業)情報、年間高額サービス費(総合事業)内訳情報、年間高額サービス費(総合事業)計算情報、年間高額世帯集約情報、年間高額基準収入額申請管理情報、年間高額基準収入額申請管理内訳情報、受給者台帳追加情報2、受給者訂正履歴追加2、年間高額計算情報(内訳)、年間高額計算情報(個人)、年間高額計算情報(世帯) 【追加した記録項目】 納付原簿情報(1号)の15、独自助成認定証発行管理情報(受給者)の26・27	事後	重要な変更にあたらぬ。 (制度改正等により情報及び記録項目を追加。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和1年11月13日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか その内容	区役所福祉課において、敬老行事対象者名簿を学区連絡協議会会長に返却を求めたところ、既に返却済みとの回答があった。区役所内を探すが発見できず、687人分の個人情報(紙)が漏えい(紛失)した。なお、漏えいした個人情報の不正利用の有無は確認されていない。	事業報告書をHPIに掲載した旨を、参加申し込みした児童の保護者に、受託事業者が電子メールを一括送信した際、本来全て「BCC」欄を使用すべきところ誤って「TO」欄を使用したため、500名の電子メールアドレス等が互いにかかる形で送信した。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (期間経過に伴う記載内容の整理。)
令和1年11月13日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか 再発防止策の内容	・名簿の貸与・返却時において、渡した者及び受領した者の記録の管理を徹底する。 ・紛失しないために、名簿の保管場所の管理を徹底する。	電子メール等を送信する前には、必ず送信前に複数の職員で宛先や内容の確認をすることを改めて周知・徹底するよう指示した。また、受託事業者に対して情報に関する点検結果の報告を求めるとともに、未実施の項目については、再発防止策を考え、すみやかに実施するよう指示した。	事後	同上
平成28年11月7日	【59ページ】 Ⅳ－1. ②監査 具体的な内容	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ 情報連携基盤システムについて、監査を行う。 ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (1)「名古屋市における特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」に基づき、情報連携基盤システムにおける特定個人情報の管理の状況の点検又は情報セキュリティ監査を実施する。 (2)(1)の実施結果に応じて必要な改善措置を講じる。 ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (措置内容を詳細に記載。)
令和2年11月2日	【13ページ】 Ⅱ－3. ① 入手元	市民経済局(住民課)、財政局(市民税課)、健康福祉局(保護課、保険年金課、医療福祉課、障害者支援課、高齢福祉課)	スポーツ市民局(住民課)、財政局(市民税課)、健康福祉局(保護課、保険年金課、医療福祉課、障害者支援課、高齢福祉課)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名の変更。)
令和2年11月2日	【14ページ】 Ⅱ－3. ⑦ 使用の主体 使用部署	区役所保健福祉センター福祉部福祉課、支所区民福祉課福祉係、財政局税務部債権管理推進室、健康福祉局高齢福祉部介護保険課、同部地域ケア推進課	区役所保健福祉センター福祉部福祉課、支所区民福祉課福祉係、健康福祉局高齢福祉部介護保険課、同部地域ケア推進課	事後	重要な変更にあたらぬ。 (債権管理推進室が介護保険事務を行わなくなったことによる。)
令和2年11月2日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成30年度約300回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和元年度約300回。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (令和元年度実績に修正。)
令和2年11月2日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。平成30年度約40回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和元年度約50回。)	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和2年11月2日	【23ページ】 Ⅱ－6. ①保管場所	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1) 中間サーバー・プラットフォームはデータセンターに設置しており、データセンターへの入館及びサーバー室への入室を厳重に管理する。 (2) 略 <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1) 中間サーバー・プラットフォームはデータセンターに設置しており、データセンターへの入館及びサーバー室への入室を行う際は、警備員などにより顔写真入りの身分証明書と事前申請との照合を行う。 (2) 略 <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (措置内容を詳細に記載。)
令和2年11月2日	【24～47ページ】 (別添2)ファイル記録項目	【削除した情報】 受給者訂正履歴追加2	削除	事後	重要な変更にあたらぬ。 (誤記による修正。)
令和2年11月2日	【50ページ】 Ⅲ－3. リスク2 アクセス権限の発効・失効の管理 具体的な方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 発行 (略) (2) 失効 利用期間満了時に自動的に失効される。 また、利用者の範囲から外れた職員(異動、退職等)は自動的に失効される。 <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (1) 発行 (略) (2) 失効 利用期間満了時に失効される。 また、利用者の範囲から外れた職員(異動、退職等)は失効される。 <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	同上
令和2年11月2日	【52ページ】 Ⅲ－4. 特定個人情報ファイルの取扱いの記録 具体的な方法	<情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (1) 略 (2) システムの操作ログ、アクセスログを5年間保存する。	<情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (1) 略 (2) システムの操作ログ、アクセスログを7年間(介護保険システムは5年間)保存する。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (保存期間を延長によるリスク軽減。)
令和2年11月2日	【52ページ】 Ⅲ－4. 特定個人情報の消去ルール ルール内容及びルール遵守の確認方法	<介護保険システムにおける措置> 機器内の情報を全て完全に消去するか、情報の読み出しができないように当該機器の全ての記憶装置を物理的に破壊するよう指示する。	<介護保険システムにおける措置> 機器内の情報を全て完全に消去するか、情報の読み出しができないように当該機器の全ての記憶装置を物理的に破壊するよう指示し、消去証明書を提出させている。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (消去証明書の提出によるリスク軽減。)
令和2年11月2日	【54ページ】 Ⅲ－6. リスク1 リスクに対する措置の内容	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> (1) 略 (2) 略 (※1) 略 (※2) 番号法別表第2及び第19条第14号に基づき、事務手続ごとに情報照会者、情報提供者、照会・提供可能な特定個人情報をリスト化したもの。 (※3) 略	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> (1) 略 (2) 略 (※1) 略 (※2) 番号法の規定による情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の提供に係る情報照会者、情報提供者、事務及び特定個人情報を一覧化し、情報照会の可否を判断するために使用するもの。 (※3) 略	事後	重要な変更にあたらぬ。 (表現を修正。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和2年11月2日	【55ページ】 Ⅲ－6. リスク5 リスクに対する措置の内容	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> (1)略 (2)略 (3)特に慎重な対応が求められる情報については自動応答を行わないように自動応答不可フラグを設定し、特定個人情報の提供を行う際に、送信内容を改めて確認し、提供を行うことで、センシティブな特定個人情報が不正に提供されるリスクに対応している。 (4)略 <中間サーバーの運用における措置> (略)	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> (1)略 (2)略 (3)機微情報については自動応答を行わないように自動応答不可フラグを設定し、特定個人情報の提供を行う際に、送信内容を改めて確認し、提供を行うことで、センシティブな特定個人情報が不正に提供されるリスクに対応している。 (4)略 <中間サーバーの運用における措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (表現を修正。)
令和2年11月2日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑤物理的対策 具体的な対策の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> 中間サーバー・プラットフォームをデータセンターに構築し、設置場所への入退室者管理、有人監視及び施錠管理をすることとしている。また、設置場所はデータセンター内の専用の領域とし、他テナントとの混在によるリスクを回避する。 <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1)中間サーバー・プラットフォームをデータセンターに構築し、設置場所への入退室者管理、有人監視及び施錠管理をすることとしている。また、設置場所はデータセンター内の専用の領域とし、他テナントとの混在によるリスクを回避する。 (2)事前に申請し承認されてない物品、記憶媒体、通信機器などを不正に所持し、持出持込することがないように、警備員などにより確認している。 <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (措置内容を追記。)
令和2年11月2日	【59ページ】 Ⅳ－1. ①自己点検 具体的なチェック方法	<情報連携基盤システムにおける措置> 情報連携基盤システムの運用及び情報連携基盤システムでの特定個人情報ファイルの取り扱いが、本評価書及び運用規則等のとおり適切に実施されていることを確認するために、情報連携基盤システムの運用に携わる職員及びシステム開発・運用保守業者が定期的に自己点検を実施することとしている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> 情報連携基盤システムの運用及び情報連携基盤システムでの特定個人情報ファイルの取り扱いが、本評価書及び運用規則等のとおり適切に実施されていることを確認するために、情報連携基盤システムの運用に携わる職員については年一回、システム開発・運用保守業者については月一回の自己点検を実施することとしている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (措置内容を詳細に記載。)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和2年11月2日	【59ページ】 Ⅳ－2. 従業者に対する教育・啓発 具体的な方法	<名古屋市における措置> (略) <情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (1)中間サーバー・プラットフォームの運用に携わる職員及び事業者に対し、セキュリティ研修等を実施することとしている。 (2)中間サーバー・プラットフォームの業務に就く場合は、運用規則等について研修を行うこととしている。 <介護保険システムにおける措置> (略)	<名古屋市における措置> (略) <情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> IPA(情報処理推進機構)が提供する最新の情報セキュリティ教育用資料等を基にセキュリティ教育資料を作成し、中間サーバー・プラットフォームの運用に携わる職員及び事業者に対し、運用規則(接続運用規程等)や情報セキュリティに関する教育を年次(年2回)及び随時(新規要員着任時)実施することとしている。 <介護保険システムにおける措置> (略) <違反行為を行った場合の措置> 違反行為を行った場合は関係法令等に基づき厳正に対処する。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (記載の修正。)
令和2年11月2日	【60ページ】 Ⅴ－2. ①連絡先	〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市市民経済局市民生活部市政情報室	〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市スポーツ市民局市民生活部市政情報室	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名の変更。)
令和3年11月12日	【6ページ】 Ⅰ－6, ②法令上の根拠	番号法第19条第7号、別表第2及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令(平成26年12月12日/内閣府/総務省/令第7号。以下「別表第2省令」という。) (詳細は別紙1に記載)	番号法第19条第8号、別表第2及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令(平成26年12月12日/内閣府/総務省/令第7号。以下「別表第2省令」という。) (詳細は別紙1に記載)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (番号法の改正により、第19条の規定について、第3号の次に新たに1号追加することとなり、同条第4号以降に生じた号ズレ。)
令和3年11月12日	【8～10ページ】 (別紙1)Ⅰの6の②法令上の根拠	番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠	番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠	事後	同上
令和3年11月12日	【10ページ】 (別紙1)Ⅰの6の②法令上の根拠	番号法第19条第7号別表第2 情報照会の根拠	番号法第19条第8号別表第2 情報照会の根拠	事後	同上
令和3年11月12日	【17ページ】 Ⅱ－5. 提供先1	番号法第19条第7号別表第2に定める情報照会者(別紙1の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」中の「情報照会者」欄に記載。ただし、同表中「対応する別表第2省令の条項」に記載のないものを除く。)	番号法第19条第8号別表第2に定める情報照会者(別紙1の表「番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠」中の「情報照会者」欄に記載。ただし、同表中「対応する別表第2省令の条項」に記載のないものを除く。)	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和3年11月12日	【17ページ】 Ⅱ－5. 提供先1 ①法令上の根拠	番号法第19条第7号別表第2	番号法第19条第8号別表第2	事後	同上
令和3年11月12日	【17ページ】 Ⅱ－5. 提供先1 ②提供先における用途	別紙1の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」中の「事務」欄に記載の事務で使用。	別紙1の表「番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠」中の「事務」欄に記載の事務で使用。	事後	同上
令和3年11月12日	【17ページ】 Ⅱ－5. 提供先1 ③提供する情報	別紙1の表「番号法第19条第7号別表第2 情報提供の根拠」中の「特定個人情報」欄に記載の情報。	別紙1の表「番号法第19条第8号別表第2 情報提供の根拠」中の「特定個人情報」欄に記載の情報。	事後	同上
令和3年11月12日	【18ページ】 Ⅱ－5. 移転先1	市民経済局地域振興部住民課(窓口業務:各区役所区民生活部市民課、各支所区民生活課)	スポーツ市民局地域振興部住民課(窓口業務:各区役所区政部市民課、各支所区民生活課)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名の変更漏れ。)
令和3年11月12日	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和元年度約300回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和2年度約800回。)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (令和2年度実績に修正。)
令和3年11月12日	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和元年度約50回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和2年度約60回。)	事後	同上
令和3年11月12日	【24～47ページ】 (別添2)ファイル記録項目	(略)	【追加した情報】前月分生活保護情報(1号)、一次判定修正前情報(受給者)、認知症予防差分情報(1号と64歳の2号)、国保資格情報(1号)、後期資格情報(1号)、生活保護(統合)(全被)、前月分生活保護(統合)(全被) 【追加した記録項目】収入履歴情報(1号)の29、30、31、分納情報(1号)の28～44、(認定)申請補助情報(受給者)57～62	事後	重要な変更にあたらぬ。 (制度改正等により情報及び記録項目を追加・修正・削除。)
令和3年11月12日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか その内容	事業報告書をHPに掲載した旨を、参加申し込みした児童の保護者に、受託事業者が電子メールを一括送信した際、本来全て「BCC」欄を使用すべきところ誤って「TO」欄を使用したため、500名の電子メールアドレス等が互いにわかる形で送信した。	自宅療養中の新型コロナウイルス感染症の陽性者1名に対して、配食サービスを案内する電子メールを送信する際、本来利用票のPDFファイルのみを送信すべきところ、誤って167名分の個人情報が記された配食サービス利用者のリストを添付して送信した。	事後	重要な変更にあたらぬ。 (期間経過に伴う記載内容の整理。)
令和3年11月12日	【57ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑨過去3年以内に、評価実施期間において、個人情報に関する重大事故が発生したか 再発防止策の内容	電子メール等を送信する前には、必ず送信前に複数の職員で宛先や内容の確認をすることを改めて周知・徹底するよう指示した。また、受託事業者に対して情報に関する点検結果の報告を求めるとともに、未実施の項目については、再発防止策を考え、すみやかに実施するよう指示した。	電子メール等を送信する前には、必ず複数の職員で宛先や内容の確認をすることを改めて周知・徹底した。また、個人情報取扱いの重要性について、職員に対して再度周知・徹底した。	事後	同上

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【3ページ】 I－1. ①事務の内容	介護保険法及び名古屋市介護保険条例に基づき、主に以下の(1)～(4)の事務を行う。 (1)被保険者の資格管理 (略) ・(略) ・要介護(要支援)認定を受けた、あるいは被保険者証交付申請を行った第2号被保険者(40歳以上64歳以下の者) (2)保険料の賦課・徴収 (略) (3)要介護(要支援)認定等 (略) (4)保険給付等 (略)	介護保険法及び名古屋市介護保険条例に基づき、主に以下の(1)～(4)の事務を行う。 (1)被保険者の資格管理 (略) ・(略) ・要介護(要支援)認定の申請を行った、あるいは被保険者証交付申請を行った第2号被保険者(40歳以上64歳以下の者) (2)保険料の賦課・徴収 (略) (3)要介護(要支援)認定等 (略) (4)保険給付等 (略)	事後	重要な変更にあたらぬ。 (表現の修正)
	【6ページ】 I－2. システム5 ①システムの名称	新設	電子申請システム	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【6ページ】 I－2. システム5 ②システムの機能	新設	(1)申請機能(市民等向け) ・市民等が、行政手続等を検索して、オンラインで届出・申請できる機能 (2)申請受付・通知機能(職員向け) ・市民等が(1)の機能で申請した申請情報を取得する機能 ・市民等に対して申請に対する通知等を行う機能 (3)申請フォーム作成機能(職員向け) ・(1)で市民等が届出・申請するための申請フォームを作成する機能	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【7ページ】 (別添1)事務の内容	新設	電子申請システム	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【11ページ】 Ⅱ－1. ④記録される項目 主 な記録項目	・識別情報 (略) ・連絡先等情報 (略) ・業務関係情報 (略) [] 障害者福祉関係情報	・識別情報 (略) ・連絡先等情報 (略) ・業務関係情報 (略) [○] 障害者福祉関係情報	事後	重要な変更にあたらぬ。 (記載漏れのため修正)
	【12ページ】 Ⅱ－2. ⑥事務担当部署	総務局行政改革推進部情報化推進課、健康福 祉局高齢福祉部介護保険課	健康福祉局高齢福祉部介護保険課、総務局行 政部デジタル改革推進課	事後	重要な変更にあたらぬ。 (組織名及び記載順の変更)
	【13ページ】 Ⅱ－3. ②入手方法	[○] その他(住民基本台帳ネットワークシステ ム)	[○] その他(住民基本台帳ネットワークシステ ム、電子申請システム)	事前	特定個人情報ファイルに対す る重要な変更にあたるため評 価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変 更)
	【13ページ】 Ⅱ－3. ④入手に係る妥当性	(1) 要介護(要支援)認定申請など、本人または 本人の代理人からの申請が必要な情報は、申 請の都度、紙により入手する。	(1) 要介護(要支援)認定申請など、本人または 本人の代理人からの申請が必要な情報は、申 請の都度、電子申請システムを通じてまたは紙 により入手する。	事前	特定個人情報ファイルに対す る重要な変更にあたるため評 価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変 更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【13ページ】 Ⅱ－3. ⑤本人への明示	(1)要介護(要支援)認定申請など、本人または本人の代理人からの申請が必要な情報は、申請の都度、電子申請システムを通じてまたは紙により入手する。 (2)適正な保険料賦課及び保険給付等を行うため、並びに本人の負担軽減のため、評価実施機関内の他部署から入手する情報は、庁内連携システムまたは紙媒体により、それぞれの情報に適した頻度で入手する。 (3)適正な保険料賦課及び保険給付を行うため、並びに本人の負担軽減のため、他市町村や医療保険者などから入手できる情報は、介護保険法及び番号法に基づき、調査が必要な都度、情報ネットワークシステムから入手する。 (4)本人確認情報については、番号法の規定により、調査が必要な都度住民基本台帳ネットワークシステムを用いて情報を入手している。	・本人から入手する情報については、利用目的を本人に明示する。ただし、介護保険法及び、情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律に規定がある場合は、その限りではない。 ・庁内連携又は情報提供ネットワークシステムを通じた入手を行うことは番号法及び番号法第9条第2項に基づく条例(予定)に明示されている。	事後	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (項ずれによる誤記の修正を含む。)
	【13ページ】 Ⅱ－3. ⑥使用目的	・本人または本人の代理人からの入手については介護保険法に規定されている。 ・庁内連携又は情報提供ネットワークシステムを通じた入手を行うことは番号法及び番号法第9条第2項に基づく条例(予定)に明示されている。	資格管理、保険料の賦課・徴収、要介護(要支援)認定、保険給付などの介護保険事務の公平・公正・効率化のため。	事後	重要な変更にあたらない。 (項ずれによる誤記の修正)
	【14ページ】 Ⅱ－3. ⑧使用方法 情報の突合	・本人または本人の代理人からの情報の入手については、申請書や被保険者証番号をキーに情報を突合する。 ・略	・本人または本人の代理人からの情報の入手については、資格情報等の確認や、申請内容について不備がないか、適切に申請がされているか等を確認するため、申請書や被保険者番号をキーに情報を突合する。 ・略	事後	重要な変更にあたらない。 (誤記による修正及び詳細の追記)
	【21ページ】 Ⅱ－5. 移転先8 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和2年度約800回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和3年度約900回。)	事後	重要な変更にあたらない。 (令和3年度実績に修正)
	【22ページ】 Ⅱ－5. 移転先9 ⑦時期・頻度	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和2年度約60回。)	(1)(2)ともに随時(申請の都度。令和3年度約50回。)	事後	重要な変更にあたらない。 (令和3年度実績に修正)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【23ページ】 Ⅱ－6. ①保管場所	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> 電子申請システム上の特定個人情報、サービス提供業者が契約するクラウドサービス上に保管される。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【23ページ】 Ⅱ－6. ③消去方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> 名古屋市からサービス提供業者に対して依頼することで消去する。	事前	<中間サーバー・プラットフォームにおける措置>については重要な変更にあたらない。 <電子申請システムにおける措置>については特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【24～48ページ】 (別添2)ファイル記録項目	(略)	【追加した情報】前月分生活保護情報(1号)、一次判定修正前情報(受給者)、認知症予防差分情報(1号と64歳の2号)、国保資格情報(1号)、後期資格情報(1号)、生活保護(統合)(全被)、前月分生活保護(統合)(全被) 【追加した記録項目】収入履歴情報(1号)29～31、分納情報(1号)28～44、(認定)申請補助情報(受給者)57～62	事後	重要な変更にあたらない。 (制度改正等により情報及び記録項目を追加)
	【49ページ】 Ⅲ－2. リスク1 対象者以外の情報の入手を防止するための措置の内容	<窓口における措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<窓口における措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> 手続ごとに必要な申請項目を設定する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【49ページ】 Ⅲ－2. リスク1 必要な情報以外を入手することを防止するための措置の内容	＜窓口における措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜窓口における措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ 手続ごとに必要な申請項目を設定する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【49ページ】 Ⅲ－2. リスク2 リスクに対する措置の内容	＜窓口における措置＞ (略) ＜情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜窓口における措置＞ (略) ＜情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ 手続ごとに必要な申請項目を設定する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【50ページ】 Ⅲ－2. リスク3 入手の際の本人確認の措置の内容	＜窓口における措置＞ (略) ＜情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜窓口における措置＞ (略) ＜情報連携基盤システム・中間サーバーにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ 申請の際に官公庁発行の身分証明書となるもの(運転免許証、介護保険被保険者証等)等の画像データの添付を求め、提示を受ける。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【50ページ】 Ⅲ－2. リスク3 特定個人情報 の正確性確保の措置の 内容	<窓口における措置> (略) <情報連携基盤システム・中間サーバーにお ける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<窓口における措置> (略) <情報連携基盤システム・中間サーバーにお ける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> ①手続ごとに必要な申請項目を設定する。 ②入力規則を設けるなど不正確な情報が入力 されないようにする。	事前	特定個人情報ファイルに対す る重要な変更にあたるため評 価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変 更)
	【50ページ】 Ⅲ－2. リスク4 リスクに対す る措置の内容	<窓口における措置> (略) <情報連携基盤システム・中間サーバーにお ける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<窓口における措置> (略) <情報連携基盤システム・中間サーバーにお ける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> アクセス制御や暗号化を実施する。	事前	特定個人情報ファイルに対す る重要な変更にあたるため評 価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変 更)
	【51ページ】 Ⅲ－3. リスク1 事務で使用 するその他のシステムにお ける措置の内容	<介護保険システムにおける措置> (略)	<介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> 許可のない者が申請情報を閲覧できないよ うに、手続ごとにアクセス制御している。	事前	特定個人情報ファイルに対す る重要な変更にあたるため評 価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変 更)
	【51ページ】 Ⅲ－3. リスク2 ユーザー認 証の管理 具体的な管理方法	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> 端末利用時には、利用者個人に付与されるID と、パスワード及び生体認証による二要素認証 を実施する。また、システム利用時には、ID及び パスワードで認証する。	事前	特定個人情報ファイルに対す る重要な変更にあたるため評 価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変 更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【51ページ】 Ⅲ－3. リスク2 アクセス権限の発行・失効の管理 具体的な管理方法	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (案) ＜介護保険システムにおける措置＞ (案)	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (案) ＜介護保険システムにおける措置＞ (案) ＜電子申請システムにおける措置＞ ①事務を行う職員のアカウントを発行し、手続の受付を行う組織へ紐付ける。 ②異動等で不要となった職員のアカウントを無効化する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【52ページ】 Ⅲ－3. リスク2 アクセス権限の管理 具体的な管理方法	＜情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ 定期的にアクセス権限を確認し、定期的に当該事務を行う組織に紐付いているアカウントを確認し、不要となったアカウントの無効化及び紐付けの解除を行う。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【52ページ】 Ⅲ－3. リスク2 特定個人情報の使用の記録 具体的な方法	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ 電子申請システム上で、特定個人情報を含む申請情報への照会・処理等の利用記録を保管する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【53ページ】 Ⅲ－3. リスク3 リスクに対する措置の内容	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ ①システムの操作ログ、アクセスログを記録する。 ②許可のない手続の申請情報にはアクセスできないように制限する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【53ページ】 Ⅲ－3. リスク4 リスクに対する措置の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> 職員ごとにアクセス権限を持つ手続を設定する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【55ページ】 Ⅲ－5. リスク2 リスクに対する措置の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (1)(略) (2)(略) (3)毎年提供先・移転先との間で、利用目的や使用方法等を取り決める覚書をかかわす際に、提供・移転する根拠となる法令を確認している。	事後	重要な変更にあたらない。 (詳細の追記)
	【56ページ】 Ⅲ－6. リスク2 リスクに対する措置の内容	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> 中間サーバーは、個人情報保護委員会との協議を経て、総務大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の入手のみ実施できるよう設計されるため、安全性が担保されている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略)	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> 中間サーバーは、個人情報保護委員会との協議を経て、内閣総理大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用した特定個人情報の入手のみ実施できるよう設計されるため、安全性が担保されている。 <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略)	事後	重要な変更にあたらない。 (組織名の変更)
	【56ページ】 Ⅲ－6. リスク3 リスクに対する措置の内容	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> 中間サーバーは、個人情報保護委員会との協議を経て、総務大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用して、情報提供用個人識別符号により紐付けられた照会対象者に係る特定個人情報を入手するため、正確な照会対象者に係る特定個人情報を入手することが担保されている。	<中間サーバー・ソフトウェアにおける措置> 中間サーバーは、個人情報保護委員会との協議を経て、内閣総理大臣が設置・管理する情報提供ネットワークシステムを使用して、情報提供用個人識別符号により紐付けられた照会対象者に係る特定個人情報を入手するため、正確な照会対象者に係る特定個人情報を入手することが担保されている。	事後	重要な変更にあたらない。 (組織名の変更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【59ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑤物理的対策 具体的な対策の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> ①活用するクラウドサービス基盤は、「政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係る基本方針」がセキュリティクラウド認証等として掲げるISO/IEC27017、米国FedRAMP、AICPASOC2/SOC3等に対応しており、そのデータセンターへのアクセスを厳密に統制している。 ②スタッフへの権限の付与及び最低2回以上の2要素認証によるデータセンターのフロアへのアクセス制限を始め、監視カメラや侵入検知システムなどの手段による厳重な管理が行われている。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【59ページ】 Ⅲ－7. リスク1 ⑥技術的対策 具体的な対策の内容	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略)	<情報連携基盤システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> ①仮想サーバーの操作を行うことが可能なコンソール(マネジメントコンソール)へのアクセスは、ID・パスワードによる認証とTOTP(Time-Based One-Time Password)による二段階認証を強制する対策を実施している。 ②操作についてはクラウドサービス基盤の機能を活用することで、操作に関するログを取得し、当該設備のリソースに対する操作者及び操作を特定できる対策を実施している。 ③セキュリティ対策のためのシステムを導入し、アクセス制限、不正アクセスの検知及び防御を行っている。 ④ウイルスやマルウェア等への対策としてOS、ミドルウェア等を定期的に最新バージョンにアップデートしている。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【60ページ】 Ⅲ－7. リスク2 リスクに対する措置の内容	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ 市民等は申請ごとに申請情報を入力するため、リスクは発生しない。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【60ページ】 Ⅲ－7. リスク3 消去手順 手順の内容	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ 名古屋市からサービス提供者に対して依頼することで消去する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【61ページ】 Ⅳ－1. ①自己点検 具体的なチェック方法	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ サービス提供者において、定期的に自己点検を実施する。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)
	【61ページ】 Ⅳ－1. ②監査 具体的な内容	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略)	＜情報連携基盤システムにおける措置＞ (略) ＜中間サーバー・プラットフォームにおける措置＞ (略) ＜介護保険システムにおける措置＞ (略) ＜電子申請システムにおける措置＞ 定期的に外部監査を実施するサービスを利用している。	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	【62ページ】 IV－2. 従業者に対する教育・啓発 具体的な方法	<名古屋市における措置> (略) <情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <違反行為を行った場合の措置> (略)	<名古屋市における措置> (略) <情報連携基盤システム・介護保険システムにおける措置> (略) <中間サーバー・プラットフォームにおける措置> (略) <介護保険システムにおける措置> (略) <電子申請システムにおける措置> サービス提供者に対して、番号法及び関連法令の順守、機密保持及び従事者への情報の取扱いに関する教育を求める。 <違反行為を行った場合の措置> (略)	事前	特定個人情報ファイルに対する重要な変更にあたるため評価の再実施を行う。 (電子申請方式導入に伴う変更)